

2025

授業計画（シラバス）

杉野服飾大学 服飾学科
2 年次（2024 年度生）

【整理番号】

■専門科目■

- 【1】 日本服飾文化史
- 【2】 アパレル素材論
- 【3】 色材演習
- 【4】 マーケティング・データサイエンス論
- 【5】 現代ファッション論
- 【6】 CADパターンメイキング
- 【7】 モードクリエーションⅠ
- 【8】 モードクリエーションⅡ
- 【9】 ドレーピング& パターンメイキングⅠ
- 【10】 ドレーピング& パターンメイキングⅡ
- 【11】 モードデザインⅠ
- 【12】 服飾デザイン概論
- 【13】 装飾技法
- 【14】 ファッション史
- 【15】 ファッション3DモデリングⅠ
- 【16】 インダストリアルパターンⅠ
- 【17】 インダストリアルパターンⅡ
- 【18】 CGデザインⅠ
- 【19】 CGデザインⅡ
- 【20】 CAD&3D演習Ⅰ
- 【21】 CAD&3D演習Ⅱ
- 【22】 テキスタイルデザインⅠ
- 【23】 テキスタイルデザインⅡ
- 【24】 ダイニングテクニクⅠ
- 【25】 ダイニングテクニクⅡ
- 【26】 素材設計論Ⅰ
- 【27】 素材設計論Ⅱ
- 【28】 3Dテキスタイル(テクスチャー)
- 【29】 ファッションプロダクトデザイン論
- 【30】 ファッションプロダクトデザインⅠ
- 【31】 ファッションプロダクトデザインⅡ
- 【32】 デザインプロセス
- 【33】 アクセサリーデザイン
- 【34】 デジタルデザインワークⅠ
- 【35】 デジタルデザインワークⅡ
- 【36】 プロダクトデザイン演習Ⅰ
- 【37】 3DCADプロダクト
- 【38】 消費者行動論Ⅰ
- 【39】 ビジネスプレゼンテーション技法
- 【40】 企業会計入門
- 【41】 グローバルマネジメント特論Ⅰ
- 【42】 ファッションエディトリアルⅠ
- 【43】 ファッションマーケティング論
- 【44】 プレゼミ(マネジメント)
- 【45】 プレゼミ(イノベーション)
- 【46】 画像設計演習
- 【47】 ドローイングⅡ
- 【48】 写真表現演習
- 【49】 立体造形演習
- 【50】 和服構成論・実習Ⅰ
- 【51】 和服構成論・実習Ⅱ

- 【52】 衣服管理
- 【53】 染色化学
- 【54】 繊維ファッション産業構造論
- 【55】 映像制作
- 【56】 基礎デザイン(平面)
- 【57】 基礎デザイン(立体)
- 【58】 ファッション販売論上級
- 【59】 色彩実践学
- 【60】 ブライダルファッションプランニングゼミ
- 【61】 インターンシップ
- 【62】 長期インターンシップ
- 【63】 家庭経営学
- 【64】 食物学(実践栄養学)
- 【65】 家庭情報処理

■キャリア■

- 【66】 キャリアプランニング

■教養科目■

- 【67】 心理学A
- 【68】 心理学B
- 【69】 憲法
- 【70】 化学A
- 【71】 化学B
- 【72】 体育B
- 【73】 英語(総合)A
- 【74】 英語(総合)B
- 【75】 ワールド・カルチャーA
- 【76】 ワールド・カルチャーB
- 【77】 実用英語 A
- 【78】 実用英語 B
- 【79】 ファッション英語 A
- 【80】 ファッション英語 B
- 【81】 フランス語(総合) A
- 【82】 フランス語(総合) B
- 【83】 ファッションフランス語 A
- 【84】 ファッションフランス語 B
- 【85】 中国語(総合) A
- 【86】 中国語(総合) B
- 【87】 中国語(会話) A
- 【88】 中国語(会話) B

■教職■

- 【89】 教育原理
- 【90】 教育課程論
- 【91】 特別支援教育概論
- 【92】 道徳の指導法
- 【93】 生徒指導論(進路指導を含む)
- 【94】 教科教育法基礎(家庭)
- 【95】 教育現場でのICT活用

■学芸員■

- 【96】 博物館経営論
- 【97】 博物館資料論
- 【98】 博物館資料保存論

IV.履修科目単位内訳表

(大学2024年度生)

		修得単位数						
		モードテクノロジー系				ファッションビジネス系		
共通専門基礎必修科目	1年次	17						
	2年次	7						
系別専門基礎必修科目	1年次	4				4		
	2年次	3				0		
コース別専門必修科目		モード 37	インダストリアル 37	テキスタイル 38	プロダクト 35	マネジメント 39	イノベーション 37	
		2年次	14	16	12	12	13	
		3年次	14	14	17	14	16	16
		4年次	9	7	9	9	10	8
専門選択科目		22	22	21	24	23	25	
専門科目合計		90単位						
教養科目	初年次 キャリア	必修	12					
	一般 体育 国際関係	選択	14					
	外国語	選択必修	8					
教養科目合計		34単位						
総合計		124単位						

■【進級条件】 _____部 令和 6年 改正

各学年開講必修科目は、原則全て修得すること。
1年次の共通必修(服飾造形基礎Ⅰ・Ⅱ、流通商業入門、ファッションビジネス概論、ファッション・フィールド・リサーチ、衣服材料学、ファッション画Ⅰ・Ⅱ、ドローイングⅠ)17単位とその他の科目で30単位以上修得しない場合には、
2年次のコース専門科目は原則履修できない。

■【卒業制作・論文履修条件】

1・2年次の必修科目を修得していない場合には、原則コースの専門応用・【卒業制作・論文】を履修できない。

日本服飾文化史

梅谷 知世

服飾学科 2年 前期又は後期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

アジアの東端に位置する日本は、古くから中国をはじめとする諸外国の影響をうけながら、独自の美意識に基づく豊かな服飾文化を作りだし成熟させてきました。この授業では、服飾・染織品の実物資料、文献資料、画像資料などを用いて原始・古代から近代にいたる日本服飾の移り変わりを概説します。さらに、各時代の服飾の特質を政治や社会との関係、造形性、美意識、同時代の演劇・美術・文芸との関連性、外国文化の影響などさまざまな視点から捉え、服飾の多様なあり方について考えます。講義形式で進めますが、適宜、教員からの質問についてグループ内でのディスカッションを行います。

■到達目標（学修成果）

- 1、原始・古代から近代までの日本服飾の移り変わりを理解し、説明することができる。
- 2、各時代の服飾の特質について、同時代の資料に基づいて理解し説明することができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門必修科目の卒業要件科目です。学芸員課程必修科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回の課題（授業内容の復習）について、次回授業時にフィードバックを行います。質問は随時受け付けます。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

使用しません。授業の進行にあわせてプリントを配布します。

■参考文献

増田美子編『図説日本服飾史事典』（東京堂出版） 増田美子監修『ビジュアル日本の服装の歴史① ③』（ゆまに書房）
その他の参考文献は授業中に紹介します。

■オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

■備考

博物館や美術館に積極的に足を運び、服飾・染織の実物遺品や絵画作品など画像資料を見学する機会を持つよう心がけて下さい。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 梅谷	日本服飾文化史の視点	シラバスを読み授業概要を理解する。	30分
2回 梅谷	縄文・弥生時代の服飾	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
3回 梅谷	古墳時代の服飾	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
4回 梅谷	飛鳥時代の服飾：服制のはじまりと唐風摂取	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
5回 梅谷	奈良時代の服飾：衣服令と唐風服飾	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
6回 梅谷	正倉院の服飾・染織	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
7回 梅谷	平安時代の服飾（１）：和様の開花	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
8回 梅谷	平安時代の服飾（２）：重ね色目	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
9回 梅谷	鎌倉・室町時代の服飾：武家服飾の成立と発展	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
10回 梅谷	小袖服飾の確立	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
11回 梅谷	安土桃山時代の服飾：武家服飾の変容と南蛮服飾	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
12回 梅谷	江戸時代の服飾（１）：武家服制の確立と町人服飾の充実	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
13回 梅谷	江戸時代の服飾（２）：小袖の開花	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
14回 梅谷	近代の服飾：西洋服飾の導入と和装の近代化	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
15回 梅谷	まとめ	これまでの授業内容の振り返りを行い、十分理解する。	120分

アパレル素材論

田口 雅子、徳田 貴美江

服飾学科 2年 前期又は後期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

アパレルに使用される布に焦点を当て、基本的な知識、専門用語を理解するために説明する。応用力を育成するために、実物サンプルを提示しながら解説し、理解を深める。素材に関する知識と素材そのものが持つ手触りや布の表情など、服飾造形を作り出す素材に関心を寄せ、布の種類や構造を理解し、アパレル素材の基本的な知識を修得することを方針とする。

■到達目標（学修成果）

基本的な素材の名称や性質、専門用語、織物やニット生地に関する知識を修得することができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は専門選択科目で、全コース卒業要件科目となります。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業終了時に小テストを行い、翌週答え合わせをする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

「アパレル素材の基本」織研新聞社

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

テキスタイルデザイン研究室（3011）

初回授業で提示

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 徳田	ガイダンス ビデオ視聴	（予習）衣服材料学で学んだ内容を復習する	30分
2回 徳田	ガイダンス ビデオ視聴	（予習）衣服材料学で学んだ内容を復習する	30分
3回 徳田	何を着ているのか 素材について 繊維→糸→布の製造プロセス	（復習）自分の着ている衣服の素材を調べる	30分
4回 徳田	何を着ているのか 素材について 繊維→糸→布の製造プロセス	（復習）自分の着ている衣服の素材を調べる	30分
5回 徳田	布の分類 織物とは 織物の三原組織	（復習）身の回りにある布製品から、織物でできているものを見つける。	60分
6回 徳田	布の分類 織物とは 織物の三原組織	（復習）身の回りにある布製品から、織物でできているものを見つける。	60分
7回 徳田	織物の種類と織物組織 規格、物性について	（復習）衣服に使われている織物の組織を確認する。	60分
8回 徳田	織物の種類と織物組織 規格、物性について	（復習）衣服に使われている織物の組織を確認する。	60分
9回 徳田	綿について 綿織物	（復習）衣服の市場調査をし、綿織物の手触りや風合いを観察する。	30分
10回 徳田	綿について 綿織物	（復習）衣服の市場調査をし、綿織物の手触りや風合いを観察する。	30分
11回 徳田	綿織物	（復習）綿の繊維や生地の特徴が製品にどのように活かされているのか考察する。	30分
12回 徳田	綿織物	（復習）綿の繊維や生地の特徴が製品にどのように活かされているのか考察する。	30分
13回 徳田	ウールについて ビデオ視聴 毛織物	（復習）衣服の市場調査をし、毛織物の手触りや風合いを観察する。	30分
14回 徳田	ウールについて ビデオ視聴 毛織物	（復習）衣服の市場調査をし、毛織物の手触りや風合いを観察する。	30分
15回 徳田	毛織物	（復習）毛の繊維や生地の特徴が製品にどのように活かされているのか考察する。	30分

アパレル素材論

田口 雅子、徳田 貴美江

服飾学科 2年 前期又は後期 必修 (2単位 講義)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	
16回 徳田	毛織物	（復習）毛の繊維や生地の特徴が製品にどのように活かされているのか考察する。	30分
17回 徳田	絹と化合繊について 化合繊織物	（復習）絹や化合繊織物を市場調査し、手触りや風合い、アイテムを確認する。	30分
18回 徳田	絹と化合繊について 化合繊織物	（復習）絹や化合繊織物を市場調査し、手触りや風合い、アイテムを確認する。	30分
19回 徳田	ニット 緯編	（復習）ニット製品を市場調査し、特徴を理解する。	30分
20回 徳田	ニット 緯編	（復習）ニット製品を市場調査し、特徴を理解する。	30分
21回 徳田	ニット 経編・レース	（復習）経編の製品を調査し、その特徴やアイテムを確認する。	30分
22回 徳田	ニット 経編・レース	（復習）経編の製品を調査し、その特徴やアイテムを確認する。	30分
23回 徳田	不織布・皮革	（復習）革製品（含む人工皮革等）を観察し、特徴や用途を捉える。	30分
24回 徳田	不織布・皮革	（復習）革製品（含む人工皮革等）を観察し、特徴や用途を捉える。	30分
25回 徳田	染色・加工	（復習）授業内で聞いた内容に該当する衣服を探し、改めてその特徴を理解する。	30分
26回 徳田	染色・加工	（復習）授業内で聞いた内容に該当する衣服を探し、改めてその特徴を理解する。	30分
27回 徳田	産地・復習	（復習）全国にある産地を復習する。	30分
28回 徳田	産地・復習	（復習）全国にある産地を復習する。	30分
29回 徳田	まとめ 課題（試験やレポート等）のフィードバックを行う	（復習）授業内容を振り返り、まとめをする。	60分
30回 徳田	まとめ 課題（試験やレポート等）のフィードバックを行う	（復習）授業内容を振り返り、まとめをする。	60分

色材演習

土屋 純一

服飾学科 2年 前期又は後期 必修 (1単位 演習)

■授業の方針・概要

素材の色彩と材質感についての観察、発見、収集、分類、検証、構成を行う。具体的には布素材のみならず、ひろく身の回りの「モノ・コト」に眼を向けたフィールドワークから「オリジナルな色と質の資料」を制作し、平面、立体デザインへと応用する。そして将来「素材からのデザインの提案～展開」が出来る視点や可能性を準備する。

■到達目標（学修成果）

造形を行う際の素材の選択や、その特徴を生かした表現方法など色彩と質の構造について理解し、今後の服飾造形表現に応用する素材活用ができるようになる力を養う。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業認定に必要な科目である。造形表現における素材の色彩と材質に対する知識と発想力を高める為の授業である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各課題終了後に講評を行う。最終作品ファイルは個別講評、採点后に返却する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

進行に合わせて授業内で紹介し、プリントを配布する。

■オフィスアワー・研究室

月曜日、火曜日（12時10分～12時50分） 連絡研究室 大学表現演習研究室（第三校舎1階）

■備考

毎回、授業で説明した「フィールドワーク」を通して、日頃から素材に対する幅広い考察を行うこと。授業準備を怠ると課題演習ができない。すべての配布プリント及び作品はファイルにまとめて毎回授業に持参すること。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 土屋	導入／授業概要。「フィールドワーク」の目的、方法。イメージと素材との関係について。	予習：シラバスの確認 復習：フィールドワークの準備。	30分
2回 土屋	講義／「視覚と触覚／素材と表現」、フィールドワークの確認。	予習：フィールドワークによる素材調査と収集。 復習：紹介した事柄や作家について。	90分
3回 土屋	演習「サンプリング～資料制作」／収集、分類。素材分析についてのディスカッション。	予習：フィールドワークによる素材収集と分類。 復習：色彩と質感の分析。	60分
4回 土屋	" / 色と材質感。素材分析についてのディスカッション。	予習：フィールドワークによる素材収集と分類。 復習：色彩と質感の分析。	60分
5回 土屋	" / 素材の分類。素材分析についてのディスカッション。	予習：素材と言葉のイメージの収集。 復習：色彩と質感の分析。	60分
6回 土屋	" / 色とイメージの分類。素材分析についてのディスカッション。	予習：素材と言葉のイメージの収集。 復習：色彩と質感の分析。	60分
7回 土屋	演習「サンプリング&リミックス～イメージからの展開」／構造と構成。演習 講評。	予習：色彩と質感のサーチ及びフィールドワークによる素材収集。復習：作家研究。	60分
8回 土屋	" / イメージからの素材の選択、色彩と材質感についての分析。	予習：フィールドワークによる素材収集。復習：集合体による色彩と質感について。	45分
9回 土屋	" / 織りによる平面構成。集合体による色彩と材質感。	予習：フィールドワークによる素材収集。復習：織の構造について分析。	45分
10回 土屋	演習「サンプリング&リミックス～立体への展開」／イメージの立体構成・質の変化。演習 講評。	予習：フィールドワークによる素材とイメージ画像の収集。復習：準備課題「質の変化」。	45分
11回 土屋	" / 重層構造による立体表現。独自の素材表現方法について。	予習：フィールドワークによる素材とイメージ画像の収集。復習：素材加工の技法について。	45分
12回 土屋	" / 立体的な視点からのデザイン構成について。	予習：フィールドワークによる素材とイメージ画像の収集。復習：立体構成について。	45分
13回 土屋	演習「サンプリング&リミックス～質のデザイン」／色と材質感の提案。オリジナルな素材表現。演習 講評。	予習：フィールドワークによる素材収集、スクラップ作成。復習：素材の加工方法について。	60分
14回 土屋	" / デザインのトリミング。重層構造による色彩と質感。	予習：フィールドワークによる素材収集。復習：スクラップ作成。	60分
15回 土屋	まとめ「イメージファイル」／色と質感イメージ。総合講評。	予習：色彩と質感に関するイメージファイルの完成。復習：講評を踏まえての自己分析。	45分

マーケティング・データサイエンス論

田中 康寛

服飾学科 2年 前期又は後期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

企業において、DXを実行する上で必須のデータサイエンスとは何かを理解し、その重要性を論理的に理解します。講義は、講師のコンサルタントの経験から、事例や、企業データを使い説明、研究します。データは実際のもを使用、グループディスカッションを行い、データを洞察することも体感します。さらにデータサイエンスでは必須となる統計、AI、生成AI/ディープラーニングなどを単に使うのではなく理論を含め学びます。そして大切なデータサイエンスの倫理的留意も学び、発展的課題と今後の方向性を実感していきます

■到達目標（学修成果）

データサイエンスとは何かを理解し、企業が、どのように活用していくかを検討できるようにします。その上でAI、生成AIの基本を理論的に理解します

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、必修科目であり、また卒業要件科目の単位となります。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

テストを2回実施します。回答用紙に、評価と課題を記述し個々にコメントしながら返却、同時に返却した回の初めに全体へのフィードバックします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	10%

■教科書

指定教科書 データ思考が未来を変える（織研新聞社）

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

講義曜日は、教室または、講師控室に在籍

■備考

パソコン教室を利用する日があります 講義の際に事前にお知らせします

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 田中	データサイエンスは、何故重要かを学びます	データサイエンスとは何かを自分の言葉で考えます	60分
2回 田中	データサイエンスのビジネスでの重要性と事例（含 DX）を説明	データサイエンスの活かし方を考えます	50分
3回 田中	DXを理解しその中心にあるデータサイエンスの重要性役割を理解します	DXとは何か説明できるようにします	50分
4回 田中	統計の重要性、データとは、さらに見えるかなど理解します	統計の基本を整理します	60分
5回 田中	AIとは何か その理論と使い方について説明します	AIは身近であり その内容はどのようなものかを説明できるように	60分
6回 田中	AIの事例を説明します テスト1回目	AIの使い方の整理とアイデアを考えます	65分
7回 田中	統計概論 データをExcelを使って処理することで統計を学びます	各々意味と必要性を学びます	45分
8回 田中	統計概論第2回 データをExcelを使って処理することで統計を学びます	各々の意味を整理します	40分
9回 田中	Tableau あるいはBIを使った実習	BIツールとは何かを理解します	50分
10回 田中	AIを学ぶ ChatGPTを使ってみます 実際の動きなどを確認します BIツールとの連携も学びます（予定）	AIの特徴を把握します	60分
11回 田中	アパレルメーカーのデータを利用し、ディスカッションを実施 各自で発表 翌12回と合わせて行います	検討した事項を整理	35分
12回 田中	11回で検討した事項を各自発表	発表の準備	60分
13回 田中	データ収集の現状 IoTなどを説明 テスト2回目	何に使えるかを考えます。アイデアを考えます	60分
14回 田中	データを使う上での倫理を説明。当校のAI指針にも触れます	個人情報保護法などデータに関する倫理を整理します	50分
15回 田中	まとめ データサイエンス、DXを実行するための組織論など説明します	全体の復習	80分

現代ファッション論

鈴木 桜子

服飾学科 モード・インダ・テキ・プロ

2年 前期又は後期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

「ファッションとは何か？」この問いに答えるのは容易ではありません。ファッションは私たちにとって最も身近な存在でありながら、個人と社会、歴史、文化、思想等のあらゆる領域と複雑に絡み合いながら現在に至っています。

本授業では、衣服と直接的な身体との関係、社会現象としての流行とメディアとの関係、様々な視点からファッションの現在の意味を問う展覧会に焦点をあて、「ファッション」について深く考えて行くことを方針としています。本授業は、ディスカッション、学生同士の相互評価、プレゼンテーションによるアクティブラーニングを重視します。

■到達目標（学修成果）

「ファッション」について、ディスカッションを通して自らのファッション論を導き出すことを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は服飾文化学科2年次の必修科目であり、卒業要件科目です。ファッションに関する多角的な視点を持ちながら専門性を高めていくための科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

ディスカッション時のレポート、プレゼンテーションは、受講者同士で評価をし、フィードバックしていきます。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

毎回プリントを配布します。

■参考文献

授業内で紹介します。

■オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

■備考

沢山の服飾関連の授業を受講している皆さんにとって大事なことは、時に立ち止まり、物事を深く考える時間を持つことです。現在、ファッションについて社会学や哲学の立場から論じられている書物が数多く出版されています。それらをヒントに日頃からファッションについて深く考えてみましょう。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 鈴木	「ファッション」を考える なぜ衣服を着るのか	予習：シラバスの確認	30分
2回 鈴木	・ファッションと身体 ・コルセット	復習：授業ノート確認＋関連事項の調査	40分
3回 鈴木	化粧	復習：授業ノート確認＋関連事項の調査	40分
4回 鈴木	女性の服・男性の服	復習：授業ノート確認＋関連事項の調査	40分
5回 鈴木	ディスカッション	予習：ディスカッションの準備	100分
6回 鈴木	レポートの評価	復習：レポート評価の振り返り	30分
7回 鈴木	・ファッションとメディア ・ファッション写真	復習：授業ノート確認＋関連事項の調査	40分
8回 鈴木	ファッション雑誌	復習：授業ノート確認＋関連事項の調査	40分
9回 鈴木	かわいい世界	復習：授業ノート確認＋関連事項の調査	40分
10回 鈴木	ディスカッション	予習：ディスカッションの準備	100分
11回 鈴木	レポートの評価	復習：レポート評価の振り返り	30分
12回 鈴木	・ファッションと展覧会 「ラグジュアリー：ファッションの欲望」展	復習：授業ノート確認＋関連事項の調査	40分
13回 鈴木	「SUKIN+BONES:1980年代以降の建築とファッション」展	復習：授業ノート確認＋関連事項の調査	40分
14回 鈴木	「〇〇〇〇〇」展	復習：授業ノート確認＋関連事項の調査	40分
15回 鈴木	プレゼンテーションと評価	予習：プレゼンテーションの準備	100分

CADパターンメイキング

井口 多恵子

服飾学科 モード・インダ

2年

前期

必修

(2単位 演習)

■授業の方針・概要

CAD(Computer Aided Design)の基本操作を学び、平面パターン設計を学修することを方針とします。CADの簡単な操作方法から学び、パターン設計→アパレルでの流れも学修します。

■到達目標（学修成果）

CADの基本操作とアパレルに必要な総合的なCADシステムの使用方法を修得することを目指します。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー（学位授与の方針）については、モードテクノロジー系必修科目であり、服飾造形の基礎力の向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業の後半に、その回学んだことを復習の意味で小テストします。小テストは教員が添削し、次週返却し学生はそのデータの確認を行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	25%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	25%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

配布プリント

■参考文献

パターンメイキングの原理（大野順之助 著）

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの日時は初回の授業時にお知らせします。

■備考

CADは自宅では使用できないコンピュータソフトのため、授業時間内に行うことをしっかり覚えていくこと、また欠席しないこととお奨めします。また進度により日程及び内容を変更することがあります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 井口	オリエンテーション、CADの基本説明	予習：シラバスを読んでおくこと パソコンによる手慣らし	30分
2回 井口	CADの基本操作	予習：パソコンによる手慣らし	30分
3回 井口	ダーツ展開1（基本） ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく （小テスト等）	30分
4回 井口	ダーツ展開2（応用） ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく （小テスト等）	30分
5回 井口	袖 ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく （小テスト等）	30分
6回 井口	ギャザー（身頃） ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく （小テスト等）	30分
7回 井口	ギャザー（スカート）1 ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく （小テスト等）	30分
8回 井口	ギャザー（スカート）2 ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく （小テスト等）	30分
9回 井口	前半の復習	予習：前半の整理、再確認しておく	30分
10回 井口	キュロットスカート ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく （小テスト等）	30分
11回 井口	工業パターン1（パーツ化） ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく （小テスト等）	30分
12回 井口	工業パターン2（縫い代付け）・小テスト マーキング（グループワーク）	終わらなかったところは終わらせておく （小テスト等）	30分
13回 井口	グレーディング（スカート） ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく （小テスト等）	30分
14回 井口	まとめ1	予習：全体を整理、再確認しておく	30分
15回 井口	まとめ2	予習：全体を整理、再確認しておく	30分

モードクリエーション

川中子 貴雄、野中 知世

服飾学科 モードクリエーションコース 2年 前期 必修 (3単位 実験実習)

■授業の方針・概要

服飾造形基礎、で修得した基礎的な知識と技術を基に、ワンピースドレスとパンツを制作しさらに必要な基礎を身に着ける。またワンピースドレスでは、マーケティングリサーチを行い、その時代の流行や市場の動向を感知し、各自がイメージすることを服の造形で表現できるようにデザインの考案、工業用パターン作成を行いオリジナルデザインの作品を制作する事を方針とする。

■到達目標（学修成果）

ワンピースドレスとパンツのパターンメイキング、縫製方法を学び、作品制作を通して制作過程の理解と表現方法を身に付けることが出来る。さらに作品発表を通して、プレゼンテーション能力を高めることが出来るようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業認定科目である。専門科目、服飾関係科目のモードクリエーションコース必修の実習科目である。卒業制作にあたり修得しておかなければならない知識や技術を含んでいる。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題により授業内で解説、返却を行う。試験、レポート返却については別途日程を伝達する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

ドレメ式原型、基礎テキスト、PATTERN MAKING、SEWING、SEWING
電子教材

■参考文献

図解服飾用語事典 その他

■オフィスアワー・研究室

第1回目の授業に指示。研究室 大学服飾造形研究室

■備考

特別授業「工場見学(期日未定)」を含む。
進度により、日程および内容を変更する場合もある。
準備学修の時間はあくまで目安であり、各自の状況に合わせて増減すること。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 各自	オリエンテーション、基礎課題（ワンピースドレス各種）製図、マーケティングリサーチについて、著作権について	予習：シラバスを読む 復習：PATTERN MAKING テキストの製図を見直す、市場調査	60分
2回 各自	基礎課題（ワンピースドレス各種）製図、小テスト	予習：1年次に学んだ内容を再確認する、デザイン考案 復習：遅滞作業を行う	60分
3回 各自	マーケティングリサーチ報告、小テスト 応用課題（ワンピースドレス制作）製図	予習：PATTERN MAKING テキストの製図を確認する、市場調査まとめ 復習：遅滞作業を行う	60分
4回 各自	応用課題（ワンピースドレス制作）製図、トワル作成	予習：PATTERN MAKING テキストの製図を確認する、縫製手順を考える	90分
5回 各自	応用課題（ワンピースドレス制作）トワル作成・点検、製図訂正	復習：遅滞作業を行う	90分
6回 各自	応用課題（ワンピースドレス制作）型紙作成、裁断、印付け、小テスト	予習：SEWING テキストの裁断図、縫い代について確認する、各種手縫いの方法を再確認する	90分
7回 各自	基礎課題（ワンピースドレスの縫製方法について）部分縫い 応用課題（ワンピースドレス制作）身頃縫製	予習：SEWING テキストの身頃の縫製を確認する 復習：遅滞作業を行う	90分
8回 各自	応用課題（ワンピースドレス制作）スカート縫製、あきの始末	予習：SEWING テキストのあきの始末を確認する 復習：遅滞作業を行う	90分
9回 各自	応用課題（ワンピースドレス制作）衿、袖縫製	予習：SEWING テキストの衿、袖を確認する 復習：遅滞作業を行う	90分
10回 各自	応用課題（ワンピースドレス制作）仕上げ・提出 基礎課題（パンツ各種）製図	復習：遅滞作業を行う、PATTERN MAKING テキストの製図を見直す	90分
11回 各自	基礎課題（パンツ実物大）製図	予習：PATTERN MAKING テキストの製図を確認する 復習：遅滞作業を行う	60分
12回 各自	基礎課題（パンツ実物大）縫製	予習：SEWING テキストのパンツについて確認する 復習：遅滞作業を行う	60分
13回 各自	基礎課題（パンツ実物大）縫製	予習：SEWING テキストのパンツについて確認する 復習：遅滞作業を行う	60分
14回 各自	基礎課題（パンツ実物大）縫製、ワンピースドレスプレゼンテーション・講評、縫製仕様書について	予習：プレゼンテーション準備 復習：遅滞作業を行う、縫製仕様書を確認する	60分
15回 各自	応用課題 大学祭グループワーク 小テスト、まとめ	復習：前期の課題を振り返り確認する	60分

モードクリエーション

川中子 貴雄、野中 知世

服飾学科 モードクリエーションコース 2年 後期 必修 (3単位 実験実習)

■授業の方針・概要

服飾造形基礎・ 、モードクリエーション で修得したパターンメイキングを基に、工業用パターンを学び、総裏付きジャケットの構成を理解する。素材に合わせたパターン修正、展開方法などを学ぶ事を方針とする。

■到達目標（学修成果）

ジャケットのパターンメイキング、縫製方法を学び、作品制作を通して制作過程を理解し表現方法を身に付けることが出来る。さらに作品発表を通して、プレゼンテーション能力を高めることが出来るようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業認定科目である。専門科目、服飾関係科目のモードクリエーションコース必修の実習科目である。前期モードクリエーション に続き、卒業制作にあたり修得しておかなければならない知識や技術を含んでいる。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題により授業内で解説、返却を行う。試験、レポート返却については別途日程を伝達する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

ドレメ式原型、基礎テキスト、PATTERN MAKING 、SEWING （購買部で各自購入しておくこと）

電子教材

■参考文献

図解服飾用語事典 その他

■オフィスアワー・研究室

第1回目の授業に指示。研究室 大学服飾造形研究室

■備考

進度により日程および内容を変更する場合もある。準備学修の時間は目安であり、各自の状況に合わせて増減すること。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 各自	オリエンテーション、著作権について、基礎課題（ジャケット各種）製図、マーケティングリサーチ報告	予習：シラバスを読む 復習：PATTERN MAKING テキストの製図を見直す、市場調査	60分
2回 各自	応用課題（テーラードジャケット制作）製図	予習：PATTERN MAKING テキストのテーラードジャケットの製図を確認する	60分
3回 各自	応用課題 大学祭グループワーク発表・講評、小テスト 応用課題（テーラードジャケット制作）製図、トワル作成	予習：グループ発表準備、トワル作成の手順を確認する 復習：遅滞作業を行う	90分
4回 各自	応用課題（テーラードジャケット制作）トワル作成・点検、製図訂正	復習：遅滞作業を行う	90分
5回 各自	応用課題（テーラードジャケット制作）型紙作成（表地、芯）、裁断（表地、芯）、小テスト	復習：SEWING テキストの展開図、縫い代付けについて見直す、遅滞作業を行う	90分
6回 各自	応用課題（テーラードジャケット制作）表地縫製準備 基礎課題 部分縫い	予習：SEWING テキストの接着芯について確認する 復習：遅滞作業を行う	90分
7回 各自	応用課題（テーラードジャケット制作）表地縫製準備、型紙作成（裏地）、基礎課題 部分縫い	予習：SEWING テキストの印付けについて確認する 復習：遅滞作業を行う	90分
8回 各自	応用課題（テーラードジャケット制作）表地縫製準備、衿作り、裁断（裏地）	復習：遅滞作業を行う	90分
9回 各自	応用課題（テーラードジャケット制作）身頃縫製、裏地縫製準備、ポケット縫製	予習：SEWING テキストのポケットについて確認する 復習：遅滞作業を行う	90分
10回 各自	応用課題（テーラードジャケット制作）ポケット縫製、裏地縫製	予習：SEWING テキストの裏地について確認する 復習：遅滞作業を行う	90分
11回 各自	応用課題（テーラードジャケット制作）袖作り、衿付け	復習：遅滞作業を行う	90分
12回 各自	応用課題（テーラードジャケット制作）身頃の合わせ、袖付け	復習：遅滞作業を行う	90分
13回 各自	応用課題（テーラードジャケット制作）裾始末、中とじ	復習：遅滞作業を行う	90分
14回 各自	応用課題（テーラードジャケット制作）ボタン付け・ホール、仕上げ、縫製仕様書について	予習：SEWING テキストのボタン付け・ホールを確認する 復習：縫製仕様書を確認する	90分
15回 各自	ジャケットプレゼンテーション・講評 小テスト、まとめ	予習：プレゼンテーション準備、ファイルまとめ 復習：後期の課題を振り返り確認する	60分

ドレーピング&パターンメイキング

高橋 彩香

服飾学科 モード・インダ

2年

前期

必修 (1単位 実験実習)

■授業の方針・概要

将来ファッション業界でデザイナー、パターンメーカー、マーチャンダイザー、バイヤー等の仕事をする上で、最も大切な基本理論を学ぶ。パターンメーカーとしての実務経験を活かして、服作りの現場で応用できる基礎の考え方、服の見方に軸を置いた授業を展開する。

服作りの基礎となる原型からの展開方法・パターン操作を学び、実際にトワルを組むことで立体と平面との兼ね合いを掴む訓練をする事を方針とする。

■到達目標（学修成果）

婦人服におけるパターンの基本理論と基本技術を習得できる。またトワル縫製の速度向上を目指す。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

モードクリエイションコース・インダストリアルパターンコースの卒業認定に必要な必修科目であり、ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内で課題を点検し、その場で学生に対して個別指導を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

立体裁断 「基本理論」 小山千曉他著 (有) c f k 1991

■参考文献

「工業用パターンガイドブック」 小山千曉他著 (株)アミコファッションズ

■オフィスアワー・研究室

第2校舎2402教室 金曜日 13:00～14:30

【研究室】ドレーピング&パターンメイキング研究室（第3校舎1階3106教室）

■備考

授業に必要なテキスト、道具・組立などの準備は必ず時間前に用意すること。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 高橋	立体裁断とは 人台・天竺の扱い	予習(準備): 身頃用天竺の用意 (90cm×50cm) 天竺サイズは縦×横で表記	30分
2回 高橋	【実習】原型のトレース	復習: 授業内容・授業内課題の完了	30分
3回 高橋	【実習】原型作成	復習: 授業内容・授業内課題の完了	30分
4回 高橋	【実習】原型の展開 ダーツ移動・分散	復習: 授業内容・授業内課題の完了 予習(準備): 天竺用意 (50cm×45cm×2枚)	30分
5回 高橋	【実習】原型の展開 ギャザー展開	復習: 授業内容・授業内課題の完了 予習(準備): 天竺用意 (50cm×45cm丈×2枚)	30分
6回 高橋	【実習】原型の展開 ストレートヨーク	復習: 授業内容・授業内課題の完了 予習(準備): 天竺用意 (60cm×45cm×2枚)	45分
7回 高橋	【実習】原型の展開 ラウンドヨーク	復習: 授業内容・授業内課題の完了 予習(準備): 天竺用意 (60cm×45cm×2枚)	45分
8回 高橋	【実習】原型の展開 ストレートヨーク、ウエストギャザー	復習: 授業内容・授業内課題の完了 予習(準備): 天竺の用意 (60cm×45cm×2枚)	60分
9回 高橋	【実習】袖の考え方 1枚袖の製図 イセの入れ方	復習: 授業内容・授業内課題の完了 予習(準備): 天竺の用意 (70cm×45cm×1枚)	30分
10回 高橋	【実習】袖の展開 袖山ギャザー・袖口ギャザー	復習: 授業内容・授業内課題の完了 予習(準備): 天竺用意 (90cm×30cm×1枚)	30分
11回 高橋	【実習】袖の展開 マトンスリーブ 衿のパターンメイキング フラットカラー	復習: 授業内容・授業内課題の完了 予習(準備): 天竺用意 (70cm×45cm×1枚)	30分
12回 高橋	【実習】袖の展開 マトンスリーブ 衿のパターンメイキング シャツカラー	復習: 授業内容・授業内課題の完了 予習(準備): 天竺用意 (80cm×90cm×1枚)	30分
13回 高橋	【実習】衿のドレーピング フラットカラー	復習: 授業内容・授業内課題の完了 予習(準備): 天竺用意 (30cm×30cm×1枚)	30分
14回 高橋	【実習】衿のドレーピング シャツカラー	復習: 授業内容・授業内課題の完了 予習(準備): 天竺用意 (30cm×30cm×1枚)	30分
15回 高橋	【まとめ】復習・まとめ	復習: 授業内容・授業内課題の完了	30分

ドレーピング&パターンメイキング

高橋 彩香

服飾学科 モード・インダ

2年

後期

必修

(1単位 実験実習)

■授業の方針・概要

将来ファッション業界でデザイナー、パターンメーカー、マーチャンダイザー、バイヤー等の仕事をする上で、最も大切な基本理論を学ぶ。パターンメーカーとしての実務経験を活かして、服作りの現場で応用できる基礎の考え方、服の見方に軸を置いた授業を展開する。

前期に使用した基本原型を製作する。ドレーピングでユルミのない原型をつくり、そこに着る人の体型を考慮した運動量を加えていく。必要なユルミの分量を人体の動きに応じて配分した、動きやすい服づくりの基本を学ぶことを方針とする。

■到達目標（学修成果）

ドレーピングの基本であるピンの打ち方・基本原型に必要なユルミの位置や分量が理解できるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

モードクリエイションコース・インダストリアルパターンコースの卒業認定に必要な必修科目であり、ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内で課題を点検し、その場で学生に対して個別指導を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

立体的断 「基本理論」

小山千曉他著

(有) c f k 1991

■参考文献

「工業用パターンガイドブック」

小山千曉他著

(株)アミコファッションズ

■オフィスアワー・研究室

第2校舎2402教室 金曜日 13:00～14:30

【研究室】ドレーピング&パターンメイキング研究室（第3校舎1階3106教室）

■備考

授業に必要なテキスト、道具・組立などの準備は必ず時間前に用意すること。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 高橋	【実習】天竺の用意 前身頃のドレーピング	予習（準備）：天竺の裁断・地直し	30分
2回 高橋	【実習】後身頃のドレーピング	復習：授業内容、授業内課題の完了 予習：スカート用天竺の用意	30分
3回 高橋	【実習】前後スカートのドレーピング	復習：授業内容、課題の完了	30分
4回 高橋	【実習】上下接ぎ・パターン作成	復習：授業内容、授業内課題の完了	40分
5回 高橋	【実習】パターンの長さ合わせ・修正・トワル縫い	復習：授業内容、授業内課題の完了 予習（準備）：組み立て用天竺用意	30分
6回 高橋	【実習】トワル・パターン修正	復習：授業内容、授業内課題の完了 予習（準備）：ユルミなし原型のトレース	30分
7回 高橋	【実習】原型のユルミ入れ・前身頃	復習：授業内容、授業内課題の完了 予習（準備）：身頃用天竺用意	30分
8回 高橋	【実習】原型のユルミ入れ・後身頃 前後スカート	復習：授業内容、授業内課題の完了 予習（準備）：スカート用天竺用意	30分
9回 高橋	【実習】原型の修正	復習：授業内容、授業内課題の完了	30分
10回 高橋	【実習】袖の製図	復習：授業内容、授業内課題の完了 予習（準備）：袖用天竺用意	30分
11回 高橋	【実習】袖付け	復習：授業内容、授業内課題の完了	30分
12回 高橋	【実習】袖付け・修正	復習：授業内容、授業内課題の完了 予習（準備）：袖用天竺用意	30分
13回 高橋	【実習】テーパードスリーブ	復習：授業内容、授業内課題の完了 予習（準備）：衿の天竺用意	30分
14回 高橋	【実習】パターン展開のバリエーション	復習：授業内容、授業内課題の完了 予習（準備）：天竺用意	30分
15回 高橋	【まとめ】	復習：まとめ	30分

モードデザイン

白木 ゆみ香

服飾学科 モードクリエイションコース 2年 後期 必修 (1単位 実験実習)

■授業の方針・概要

モードデザインは、モードクリエイションコースにとって必要不可欠な、「デザイン力」や「表現力」を養う授業です。1年時に学んだ基礎的なファッションデザイン画の技術や2年前期のデザイン概論の知識を元に、更に向上させるべく自分のイメージするデザイン画が自由に描けるようになるための技術や手法を学びます。

大学図書館やネットなども活用し、デザインの情報や資料収集がすぐ出来る環境の中、オリジナルのデザインを発想できる力を養えるよう指導、訓練をしていく事を方針とします。

■到達目標（学修成果）

自分のイメージするデザインを、自由に描ける力を養うこと。また、デザインを発想するための基礎を身に付けることを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、モードクリエイションコースの必修科目で、卒業要件の単位となります。ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

- ・作品課題の提出は、教室またはデザインCG研究室（研究棟1F）まで、指定された日時までに提出のこと。
- ・作品課題の返却は、採点または手直し後、教室にて返却。期末試験はなし。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	10%

■教科書

必要に応じてプリント配布。

教材「Fashion Illustration Sheet」「Fashion Ruler」

■参考文献

MODE Et MODE、各種専門誌。

■オフィスアワー・研究室

【前期】木 15:30～17:00【後期】木 15:30～17:00

【研究室】デザインCG研究室（研究棟1F）

■備考

進捗により、日程および内容の変更あり。必要と思われる展示会や美術展などの見学あり。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 白木	オリエンテーション ブランドコレクション（レディース）	予習：シラバスを読む。	30分
2回 白木	ブランドコレクション（ブランド分析、デザインポイント、ターゲット層、ハンガーイラスト、オリジナル）	復習：作品課題を完成させる。	60分
3回 白木	ブランドコレクション（メンズ）	復習：作品課題を完成させる。	60分
4回 白木	ブランドコレクション（メンズ）（ブランド分析、デザインポイント、ターゲット層、ハンガーイラスト、オリジナル）	復習：作品課題を完成させる。	60分
5回 白木	ポーズのバリエーション4～5体	復習：作品課題を完成させる。	60分
6回 白木	素材研究 マテリアル各種7～10、各種画材での表現	復習：作品課題を完成させる。	60分
7回 白木	マテリアルのファッション画 デザイン画1体+ハンガーイラスト、またはデザイン画2体	復習：作品課題を完成させる。	60分
8回 白木	マテリアルのファッション画 着色、仕上げ	復習：作品課題を完成させる。	60分
9回 白木	デザイン発想 テーマ：人体 (アイデアスケッチ、)	予習：図書館・インターネットにて資料収集。	60分
10回 白木	デザイン発想 テーマ：人体 (デザイン画)	復習：作品課題を完成させる。	60分
11回 白木	デザイン発想 テーマ：素材からの発想 素材研究 10センチ角程度で、素材サンプルを作成	予習：素材の準備	60分
12回 白木	デザイン発想 テーマ：素材からの発想 (コンセプトシート、デザイン画)	復習：作品課題を完成させる。	60分
13回 白木	デザイン発想 テーマ：建築 (アイデアスケッチ、)	予習：図書館・インターネットにて資料収集。	60分
14回 白木	デザイン発想 テーマ：建築 (デザイン画)	復習：作品課題を完成させる。	60分
15回 白木	特別講義 外部の講師をお招きして、講義を行う	復習：講義内容をレポートにまとめる。	60分

服飾デザイン概論

鈴木 桜子

服飾学科 モードクリエーションコース 2年 前期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

「デザイン」は、単に「もの」(服飾)のイメージに合わせて色や形にしていこうということではなく、最も重要な目的の一つとして、「もの」を通して人と社会をコーディネートしていくことがあげられます。そのためには時代を知り、人と社会に関心を持つ姿勢が求められ、どのようなプロセスを通して最終的な素材や色や形にしていこうかが問われます。

本授業の方針として、服飾デザインを多角的な視点から捉え、自らの服飾デザイン観が社会とどのように結びついていくのか、理論的・実践的思考を高めてプレゼンテーション、ディスカッションを行っていくアクティブラーニングを重視します。

■到達目標(学修成果)

服飾デザインについて、自らの見識を持ち、デザインコンセプトを構築していく姿勢が持てるようになることを到達目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目として卒業認定の卒業要件科目です。服のデザイン・考え方・プレゼンに必要な技術等が修得できます。

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

ディスカッション、プレゼンテーションについては受講生双方で評価を行い、フィードバックしていきます。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

毎回プリントを配布します。

■参考文献

必要に応じて授業内で紹介します。

■オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

■備考

進度により、日程及び内容は変更することがあります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 鈴木	オリエンテーション デザインとは何か?なぜ、服をデザインするのか?	予習: シラバスの確認	30分
2回 鈴木	身近なものをデザインする	復習: 身近なものをデザインする	30分
3回 鈴木	衣服をデザインする	復習: 衣服デザインについて考える	30分
4回 鈴木	・時代と社会に向き合うデザイン	復習: 時代・社会に向けた衣服の在り方を考える	30分
5回 鈴木	〃	復習: 時代・社会に向けた衣服の在り方を考える	30分
6回 鈴木	・歴史と文化に向き合うデザイン	復習: 歴史の衣服に目を向けてみる	30分
7回 鈴木	〃	復習: 歴史の衣服に目を向けてみる	30分
8回 鈴木	・デザイナーの仕事	復習: デザイナーの仕事を考える	30分
9回 鈴木	ディスカッション	予習: これまでの授業を振り返り、ディスカッションに備える	30分
10回 鈴木	プレゼン+ポートフォリオ課題に向けて	復習: プレゼン、ポートフォリオの準備を始める	30分
11回 鈴木	・装飾の功罪	復習: 装飾の在り方について考える	30分
12回 鈴木	・構造とフォルム	復習: 構造とフォルムの関係を調べる	30分
13回 鈴木	・色彩・素材・技術	復習: デザイン要素を総合的に捉える	30分
14回 鈴木	プレゼンテーションとディスカッション (ポートフォリオ提出)	予習: プレゼンの準備	60分
15回 鈴木	まとめと評価	復習: 講評を受けて自分の作品を振り返る	30分

装飾技法

中村 枝里子、設水 彩加

服飾学科 モードクリエーションコース 2年 後期 必修 (1単位 実験実習)

■授業の方針・概要

装飾技法の歴史は古く、服飾の世界では様々な技法を用いた服作りが行われている。
この授業においては、服作りの幅を広げるヒントとなる装飾技法の基礎的手法を学ぶ事を方針とする。

■到達目標（学修成果）

この科目を履修することにより、装飾技法の基礎的技法を習得することが出来るようになる。また服飾造形に活かすことを目標とし、更に基礎的技法を発展させ作品に付加価値をつけたり、新たにデザインを発想したりするなど、応用力を身につけることも目指す。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門必修科目で卒業要件科目である。モードクリエーションコース学生の必修で、モードクリエーション、や卒業制作での服飾造形表現に必要とする技法技術の向上に資する科目。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題により授業内で解説、返却を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

適宜プリントを配布。

■参考文献

必要に応じて授業内に紹介。

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：初回授業で指示。

連絡研究室：服飾造形研究室（研究棟内）、造形教室

■備考

日程及び内容は、進捗状況により変更する場合もある。

必要材料を授業内で配布する為、材料費として1,500円程集金する。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 設水	オリエンテーション、ギャザー作品制作	予習：シラバスを読む。 復習：ギャザーについて学んだ内容を確認する。	30分
2回 設水	シャーリング作品制作	復習：シャーリングについて学んだ内容を確認する。	30分
3回 設水	フリル作品制作	復習：フリルについて学んだ内容を確認する。	30分
4回 中村	プリーツ・タック作品制作、グループワーク：コレクションブランドに使用されている技法について（著作権など）	復習：プリーツ、タックについて学んだ内容を確認する。	30分
5回 中村	ニードルパンチ作品制作	復習：ニードルパンチについて学んだ内容を確認する。	30分
6回 中村	フリーレース作品制作 グループワーク	復習：フリーレースについて学んだ内容を確認する。	30分
7回 中村	スラッシュキルト作品制作	復習：スラッシュキルトについて学んだ内容を確認する。	30分
8回 中村	キルティング作品制作	復習：キルティングについて学んだ内容を確認する。	30分
9回 設水	フランス刺繍作品制作	復習：フランス刺繍について学んだ内容を確認する。	30分
10回 設水	ビーズ刺繍作品制作 グループワーク	復習：ビーズ刺繍について学んだ内容を確認する。	30分
11回 設水	スモッキング作品制作	復習：スモッキングについて学んだ内容を確認する。	30分
12回 設水	リボン刺繍作品制作	復習：リボン刺繍について学んだ内容を確認する。	30分
13回 中村	パイピング作品制作	復習：パイピングについて学んだ内容を確認する。	30分
14回 中村	結びと編み作品制作 グループワーク	復習：結びと編みについて学んだ内容を確認する。	30分
15回 合同	その他技法について グループプレゼンテーション・講評	予習：その他装飾技法について調べる。 復習：配布した資料と自身の作品を振り返る。	60分

ファッション史

鈴木 桜子

服飾学科 モードクリエーションコース

2年 前期又は後期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

私たちがいま着ている現代衣服の源流は、およそ100年前に遡ります。その間、多くの革新的なデザイナーが誕生し、流行のファッションが繰り広げられてきました。しかし、一見、一過性の流行と思われがちなその現象の背後には、政治的・社会問題や同時代の芸術・デザイン運動との関連性が見受けられます。

上記より本授業の方針として、近現代を中心に、芸術・デザイン諸領域の動向を理解しながら、服飾デザインの理論とその歴史性を探っていく視点を重視していきます。

■到達目標（学修成果）

時代の造形思考を学ぶことによって、学生一人ひとりが衣服に対する、デザインに対する考え方が持てるようになること、尚且つこれからの衣服の在り方について、多様な視点で見据えていこうとするきっかけが持てるようになることが本授業の到達目標です。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修であり卒業要件科目です。1年次の必修科目「西洋服飾文化史」と合わせて服飾史として通史が完成される内容になっています。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業の進行状況にあわせて、授業ノートの評価を行い、授業内でフィードバックをしていきます。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

杉野服飾大学オープン教育リソース グラフィック年表「現代ファッションの100年」

本学掲載P <https://www.sugino-fc.ac.jp/about/resources/>

■参考文献

授業内容に応じて紹介します。

■オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

■備考

*補足ノート＝各回の授業ノートを基に、各自で学びを深めていくための補足学習用ノート

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 鈴木	オリエンテーション 現代ファッションの100年	シラバスの確認	30分
2回 鈴木	・デザイン運動とファッション ジャポニスム	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
3回 鈴木	改良服運動	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
4回 鈴木	アール・ヌーヴォー	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
5回 鈴木	ウィーン工房	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
6回 鈴木	デ・スティールとロシア構成主義	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
7回 鈴木	バウハウス	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
8回 鈴木	・モードの革新者たち マドレーヌ・ヴィオネ	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
9回 鈴木	ガブリエル・シャネル	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
10回 鈴木	エルザ・スカパレリ	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
11回 鈴木	戦後のモード -ディオールからサンローランまで-	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
12回 鈴木	モードの多様化 -アンチ・モード-	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
13回 鈴木	日本人デザイナーたち	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
14回 鈴木	北欧デザインとファッション	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
15回 鈴木	まとめ	予習：総復習テストの準備	40分

ファッション3Dモデリング

羽賀 友美、高橋 芽衣

服飾学科 モード・インダ

2年

前期

必修

(2単位 演習)

■授業の方針・概要

ファッション業界でCGを利用した3Dモデリングの活用が増えている。クロスシミュレーションソフト（CLO）を使ったファッション3Dモデリングの基礎的な知識や技術を学修します。ファッション3Dモデリストという新しいクリエイターの育成に向け、デジタルでのファッション造形・表現が可能になるように指導していきます。

■到達目標（学修成果）

CLOの基本操作を身に付け、軽衣料（シャツ、スカート）のモデリングができるようになります。フィジカル（現実世界）との違いを理解し、デジタルでのファッション表現の可能性を広げることを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目で専門選択科目の単位です。服飾関係の専門的職業で活かせるデジタルモデリングの基礎力を培います。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内で課題を点検し、その場でコメント、フィードバックを行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

配布プリント

■参考文献

ファッション3Dモデリスト検定3級（CLO編）織研新聞社

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回授業時に伝えます。研究室：3211教室（第3校舎2F）

■備考

3DCGソフトは授業の教室内でしか使えない為、欠席しないようにしてください。
日程及び内容は授業進度により変更することがあります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 羽・高	モデリング基本操作 画面操作、パターン配置練習 ネットの著作権等について	予習：シラバスを読む 復習：授業で学んだネット情報を確認	30分
2回 羽・高	モデリング基本操作 縫い合わせ設定練習	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
3回 羽・高	モデリング基本操作 着せ付け、生地操作	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
4回 羽・高	モデリング ギャザースカート	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
5回 羽・高	モデリング トップス	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
6回 羽・高	モデリング トップス	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
7回 羽・高	モデリング トップス	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
8回 羽・高	モデリング ブリーツスカート（折り曲げ表現）	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
9回 羽・高	ディティール（ファスナー、ステッチ）	予習：副資材について調べる	30分
10回 羽・高	パターン編集（デザイン変更・パターン展開）	予習：パターン展開について調べる	30分
11回 羽・高	コーディネート（レイヤー設定、配色）	予習：着用時の服の重なりについて調べる	30分
12回 羽・高	課題製作 モデリング	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
13回 羽・高	課題製作 モデリング	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
14回 羽・高	課題製作 レンダリング、提出	予習：ポージングやレイアウトについて調べる	30分
15回 羽・高	プレゼンテーションを行い、アクティブラーニングでお互いに意見交換を行う。講評	予習：プレゼンテーションの練習	30分

インダストリアルパターン

笹部 小百合

服飾学科 インダストリアルパターンコース 2年 前期 必修 (3単位 実験実習)

■授業の方針・概要

アパレル企業での実務経験を取り入れ、下衣と上衣を製作し、パタンナーに必須の基本的な知識とスキルを習得する。服飾衣料資材について企業から特別授業を通して、検査や選定を学ぶ。また提携する企業で開発された最新素材や、環境に配慮したリサイクル素材を用いる。状況に応じてCAD & 3D と連携する。

■到達目標（学修成果）

平面と立体を連動してパンツとブラウスの形状を分析・考察することができる。
ポケットのある服の構造、ポリエステル素材の縫製や芯のマッチングを理解する。
パンツとブラウスの工業用パターン・縫製を理解し、技術を身に付ける。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

インダストリアルパターンコース必修科目で卒業認定・学位授与の該当授業科目である。企業における服飾造形の基礎力の向上に資する科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題の点検、指導を授業内添削やポータルサイトを利用し行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

PATTERN MAKING (杉野学園)、SEWING (杉野学園)
パターンメイキング技術検定試験3級試験問題解答・解説集、配付プリント

■参考文献

ドレメ式原型 (杉野学園) 基礎テキスト(杉野学園) 電子教材

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示する。
研究室：インダストリアルパターン研究室（第3校舎2階 3211）

■備考

日程および予定は、企業による特別授業、授業進度、外部見学の日程などにより、変更することもある。
準備学修の必要時間は個人差があるため、課題の進捗状況にあわせ必要な時間を各自対応すること。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション パターン検定について	予習：シラバスを読んでおく	45分
1回	身頃について（グループワーク） パンツの構造理論	復習：遅滞箇所を行う	
2回	パンツの基礎	予習：制作パンツとブラウスのリサーチ	45分
2回	既製服の基礎知識1（グループワーク）	復習：遅滞箇所を行う	
3回	パンツのあきについて	予習：制作パンツとブラウスのデザイン	45分
3回	既製服の基礎知識2（グループワーク）	復習：遅滞箇所を行う	
4回	ポケットについて	予習：製図・縫製方法の確認	45分
4回	上衣製図とトワール制作	復習：遅滞箇所を行う	
5回	企業による特別授業（服飾資材について）	予習：製図・縫製方法の確認	45分
5回	基本パンツ制作と展開 上衣の製図とトワール制作2	復習：遅滞箇所を行う	
6回	デザイン上衣・下衣 製図と型紙	予習：製図・縫製方法の確認	45分
6回		復習：遅滞箇所を行う	
7回	デザイン上衣・下衣 型紙・縫製仕様書き込み	予習：製図・縫製方法の確認	45分
7回		復習：遅滞箇所を行う	
8回	デザイン上衣・下衣 型紙 縫製仕様書 縫製	予習：製図・縫製方法の確認	45分
8回		復習：遅滞箇所を行う	
9回	デザイン上衣・下衣 縫製	予習：製図・縫製方法の確認	45分
9回		復習：遅滞箇所を行う	
10回	デザイン上衣・下衣 縫製	予習：製図・縫製方法の確認	45分
10回		復習：遅滞箇所を行う	
11回	デザイン上衣・下衣 縫製	予習：製図・縫製方法の確認	45分
11回		復習：遅滞箇所を行う	
12回	デザイン上衣・下衣 縫製	予習：製図・縫製方法の確認	45分
12回		復習：遅滞箇所を行う	
13回	まとめ1 デザイン上衣・下衣	予習：製図・縫製方法の確認	45分
13回		復習：遅滞箇所を行う	
14回	まとめ2 デザイン上衣・下衣	予習：予習：プレゼンテーションの準備	45分
14回		復習：遅滞箇所を行う	
15回	アクティブラーニング（プレゼンテーション）	予習：プレゼンテーション準備	45分
15回		復習：返却課題の見直し、夏期休業中の課題	

インダストリアルパターン

笹部 小百合

服飾学科 インダストリアルパターンコース 2年 後期 必修 (3単位 実験実習)

■授業の方針・概要

アパレル企業の新規製品開発の流れに沿って、服飾衣料資材企業と提携し、今期使用されている素材や最新資材を用いて、上衣の先上げを製作する。1STトワールサンプルの精度とスピードを強化し検定に備える。服飾衣料資材で服を仕上げる構造や生地と芯地のマッチングを、企業から特別授業を通して学ぶ。状況に応じてCAD&3Dと連携する。

■到達目標（学修成果）

1枚仕立ての様々なアイテムや素材の製図や縫製技術を身に付ける。
服飾資材や縫製仕様を考えることができる。
テーラードカラーの製図と縫製を理解する。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

インダストリアルパターンコース必修科目で卒業認定・学位授与の該当授業科目である。
企業における服飾造形の基礎力の向上に資する科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題の点検、指導を授業内添削やポータルサイトを利用し行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

PATTERN MAKING (杉野学園)、SEWING、SEWING (杉野学園)
パターンメイキング技術検定試験3級試験問題解答・解説集、配付プリント

■参考文献

ドレメ式原型 (杉野学園) 基礎テキスト(杉野学園) 電子教材

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示する。
研究室：インダストリアルパターン研究室（第3校舎2階 3211）

■備考

日程および予定は、企業による特別授業、授業進度、外部見学の日程などにより、変更することもある。
準備学修の必要時間は個人差があるため、課題の進捗状況にあわせ必要な時間を各自対応すること。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 1回	オリエンテーション パターン検定について 基本JKTの製図	予習：シラバスを読んでおく 復習：遅滞箇所を行う	45分
2回 2回	企業による特別授業（服飾資材について） 基本JKTの製図トワール	予習：製作上衣のリサーチ・デザイン 復習：特別授業の復習	45分
3回 3回	上衣1 製図	予習：製図・縫製方法の確認 復習：遅滞箇所を行う	45分
4回 4回	上衣1 製図 1STサンプル	予習：製図・縫製方法の確認 復習：遅滞箇所を行う	45分
5回 5回	上衣1 トワール 2NDサンプル	予習：製図・縫製方法の確認 復習：遅滞箇所を行う	45分
6回 6回	上衣1 型紙 縫製仕様書	予習：製図・縫製方法の確認 復習：遅滞箇所を行う	45分
7回 7回	上衣1 裁断 芯貼り	予習：縫製方法の確認 復習：遅滞箇所を行う	45分
8回 8回	上衣1 縫製1	予習：縫製方法の確認 復習：遅滞箇所を行う	45分
9回 9回	上衣1 縫製2	予習：縫製方法の確認 復習：遅滞箇所を行う	45分
10回 10回	上衣1 縫製3 上衣2 製図	予習：製図・縫製方法の確認 復習：遅滞箇所を行う	45分
11回 11回	上衣2 トワール 1STサンプル 2NDサンプル 型紙 縫製仕様書	予習：製図・縫製方法の確認 復習：遅滞箇所を行う	45分
12回 12回	上衣2 縫製1	予習：縫製方法の確認 復習：遅滞箇所を行う	45分
13回 13回	上衣2 縫製2	予習：縫製方法の確認 復習：遅滞箇所を行う	45分
14回 14回	まとめ1	予習：フードのリサーチ 復習：遅滞箇所を行う	45分
15回 15回	まとめ2 アクティブラーニング（プレゼンテーション）	予習：プレゼンテーション準備 復習：返却課題の見直し	45分

C Gデザイン

水越 綾

服飾学科 インダストリアルパターンコース 2年 前期 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

基礎課程における学び(情報演習におけるアプリケーション操作やファッション画、色彩等)をより実践的に活用し、使いこなせるよう、座学と演習を取り入れて授業を進めてゆく。この授業では、“色”を客観的に扱うために、“色の見え”に関するメカニズムについて講義を交え、様々な環境的要因や心理的要因からの影響を理解し、練習課題に取り組みながらニーズに合った提案ができる力をグループワーク・個別課題への取り組みを通して涵養してゆく。

■到達目標(学修成果)

これまでの教育課程において培ってきた知識・技術・経験を活かし、よりの確に自身のイメージを可視化する為に、それらを深め・探求することができる力。そして、そのためのアプリケーションスキルや配色・構成力の向上に自ら務めることができる。また、客観的な視点を常に持ち、自身の作品と対峙する力を身に付けることを目指す。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目の単位である。ディプロマポリシー(学位授与)については、インダストリアルパターンコース必修科目であり、服飾造形の基礎力及び、総合的な判断力の向上に資する科目である。

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

課題は基本的にキャンパスマジックに提出してもらう。プレゼンテーション時の学生間のフィードバックもキャンパスマジックを通じて行なう。また提出作品へのコメント等も基本的にキャンパスマジックで行なう。また、面談によるフィードバックもあり。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

ファッション色彩[]、ファッション色彩能力検定試験2級問題集(財団法人 日本ファッション教育振興協会)

■参考文献

日本のファッションカラー100 流行色とファッショントレンド1945～2013(一般社団法人 日本流行色協会発行)、デザイン・アートの基礎課程(ルーシーアレクサンダー、ティモシーミラー著、BNN)

■オフィスアワー・研究室

初回授業時にアナウンスする・研究室 研究棟1階6012B

■備考

色彩のテキスト、カラーペーパー等を使用する事があるので用意しておくように、また、授業内容は進行具合により、前後する可能性がある。その場合は事前にアナウンスする。USB等を用意しておく方が良い。また課題によっては材料費(1000円前後)を徴収することもあるが、その際は事前に周知する。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 水越	初回ガイダンス/いままでの色彩の学びのおさらい。 第1章産業における色彩(産業と色彩)	課題: 必要な情報を収集しておく。	30分
2回 水越	トートBAGデザインコンテスト リサーチ	予習: 教科書P200、P202～に目を通す。 課題: 課題を進めておく。	45分
3回 水越	トートBAGデザインコンテスト リサーチ 教科書P200 キーワードの分析、P202～商品企画における色彩計画	予習: 教科書P208～、P212～に目を通す。 復習と課題: 課題を進めておく。	45分
4回 水越	トートBAGデザインコンテスト リサーチ結果のプレゼンテーション	復習と課題: 必要があれば再度教科書を確認する。課題を進めておく。	45分
5回 水越	第5章パーソナルコーディネーションと色彩 トートBAGデザインコンテスト データー制作	復習と課題: 必要があれば再度教科書を確認する。課題を進めておく。	45分
6回 水越	トートBAGデザインコンテスト データー制作途中課程プレゼン/データーの修正	復習と課題: 必要があれば再度教科書を確認する。課題を進めておく。	45分
7回 水越	トートBAGデザインコンテスト データーの完成・提出	課題: 課題を進めておく。遅滞している場合は時間外に作業を進めておく。	45分
8回 水越	第4章流行配色・調和の技術・ファッションイメージとカラーコーディネーション	予習: 対峙該当頁に目を通し、疑問・不明な点をまとめておく。	45分
9回 水越	第4章流行配色・調和の技術・ファッションイメージとカラーコーディネーション	予習: 対峙該当頁に目を通し、疑問・不明な点をまとめておく。	45分
10回 水越	第4章流行配色・調和の技術・ファッションイメージとカラーコーディネーション	予習: 対峙該当頁に目を通し、疑問・不明な点をまとめておく。	45分
11回 水越	第4章流行配色・調和の技術・ファッションイメージとカラーコーディネーション	予習: 対峙該当頁に目を通し、疑問・不明な点をまとめておく。	45分
12回 水越	第5章パーソナルコーディネーションと色彩 座学の後、グループに分かれ相互にパーソナルカラー診断を行なう	予習: 対峙該当頁に目を通し、疑問・不明な点をまとめておく。	45分
13回 水越	第5章パーソナルコーディネーションと色彩 ペアワーク、お互いのファッションコーディネート提案。	課題: 課題を進めておく。	45分
14回 水越	第5章パーソナルコーディネーションと色彩 ペアワーク、お互いのファッションコーディネート提案。	課題: 課題を進めておく。	45分
15回 水越	第5章パーソナルコーディネーションと色彩 プレゼンテーションと振り返り(ピアフィードバック)	予習: 発表の準備をしておく 復習: 自分の発表を振り返る	45分

C G デザイン

水越 綾

服飾学科 インダストリアルパターンコース 2年 後期 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

基礎課程における学び（情報演習におけるアプリケーション操作やファッション画、色彩等）をより実践的に活用し、使いこなせるよう、座学と演習を取り入れて授業を進めてゆく。この授業では、“色”を客観的に扱うために、“色の見え”に関するメカニズムについて講義を交え、様々な環境的要因や心理的要因からの影響を理解し、練習課題に取り組みながらニーズに合った提案ができる力を涵養してゆく。

これらの学びを対面が主ではあるが、フィードバック等manabaを通じて双方向型授業で実施してゆく。

■到達目標（学修成果）

これまでの教育課程において培ってきた知識・技術・経験を活かし、よりの確に自身のイメージを可視化する為に、それらを深く・探求することができる力。そして、そのためのアプリケーションスキルや配色・構成力の向上に自ら務めることができる。

また、客観的な視点を常に持ち、自身の作品と対峙する力を身に付けることを目指す。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目の単位である。ディプロマポリシー(学位授与)については、インダストリアルパターンコース必修科目であり、服飾造形の基礎力及び、総合的な判断力の向上に資する科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題は基本的にキャンパスマジックに提出してもらう。プレゼンテーション時の学生間のフィードバックや、提出作品へのコメント等も基本的にキャンパスマジックで行なう。もちろん授業内において、面談によるフィードバックもあり。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

ファッション色彩[]、ファッション色彩能力検定試験2級問題集（財団法人 日本ファッション教育振興協会）

■参考文献

新しい模様・柄・パターンのデザイン(BNN)、幾何学パターンづくりの全て(ポール・ジャクソン著、BNN)、伝わるデザインの基本(技術評論社)なるほどデザイン(Mdn)、デザインを学ぶすべての人に贈る カラーと配色の基本BOOK 大里浩二

■オフィスアワー・研究室

初回授業時にアナウンスする・研究室 研究棟1階6012B

■備考

1年次の色彩テキストを使用する事があるので用意しておくこと。授業内容は進行具合により、前後する可能性がある。その場合は事前にアナウンスする。また、内容によっては材料費（1000円前後）が必要となるが、その際は事前に周知する。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 水越	コミュニケーションツールとしての色—色を伝える— 第3章色名	予習：テキストに目を通し、疑問・不明な点をまとめておく。課題：課題を進めておく	45分
2回 水越	第5章01ファッション産業において色彩を取り扱う姿勢 / テキスタイルデザインにおける配色展開	予習：テキストに目を通し、疑問・不明な点をまとめておく。課題：課題を進めておく	45分
3回 水越	第5章01ファッション産業において色彩を取り扱う姿勢 / テキスタイルデザインにおける配色展開	予習：テキストに目を通し、疑問・不明な点をまとめておく。課題：課題を進めておく	45分
4回 水越	テキスタイルデザインにおける配色展開 オリジナル柄の作成 デザイン案についてグループディスカッション	予習：テキストに目を通し、疑問・不明な点をまとめておく。課題：課題を進めておく	45分
5回 水越	テキスタイルデザインにおける配色展開 オリジナル柄の作成	課題：課題を進めておく	45分
6回 水越	テキスタイルデザインにおける配色展開 オリジナル柄の作成 成果発表と相互評価	予習：発表の準備をしておく。 課題：発表に対する振り返りの記録	45分
7回 水越	第5章01ファッション産業において色彩を取り扱う姿勢 / 02情報としての色彩 / ブランドリサーチ	予習：テキストに目を通して、課題に向けたリサーチを行う。	45分
8回 水越	第5章01ファッション産業において色彩を取り扱う姿勢 / 02情報としての色彩 / 配色傾向の調査	課題：課題を進めておく	45分
9回 水越	第5章01ファッション産業において色彩を取り扱う姿勢 / 02情報としての色彩 経年変化を読み取る	課題：課題を進めておく	45分
10回 水越	第5章01ファッション産業において色彩を取り扱う姿勢 / 02情報としての色彩 経年変化を読み取る	課題：課題を進めておく	45分
11回 水越	第5章01ファッション産業において色彩を取り扱う姿勢 / 02情報としての色彩 中間プレゼンテーション・振り返り	予習：発表の準備をしておく。 課題：発表に対する振り返りの記録	45分
12回 水越	第5章03商品企画における色彩計画 過去の情報から今後のトレンド予測をおこなう	課題：ファッション画（手描き線画）を作成する / 必要な素材・情報を集めておく	45分
13回 水越	第5章03商品企画における色彩計画 過去の情報から今後のトレンド予測をおこなう	課題：ハンガーイラスト（手描き）を作成する / 必要な素材・情報を集めておく	45分
14回 水越	第5章03商品企画における色彩計画 プレゼンテーションの資料作成	課題：課題を進めておく	45分
15回 水越	第5章03商品企画における色彩計画 企画発表（学生間相互評価と自己振り返り）総評	予習：発表の準備をしておく。 課題：発表に対する振り返りの記録	45分

C A D & 3 D 演習

羽賀 友美

服飾学科 インダストリアルパターンコース 2年 前期 必修 (1単位 演習)

■授業の方針・概要

CADでのパターンメイキングと3Dフィッティングの基本を学ぶことを方針とします。服作りは人体を考えることにより、機能的で美しいシルエットを作り出すことができます。基本的なCAD操作を習得し、平面パターン設計を学修します。CADと連動した3Dフィッティングを使って面やダーツ位置の確認をしながら、立体の組み立てを行います。状況に応じてインダストリアルパターン と連携します。

■到達目標（学修成果）

CADを使った平面製図→3Dを連動して服の形状を学んでいきます。ダーツ展開・身頃・衿・袖・ワンピースの基本を学び、パターンを立体として組み立て検証し、パターン力を向上させます。手引きの製図からトレースしデータ化できるようになります。課題はポートフォリオとしてまとめ、学生の自己点検と教員との意見交換も行います。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー（学位授与の方針）については、インダストリアルパターンコース必修科目であり、服飾造形の基礎力の向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

製図は教員が添削して後日学生に返却する。3Dフィッティングは教員と共にその場でシルエット確認する。CADデータはPowerPointでまとめて提出し教員は講評を返信する（学生ポータル利用）。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

PATTERN MAKING (杉野学園)、配布プリント

■参考文献

被服構成の基礎（奥田有希著）、ドレメ式原型（杉野学園）

■オフィスアワー・研究室

- ・オフィスアワーの日時は初回の授業時にお知らせします。
- ・インダストリアルパターン研究室（第3校舎2階 3211）

■備考

- ・進度により日程及び内容を変更することがあります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 羽賀	オリエンテーション	予習：シラバスの確認、ワンピースの製図について 復習：遅滞箇所の完了	30分
2回 羽賀	ワンピース Aライン	予習：ワンピースの製図について教科書を読む 復習：遅滞箇所の完了	30分
3回 羽賀	ワンピース タイトワンピース	予習：ワンピースの製図について教科書を読む 復習：遅滞箇所の完了	30分
4回 羽賀	ダーツ展開 タック、ヨーク	予習：ダーツ展開の製図について教科書を読む 復習：遅滞箇所の完了	30分
5回 羽賀	ダーツ展開 横切替、パネルライン	予習：ダーツ展開の製図について教科書を読む 復習：遅滞箇所の完了	30分
6回 羽賀	まとめ	予習：今まで行った製図の確認をしておく 復習：遅滞箇所の完了	30分
7回 羽賀	デザインブラウス	予習：ブラウスの製図について教科書を読む 復習：遅滞箇所の完了	30分
8回 羽賀	デザインブラウス	予習：ブラウスの製図について教科書を読む 復習：遅滞箇所の完了	30分
9回 羽賀	デザインブラウス	予習：ブラウスの製図について教科書を読む 復習：遅滞箇所の完了	30分
10回 羽賀	デザインブラウス	予習：ブラウスの製図について教科書を読む 復習：遅滞箇所の完了	30分
11回 羽賀	アクティブラーニング、グループワーク（市場調査）	予習：自分の手引きパターンを確認しておく 復習：遅滞箇所の完了	30分
12回 羽賀	スキャニング、トレース ブラウス	予習：自分の手引きパターンを確認しておく 復習：遅滞箇所の完了	30分
13回 羽賀	スキャニング、トレース パンツ	予習：自分の手引きパターンを確認しておく 復習：遅滞箇所の完了	30分
14回 羽賀	スキャニング、トレース パンツ	予習：自分の手引きパターンを確認しておく 復習：遅滞箇所の完了	30分
15回 羽賀	まとめ	予習：全体を整理、再確認しておく 復習：遅滞箇所の完了	30分
16回 羽賀	まとめ 学生ポータル提出	予習：全体を整理、再確認しておく 復習：遅滞箇所の完了	30分

CAD & 3D 演習

羽賀 友美

服飾学科 インダストリアルパターンコース 2年 後期 必修 (1単位 演習)

■授業の方針・概要

前期のCAD & 3D 演習 を基礎にCADでのパターンメイキングと3Dフィッティングを行います。デザインを読み取ってサイズ設定を行い、パターン作成や展開方法を学修することを方針とします。状況に応じてインダストリアルパターン と連携します。

■到達目標（学修成果）

CADを使った平面製図→3Dを連動して服の形状を学んでいきます。ブルゾン、ボトムスのパターンを作成し3Dフィッティングで組み立て検証し、自分のイメージを具現化できる力を養うことを目標とします。基本的なグレーディングとマーキングができるようになります。課題はポートフォリオとしてまとめ、学生の自己点検と教員との意見交換も行います。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー（学位授与の方針）については、インダストリアルパターンコース必修科目であり、服飾造形の基礎力の向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

製図は教員が添削して後日学生に返却する。3Dフィッティングは教員と共にその場でシルエット確認する。CADデータはPowerPointでまとめて提出し教員は講評を返信する（学生ポータル利用）。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

PATTERN MAKING (杉野学園)、配布プリント

■参考文献

基礎テキスト（杉野学園）

■オフィスアワー・研究室

- ・オフィスアワーの日時は初回の授業時にお知らせします。
- ・インダストリアルパターン研究室（第3校舎2階 3211）

■備考

- ・進度により日程及び内容を変更することがあります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 羽賀	オリエンテーション	予習：シラバスの確認、ブルゾンのデザインについて調査 復習：遅滞箇所の完了	30分
2回 羽賀	ブルゾン	予習：配布プリントを読む 復習：遅滞箇所の完了	30分
3回 羽賀	ブルゾン	予習：配布プリントを読む 復習：遅滞箇所の完了	30分
4回 羽賀	ブルゾン	予習：配布プリントを読む 復習：遅滞箇所の完了	30分
5回 羽賀	ブルゾン	予習：配布プリントを読む 復習：遅滞箇所の完了	30分
6回 羽賀	グレーディング	予習：配布プリントを読む 復習：遅滞箇所の完了	30分
7回 羽賀	グレーディング	予習：配布プリントを読む 復習：遅滞箇所の完了	30分
8回 羽賀	グレーディング	予習：配布プリントを読む 復習：遅滞箇所の完了	30分
9回 羽賀	スキャニング、トレース ベスト	予習：自分の手引きパターンを確認しておく 復習：遅滞箇所の完了	30分
10回 羽賀	まとめ	予習：今までやったことを整理、再確認しておく 復習：遅滞箇所の完了	30分
11回 羽賀	マーキング	予習：配布プリントを読む 復習：遅滞箇所の完了	30分
12回 羽賀	ボトムス	予習：配布プリントを読む 復習：遅滞箇所の完了	30分
13回 羽賀	ボトムス アクティブラーニング、グループワーク（市場調査）	予習：配布プリントを読む 復習：遅滞箇所の完了	30分
14回 羽賀	スキャニング、トレース ブルゾン	予習：全体を整理、再確認しておく 復習：遅滞箇所の完了	30分
15回 羽賀	まとめ 学生ポータル提出	予習：全体を整理、再確認しておく 復習：遅滞箇所の完了	30分

テキスタイルデザイン

山川 智子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 2年 前期 必修 (2単位 実験実習)

■授業の方針・概要

この授業は主に「織物」に関するデザイン、表現技法などの基礎的なことから学び、専門用語、用具、制作工程を理解し、作品制作することによって修得する入門的な内容で授業構成している。自由な発想で「織物」を考えることができる基本的な基礎知識、技術を修得することを方針とする。

■到達目標（学修成果）

基本的な制作技術を使って小作品が自立して制作できるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

プレゼンテーションを行う。課題返却時に講評をする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

・オリジナルテキスト配布

■参考文献

・適宜資料配布

■オフィスアワー・研究室

水曜日（16：00～17：00）第2校舎 2104教室

■備考

・ダイニングテクニク に関連した授業展開である。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 山川	織物組織 経系の準備	(予習)身の回りの「布」を意識的に見る	60分
2回 山川	織物組織 織布準備	(予習)織機・組織の仕組みを理解する	60分
3回 山川	織物組織 織布	(予習)三原組織の生地について調査する	60分
4回 山川	織物組織 織布	(復習)系配列と組織の関係を理解し、先染めのバリエーションを観察する	60分
5回 山川	織物組織 織布	(復習)身の回りの「三原組織」各種の製品を見つけ、違いについて考える	60分
6回 山川	織物組織 織布 測定・まとめ	(復習)織物組織の専門用語や作業方法など復習をしまとめる	60分
7回 山川	織物組織 経系の準備織布準備	(復習)変化組織について調査を行う	30分
8回 山川	織物組織 経系の準備織布準備・織布	(予習)組織ヘリンボーンについてテキストを確認してくる	30分
9回 山川	織物組織 織布準備・織布	(予習)組織バスケットについてテキストを確認してくる	30分
10回 山川	織物組織 織布準備・織布	(予習)組織ジュエルについてテキストを確認してくる	30分
11回 山川	織物組織 織布 測定・まとめ	(予習)マフラーのデザインについて市場調査する(組織など)	60分
12回 山川	マフラーの制作(市販の系からの設計、織布)	(復習)デザインについて市場調査する	30分
13回 山川	マフラーの制作(市販の系からの設計、織布)	(予習)織機の使い方とその意味を再考する	30分
14回 山川	マフラーの制作(市販の系からの設計、織布)	(復習)設計に対し、再度検討し系の形状や太さと織の関係について考える	30分
15回 山川	まとめ・プレゼンテーション 課題の提出	(復習)課題を提出できるように用意する	60分

テキスタイルデザイン

田口 雅子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 2年 後期 必修 (2単位 実験実習)

■授業の方針・概要

テキスタイルデザイン の延長上に位置する科目である。基礎的な制作を通して、応用に発展するための制作経験を繰り返す。テーマや使用することを意識した設計・制作できる能力の育成を方針とする。

■到達目標（学修成果）

自立して織物制作をするにあたり制作工程を理解し、さらに織物を立体的に捉え、素材、色彩との関連性を考えるための視野を身につける。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

プレゼンテーションもしくは課題返却時に講評をする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	10%

■教科書

・オリジナルテキスト配

■参考文献

・適宜資料の配布

■オフィスアワー・研究室

水曜日（16：00～17：00）テキスタイルデザイン研究室（3011）

■備考

- ・博物館、美術館および関連した展示会などの見学を積極的に行うこと
- ・ダイイングテクニック に関連した授業展開である
- ・ダイイングテクニック ・テキスタイルデザイン の単位を取得していること

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 田口	ウール織物の制作 柄の提案 織物シミュレーション	（予習）身の回りのウール織物についてリサーチする	30分
2回 田口	ウール織物の制作 柄の提案 織物シミュレーション	（予習）身の回りのウール織物についてリサーチする	30分
3回 田口	ウール織物の制作 織布準備	（復習）前期課題の設計書の確認をする	60分
4回 田口	ウール織物の制作 織布準備	（復習）前期課題の設計書の確認をする	60分
5回 田口	ウール織物の制作 織布1	（復習）素材と風合いの確認をする	30分
6回 田口	ウール織物の制作 織布1	（復習）素材と風合いの確認をする	30分
7回 田口	ウール織物の制作 織布2 始末・測定	（復習）縮充による風合いの確認をする	30分
8回 田口	ウール織物の制作 織布2 始末・測定	（復習）縮充による風合いの確認をする	30分
9回 田口	綿織物の制作 綿素材による立体物のデザイン 制作シミュレーション	（予習）技法と素材の特徴や制作工程の確認をする	60分
10回 田口	綿織物の制作 綿素材による立体物のデザイン 制作シミュレーション	（予習）技法と素材の特徴や制作工程の確認をする	60分
11回 田口	綿織物の制作 織布	（復習）最終的な仕上りを明確にイメージし、平面を立体として捉える	30分
12回 田口	綿織物の制作 織布	（復習）最終的な仕上りを明確にイメージし、平面を立体として捉える	30分
13回 田口	織の表現 綴織の制作 デザイン 経系準備	（予習）綴れ織の特徴について調査する	100分
14回 田口	織の表現 綴織の制作 デザイン 経系準備	（予習）綴れ織の特徴について調査する	100分
15回 田口	織の表現 綴織の制作 織布	（予習）綴れ織の歴史について調査する	45分

テキスタイルデザイン

田口 雅子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 2年 後期 必修 (2単位 実験実習)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	
16回 田口	織の表現 綴織の制作 織布	（予習）綴れ織の歴史について調査する	45分
17回 田口	作品制作応用課題 デザイン・面談（ディスカッション）・設計	（復習）リサーチ、面談準備を行う	45分
18回 田口	作品制作応用課題 デザイン・面談（ディスカッション）・設計	（復習）リサーチ、面談準備を行う	45分
19回 田口	作品制作応用課題 サンプル	（予習）課題について理解し、技法について調べ考案する	120分
20回 田口	作品制作応用課題 サンプル	（予習）課題について理解し、技法について調べ考案する	120分
21回 田口	作品制作応用課題 制作	（復習）作品の完成をイメージし、検討と、プロセスの確認をする	60分
22回 田口	作品制作応用課題 制作	（復習）作品の完成をイメージし、検討と、プロセスの確認をする	60分
23回 田口	作品制作応用課題 制作	（復習）空き時間を利用して制作を行う	60分
24回 田口	作品制作応用課題 制作	（復習）空き時間を利用して制作を行う	60分
25回 田口	作品制作応用課題 制作	（復習）空き時間を利用して制作を行う	60分
26回 田口	作品制作応用課題 制作	（復習）空き時間を利用して制作を行う	60分
27回 田口	作品制作応用課題 プレゼン準備	（復習）振返りをし、プレゼンの準備をする	40分
28回 田口	作品制作応用課題 プレゼン準備	（復習）振返りをし、プレゼンの準備をする	40分
29回 田口	プレゼンテーション、まとめ	（復習）他者の意見を聞くことで振返りを行う	30分
30回 田口	プレゼンテーション、まとめ	（復習）他者の意見を聞くことで振返りを行う	30分

ダイイングテクニック

山川 智子、鎌田 美恵

服飾学科 テキスタイルデザインコース 2年 前期 必修 (2単位 実験実習)

■授業の方針・概要

作を通して「糸・布染め」を基本とする、糸・布準備、精練、染料と染め方、染料による色彩の特徴などを学修する。実践的な染色方法の基本を、ウール・綿素材を使って学修し、染色の基礎力を身につけることを方針とする。

■到達目標（学修成果）

染色工程の基礎として、染料と助剤、染法を学修し、目指す色彩に染色できるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題返却時に講評をする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

オリジナルテキスト配布

■参考文献

適宜資料配布

■オフィスアワー・研究室

水曜日（16：00～17：00）2104教室 山川

水曜日（16：00～17：00）テキスタイルデザイン研究室（3011）鎌田

■備考

・テキスタイルデザインに関連した授業展開である

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 山川	染色基礎ガイダンス 染色と染法基礎	（復習）繊維に応じた様々な染色方法を理解する	30分
2回 山川	ウール系染め染色見本の作成準備	（復習）染色方法を顧みる	30分
3回 山川	ウール系染め・まとめ	（復習）色の表現を理解する	30分
4回 山川	カラー織見本の作成 織布準備	（復習）経緯系の交錯による色彩変化について観察する	30分
5回 山川	カラー織見本の作成 織布	（復習）色、濃度、糸の交錯による変化を整理する	30分
6回 山川	フェルト制作 デザイン 準備	（予習）フェルトを基布として様々な表情になる方法を調査する	45分
7回 山川	フェルト制作 フェルティング	（予習）柄と手の力との関係、様々な表現を整理する	45分
8回 山川	フェルト制作 始末	（予習）細かいデテールについてどのように仕上げるか考え、必要な材料を用意する	30分
9回 鎌田	ろうけつ染め カラーサンプル作成	（復習）ろうけつ染めについて調べレポート作成	60分
10回 鎌田	絞り染め(基礎) 糸入れ・絞り・染色・糸解き	（復習）絞り染めについて調べレポート作成	60分
11回 鎌田	絞り染め(応用作品制作1) デザイン・糸入れ・絞り	（予習）修得した技法を活かしたデザイン考案	60分
12回 鎌田	絞り染め(応用作品制作1) 染色・後処理・ディスカッション・講評	（予習）絞りの実践 （復習）レポート作成	90分
13回 鎌田	絞り染め(応用作品制作2) デザイン・糸入れ・絞り	（予習）デザイン考案	60分
14回 鎌田	絞り染め(応用作品制作2) 染色・後処理・糸解き	（予習）絞りの実践	90分
15回 鎌田	絞り染め(応用作品制作2) ディスカッション・講評	（予習）ディスカッション準備・レポート作成	60分

ダイイングテクニック

田口 雅子、鎌田 美恵

服飾学科 テキスタイルデザインコース 2年 後期 必修 (2単位 実験実習)

■授業の方針・概要

ダイイングテクニック の延長上に位置する科目である。異なる素材を使用した制作を行い、素材と染料・助剤の関係性、濃度の調整や、道具の扱い方を学び、糸の染色技法を修得するだけでなく、布の染色技法と表現方法を学ぶことで、テキスタイル表現の視野を広げていく。

■到達目標（学修成果）

綿・ウールなど原材料の違いによる染色方法の違いを理解し、イメージした色を自立して染められる実践的な基礎的知識、技術の修得と、布染めにおける伝統的な染色方法を修得し、今後の作品制作につなぐことができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

プレゼンテーションもしくはレポート、作品課題返却時に講評をする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

オリジナルテキスト配布

■参考文献

適宜配布

■オフィスアワー・研究室

水曜日（16：00～17：00）テキスタイルデザイン研究室（3011）

■備考

- ・テキスタイルデザイン に関連した授業展開である
- ・テキスタイルデザイン ・ダイイングテクニック の単位を修得していること
- ・「色彩能力検定3級」検定試験を受検する

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 田口	ウール織物の作成 紡毛糸の染色準備・精練	（予習）糸取りおよび、毛糸の精練の方法について確認する	30分
2回 田口	ウール織物の作成 紡毛糸の染色準備・精練	（予習）糸取りおよび、毛糸の精練の方法について確認する	30分
3回 鎌田	型紙捺染(一型) デザイン・型彫り・紗張り・地染・試染	（（予習）デザイン考案 （復習）型染について調べレポート作成	90分
4回 鎌田	型紙捺染(一型) デザイン・型彫り・紗張り・地染・試染	（予習）デザイン考案 （復習）型染について調べレポート作成	90分
5回 田口	ウール織物の作成 紡毛糸の染色	（予習）毛糸の染法について確認する	30分
6回 田口	ウール織物の作成 紡毛糸の染色	（予習）毛糸の染法について確認する	30分
7回 鎌田	型紙捺染(一型) 色糊調整・捺染・蒸し・水洗・藍染	（予習）藍染について調べレポート作成	60分
8回 鎌田	型紙捺染(一型) 色糊調整・捺染・蒸し・水洗・藍染	（予習）藍染について調べレポート作成	60分
9回 田口	綿織物の制作 綿糸の精練・染色	（復習）綿糸の精練について理解する	30分
10回 田口	綿織物の制作 綿糸の精練・染色	（復習）綿糸の精練について理解する	30分
11回 鎌田	型紙捺染(一型) 藍染抜染 ソーピング	（復習）作品のレポート作成	60分
12回 鎌田	型紙捺染(一型) 藍染抜染 ソーピング	（復習）作品のレポート作成	60分
13回 田口	綿織物の制作 織布	（復習）完成させ、レポートにまとめる	30分
14回 田口	綿織物の制作 織布	（復習）完成させ、レポートにまとめる	30分
15回 鎌田	型紙捺染(複数型) 生地精練・型彫り・試染	（予習）デザイン考案 色彩計画	60分

ダイイングテクニック

田口 雅子、鎌田 美恵

服飾学科 テキスタイルデザインコース 2年 後期 必修 (2単位 実験実習)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	
16回 鎌田	型紙捺染(複数型) 生地精練・型彫り・試染	(予習) デザイン考案 色彩計画	60分
17回 田口	織の表現 ノッティング(点描の色彩) 経糸の準備	(予習) 毛足の長さや密度、糸の色のミックス効果について考える	40分
18回 田口	織の表現 ノッティング(点描の色彩) 経糸の準備	(予習) 毛足の長さや密度、糸の色のミックス効果について考える	40分
19回 鎌田	型紙捺染(複数型) 地張り・色糊調整・捺染	(予習) 型彫りの実践	60分
20回 鎌田	型紙捺染(複数型) 地張り・色糊調整・捺染	(予習) 型彫りの実践	60分
21回 田口	織の表現 ノッティング(点描の色彩) 織布	(復習) 表現したい色彩効果が得られているか検討する	30分
22回 田口	織の表現 ノッティング(点描の色彩) 織布	(復習) 表現したい色彩効果が得られているか検討する	30分
23回 鎌田	型紙捺染(複数型) 蒸し・水洗・後処理	(復習) 作品提出準備・レポート作成	60分
24回 鎌田	型紙捺染(複数型) 蒸し・水洗・後処理	(復習) 作品提出準備・レポート作成	60分
25回 田口	織の表現 ノッティング(点描の色彩) 織布 始末	(復習) 用途や異なる設計での表現効果について考察する	30分
26回 田口	織の表現 ノッティング(点描の色彩) 織布 始末	(復習) 用途や異なる設計での表現効果について考察する	30分
27回 鎌田	型紙捺染 ディスカッション 講評	(予習) ディスカッション準備	45分
28回 鎌田	型紙捺染 ディスカッション 講評	(予習) ディスカッション準備	45分
29回 田口	まとめ 講評	(復習) 後期作品を振り返り、技法における表現の特徴を理解する	50分
30回 田口	まとめ 講評	(復習) 後期作品を振り返り、技法における表現の特徴を理解する	50分

素材設計論

田口 雅子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 2年 前期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

コース専門課程につながる基礎科目として、身の回りにおけるテキスタイルにおいて、繊維・糸・布との関係性を考えながら基本的なテキスタイルの知識について学ぶ。また、テキスタイルデザインに関連し、制作に向けた織物組織や設計、染色の理論について解説し、この理論と制作を通してテキスタイルの構造を理解し、糸の太さや形状が布の風合いに影響し、さらに「服の着心地」に影響するという基本的な概念を身につける。

■到達目標（学修成果）

テキスタイルデザイン・ダイニングテクニックの課題に対しての制作プロセスを理解し、織物設計、糸量・染料の算出ができるようになる。テキスタイルに興味を持ち、制作、繊維・糸・布について、今後の学修に繋げることが出来る。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内小テストを行い理解の確認を行う

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

オリジナルテキスト（テキスタイルデザイン・ダイニングテクニック共有）

■参考文献

適宜配布

■オフィスアワー・研究室

水曜日（15：00～17：00）テキスタイルデザイン研究室（3011）

■備考

衣服材料学、アパレル素材論で使用したテキストを参照し、これまで得られた知識を振り返りながら学ぶこと

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 田口	導入 テキスタイルとは	（予習）身近に使われる布のリサーチ・考察する	45分
2回 田口	導入 テキスタイルとは	（予習）身近に使われる布のリサーチ・考察する	45分
3回 田口	設計1「組織」組織図36種類の作成 順通しによる基本的な組織図の表現と設計、糸量の算出	（予習）配布したオリジナルテキスト「組織」とは何か考える	30分
4回 田口	設計1「組織」組織図36種類の作成 順通しによる基本的な組織図の表現と設計、糸量の算出	（予習）配布したオリジナルテキスト「組織」とは何か考える	30分
5回 田口	設計2「組織」組織図5種類の作成 乱通しによる基本的な組織図の表現と設計、糸量の算出	（予習）身の回りにおける糸配列や組織による織表現についてリサーチする	30分
6回 田口	設計2「組織」組織図5種類の作成 乱通しによる基本的な組織図の表現と設計、糸量の算出	（予習）身の回りにおける糸配列や組織による織表現についてリサーチする	30分
7回 田口	組織図の仕組み・書き方について 設計3「マフラー」の設計 市販系の長さからの設計	（復習）身の回りの繊維製品について糸と織物組織の関係でリサーチする	30分
8回 田口	組織図の仕組み・書き方について 設計3「マフラー」の設計 市販系の長さからの設計	（復習）身の回りの繊維製品について糸と織物組織の関係でリサーチする	30分
9回 田口	染色理論	（予習）染色計算・道具について確認する	30分
10回 田口	染色理論	（予習）染色計算・道具について確認する	30分
11回 田口	染色理論	（予習）繊維による染料の違いと助剤、濃度の確認をする	45分
12回 田口	染色理論	（予習）繊維による染料の違いと助剤、濃度の確認をする	45分
13回 田口	染色・織物道具の名称と使用方法 中間テスト	（復習）制作に必要な道具類の名称と操作方法について確認する	60分
14回 田口	染色・織物道具の名称と使用方法 中間テスト	（復習）制作に必要な道具類の名称と操作方法について確認する	60分
15回 田口	PCによる織物作成「組織」「組織」 4DboxでのCG織物表現	（予習）PC上でのテキスタイル表現について理解する	30分

素材設計論

田口 雅子

服飾学科 テキスタイルデザインコース

2年

前期

必修

(2単位 講義)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	
16回 田口	PCによる織物作成「組織」「組織」 4DboxでのCG織物表現	(予習) PC上でのテキスタイル表現について理解する	30分
17回 田口	素材とテキスタイル1 調査	(予習) ボーダー柄の効果と商品デザインについてリサーチする	90分
18回 田口	素材とテキスタイル1 調査	(予習) ボーダー柄の効果と商品デザインについてリサーチする	90分
19回 田口	素材とテキスタイル1 プレゼンテーション1	(復習) 身近にある布を再度リサーチし、何に気づきがあるか確認する	30分
20回 田口	素材とテキスタイル1 プレゼンテーション1	(復習) 身近にある布を再度リサーチし、何に気づきがあるか確認する	30分
21回 田口	素材とテキスタイル1 プレゼンテーション2	(予習) 繊維の特徴と糸形状、生地風の合いを確認し、レポートを作成する	30分
22回 田口	素材とテキスタイル1 プレゼンテーション2	(予習) 繊維の特徴と糸形状、生地風の合いを確認し、レポートを作成する	30分
23回 田口	素材とテキスタイル2 調査	(予習) 繊維の特徴と糸形状、生地風の合いを確認しレポートを作成する	30分
24回 田口	素材とテキスタイル2 調査	(予習) 繊維の特徴と糸形状、生地風の合いを確認しレポートを作成する	30分
25回 田口	素材とテキスタイル2 プレゼンテーション1	(復習) 調査内容のまとめ・考察	45分
26回 田口	素材とテキスタイル2 プレゼンテーション1	(復習) 調査内容のまとめ・考察	45分
27回 田口	素材とテキスタイル2 プレゼンテーション	(復習) プレゼンテーションの確認	30分
28回 田口	素材とテキスタイル2 プレゼンテーション	(復習) プレゼンテーションの確認	30分
29回 田口	講評、解説、まとめ 小テスト	(復習) 学修した内容をまとめる	45分
30回 田口	講評、解説、まとめ 小テスト	(復習) 学修した内容をまとめる	45分

素材設計論

土岐 千春

服飾学科 テキスタイルデザインコース 2年 後期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

素材設計論 で学んだことにデザイン展開の要素を加え、デザインをおこすための基礎となる描画力と商品企画の基礎を学修する。講師の企業実務に基づき、業界におけるテキスタイルプランナーの役割と業務の現状について解説する。

■到達目標（学修成果）

ファッションテキスタイルの基礎を修得し、アイデアからデザインへの展開と情報収集に裏付けされた素材設計、商品企画、プレゼンテーションが行えるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題作品は採点后、返却します。授業内、または返却時に講評します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

適宜プリント資料配布

■参考文献

図書館内資料等

■オフィスアワー・研究室

テキスタイルデザイン研究室（3011）後期：木曜日（9:00～12:10）

■備考

素材設計論 を修得していること

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 土岐	授業の内容と計画の説明 ・テキスタイルプランナーの役割と業界の現状を解説	テキスタイルプランナーの業務についてリサーチする	30分
2回 土岐	先染め、後染め、ジャカード、プリント、レースなどの素材とデザインの位置づけ	各素材について調査しサンプルを集める	60分
3回 土岐	描画の基礎： デッサンを通して写実的描画を学ぶ	デッサンの方法、作品をリサーチする	60分
4回 土岐	描画の基礎： 水彩画を通して写実的描画を学ぶ	水彩描画の方法、作品をリサーチする	60分
5回 土岐	プリント柄デザインへの展開 写実的な表現からデザインに展開する	対象物の特徴をいかしてデザイン化が出来たか確認する	30分
6回 土岐	カラーバリエーションや柄レンジの作成 バリエーション作成のポイント解説	プリント柄のカラーバリエーションについてリサーチする	60分
7回 土岐	トレンド分析と市場調査 トレンド情報を分析し企画に反映させる方法	コレクション雑誌(GAP)やトレンド資料を見て概要を理解する	60分
8回 土岐	企画におけるコンセプト、テーマのたて方 デザインと言葉による表現の関係性	コンセプトやプレゼンテーションに使われる言葉をリサーチする	60分
9回 土岐	素材の特徴と適した用途について ・服に使われる素材を確認し特徴を解説	服の素材・取扱い表示を確認して使われる素材をリサーチする	60分
10回 土岐	デザインにおける構図とリピート ・リピートの必要性と作り方を学ぶ	プリント柄のリピートを読みとり送りを確認する	30分
11回 土岐	リピートのついた図案の作成 ・絵とプリント図案の違い	身の回りのプリント柄の資料を集める	30分
12回 土岐	商品企画におけるコンセプトマップの作成 ・プレゼンテーションにおけるビジュアルの重要性	トレンドを意識した商品企画になるようトレンド分析を行う	60分
13回 土岐	コンセプトに合わせたデザインの作成 ・カラーバリエーションやカラーイメージの作成ポイント	ビジュアル作成のための資料集め	60分
14回 土岐	プレゼンテーションを通してデザインの表現方法を学ぶ 相互評価を行う	プレゼンテーションのシナリオ作成等の準備	60分
15回 土岐	まとめ ・課題内容の振り返りと修得内容のまとめ	学習内容の振り返りと改善点の確認	60分

3Dテキスタイル（テクスチャー）

山川 智子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 2年 後期 必修 （2単位 演習）

■授業の方針・概要

この授業では主にテキスタイル制作の知識を活かし、3DCGでのテキスタイルの表現を基礎的なことから学びます。3DCGでの専門用語、専門的なアプリケーションソフトの使用方法などを課題制作を行うことで修得する。入門的な内容で授業構成。テキスタイルをバーチャル空間などでリアルな表現を行うための基本的な知識と技術を修得することを方針としている。

■到達目標（学修成果）

テキスタイルを3DCGで表現をする上でフィジカルとの違いを理解し、CGでリアルなテキスタイルの表現する基礎知識及び専門的なアプリケーションソフトの使用法の習得を目的とします。専門的なアプリケーションを駆使して表現することでテキスタイル表現の幅を広げることができます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコースの専門科目で卒業要件科目。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

・ポートフォリオを提出してもらい添削をして返却。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

オリジナルテキスト

■参考文献

授業内でインフォメーションします。

■オフィスアワー・研究室

第2校舎 2104教室 ニットCAD室

■備考

保存用 USBまたはSSDを用意してください。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 山川	2DCGと3DCGの概要及びCGテキスタイル作成ソフトについて	（予習）アパレル業界での3DCGがどのように使われているかリサーチ	60分
2回 山川	APEX Fizでのテキスタイル作成 織物 柄、組織	（予習）アパレル素材論で学修した生地、柄、組織などについて思い出す	60分
3回 山川	APEX Fizでのテキスタイル作成 織物 ジャカード	（復習）APEX Fizの織物作成の 操作方法のノートを作成	60分
4回 山川	APEX Fizでのテキスタイル作成 ニット 組織柄	（予習）横編ニットの柄をリサーチ	60分
5回 山川	APEX Fizでのテキスタイル作成 ジャカード	（予習）横編ニットのジャカード柄について リサーチ	60分
6回 山川	3Dでのテキスタイル表現 APEX Fizを使用したテキスタイルのまとめ（CLO使用）	（予習）照明があたった時の影について （復習）操作方法のノート作成	60分
7回 山川	スキャニングからの3Dテキスタイルの作成 修正・タイリング（Photoshop使用）	（予習）柄のリポートについて他の授業で 学修してきている内容の復習	30分
8回 山川	スキャニングからの3Dテキスタイルの作成 Substance Designer	（復習）Substance Designerの 操作方法のノートを作成	60分
9回 山川	3Dでのテキスタイル表現 Substance Designerを使用したテキスタイルのまとめ	（予習）7回目でのまとめを行った操作方法 の復習	30分
10回 山川	CLO Fabric kidを使用した物理物性の測定 試料作成、測定、CLO Emulatorの入力	（予習）糸の太さ、生地、ドレープ性、 剛軟度など生地物性についてのリサーチ	40分
11回 山川	CLO を使用した物性比較 素材、組織が違う物性の比較	（予習）素材それぞれの特徴をリサーチ （復習）操作方法のノートを作成	60分
12回 山川	オリジナルテキスタイルの制作	（予習）オリジナルテキスタイルを作成するた めのリサーチ	90分
13回 山川	オリジナルテキスタイルの制作	（予習・復習）課題のクオリティーチェック	60分
14回 山川	オリジナルテキスタイルの制作	（予習・復習）課題のクオリティーチェック	30分
15回 山川	3DCGオリジナルテキスタイルの発表及び講評（アクティブラー ニングによる意見交換を含む）課題のまとめ・課題提出	（予習）発表のための用意 課題提出のための用意	60分

ファッションプロダクトデザイン論

肉丸 美香子

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 2年 前期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

ファッションプロダクトデザインの世界を、企業(製造業・販売、流通業)の現状と消費者の視点にたち、外部企業の現役の担当者により講義を行う。学生にとり自身の将来にどのような職域や職種が存在するのか、又現在の学びがそれらとどのような繋がりがあるのか数多くの疑問点や関心事があると思われる。更に企業サイドではどのような人材を必要としているのかを企画、制作、製造、販売などの部門ごとに実際の仕事の内容を具体的に学修する事を方針とする。

■到達目標(学修成果)

自身の特性や能力を生かし今後の学修をより効果的な学びに繋げることができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッションプロダクトデザインコースの必修科目で卒業要件単位となる。
ディプロマポリシーについては、専門教育課程の科目で服飾造形の基礎力を基に専門職として広く社会に受け入れられる人材の育成を目標とする科目である。

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

4回、7回、11回、14回目にレポートを提出する。15回目に課題のフィードバックを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

必要に応じてプリントを配布する。

■参考文献

ブランディングの基本(安原智樹著)、マーケティングの基本(安原智樹著)、ジャルフイックトレンド情報誌

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：金曜日11:00～12:00

【連絡研究室】ファッションプロダクトデザイン研究室(第三校舎4階 3409)

■備考

東京レザーフェア、ファッション雑貨フェアなど、各種展示会については授業の中で紹介を

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 肉丸	ガイダンス、ファッションプロダクトデザイン論の概要	予習：シラバスを読む	60分
2回 肉丸	ファッションプロダクトデザインの職域について	復習：実際に店頭へ行って確認する	60分
3回 大場	パリコレ・東コレの商品開発の現場での経歴と学んだこと。私が洋服だけでなく、帽子作りに惹かれた理由。	予習：好きなファッションプロダクトとその理由を調べてくる	30分
4回 大場	アイディアから商品レベルまでのプロセスについて。表面のデザインの仕立て方や、裏側の構造を探究する楽しさを知る。	復習：実際に帽子店に行ったりリサーチする	30分
5回 伊藤	資本主義経済の流れと消費(伊藤)・供給と市場マインド・日本の優位性(1)	復習：授業の内容を理解できるようにする	30分
6回 伊藤	二極化市場での戦い方(伊藤)・求められる企画と顧客創造について・日本の優位性(2)	復習：自分の強み、独自性を考える	30分
7回 伊藤	マーチャндаイジングについて ・狭義のMDから広義のMDへ・日本の優位性(3)	復習：マーチャндаイザーになったつもりで、改良点を見出す習慣をつける	30分
8回 依田	ファッションの為の雑貨・デザインと生活の為の雑貨 デザインの違いについて	予習：ファッション軸と生活軸のデザインの違いについて考えてくる	60分
9回 津曲	「FBの基本的仕組み」 ・ファッション業界の環境とビジネスの仕組み	予習：「ファッション」とは何だろう？ 自分なりにまとめてくる	60分
10回 津曲	「SDG'sを知ろう」・SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALSとは ・業界のSustainableとは(目的とその具体的事例)	復習：SDG'sについて授業の振り返り	60分
11回 津曲	「バッグ業界におけるSDG'sの事例」・バッグ業界内におけるSDGsを実践しているデザイナーからの紹介	復習：ファッション業界のサステナブルについて確認する	60分
12回 池田	情報収集の目的と方法・イタリア展示会取材・ストリートスナップ・ファッション誌キーワードチェック	復習：情報収集の方法の確認をする	30分
13回 池田	商品企画とデザイン→製造→販売の流れについて ・商品企画から商品開発までのフロー・店頭イメージの立案	復習：商品企画のフローチャートの確認をする	30分
14回 池田	トレンド情報とファッションプロダクト ・シーズントレンド情報・マーケットトレンド情報	復習：シーズントレンド・マーケットトレンドとは何かを理解する	30分
15回 肉丸	まとめ 課題(レポート等)のフィードバックを行う	復習：フィードバックされたものをもう一度確認する	30分

ファッションプロダクトデザイン

高橋 大夢

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 2年 前期 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

ファッションプロダクトデザインコース専門課程につながる基礎科目である。「ファッション」や「プロダクトデザイン」とは何か。デザインするとはどのようなことを指しているのか。これらの言葉の意味、内容を正しく理解しなければならない。その上で、実際にデザイン考案を行いモノ作りの楽しさ、厳しさを体験することに重点を置く。その後、段階的にデザイン条件をより複雑に設定し、課題制作を行っていく。ファッションアイテムの中でも、特にバッグや靴は構造、機能、素材、色彩などの諸要素が直接デザインと強く結びついている。このことを強く意識し、デザイン能力を鍛え、物作りを行う内容である事を方針とする。

■到達目標（学修成果）

初期のデザインイメージを、プロセスを通し発展させ、最終案に至るまでの流れを確認し、デザインの役割とモノ作りの意味を認識できる能力を修得する。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッションプロダクトデザインコースの必修科目で卒業要件単位となる。
ディプロマポリシーについては、専門教育課程の科目で服飾造形の基礎力を基に専門職として広く社会に受け入れられる人材の育成を目標とする科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

プレゼンテーション及び提出物に関しては授業内で講評する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

『鞆・ハンドバッグ・小物』（社団法人日本皮革産業連合会）

■参考文献

新かばん・バッグの商品知識(エフ・ワークス)
工業用ミシンと漉き機の基本操作とメンテナンス(STUDIO TAC CREATIVE)

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：金曜日 13:00～14:00【連絡研究室】ファッションプロダクトデザイン研究室(第三校舎4階 3409)

■備考

東京レザーフェア、ファッション雑貨フェアなど、各種展示会については授業の中で紹介をする。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 高橋	ガイダンス ファッションプロダクトデザイン についての概要	予習：シラバスを確認	30分
2回 高橋	バッグの仕様、サンプル制作 紙モックアップ制作	予習：使用道具の確認 復習：サンプルを完成させる	30分
3回 高橋	バッグの仕様、サンプル制作 不織布モックアップ制作	予習：ミシン使用方法の確認 復習：サンプルを完成させる	60分
4回 高橋	革用特殊ミシンのトレーニング 平ミシン・腕ミシン・革漉き機の使い方	復習：使用方法の復習	60分
5回 高橋	革用特殊ミシンのトレーニング 加工、部分縫い ヘリ返し	復習：加工法の復習、加工箇所見直し	60分
6回 高橋	【学外見学-(1)】 東京レザーフェア(TLF)	復習：世界のカバン博物館・東京レザーフェアの見学レポートを提出	60分
7回 高橋	革用特殊ミシンのトレーニング 加工、部分縫い 金具類の取り付け	復習：各自ミシンの使い方の復習、 加工箇所見直し	60分
8回 高橋	革の縫製方法 職業用ミシンで道具入れを制作する	復習：各店舗の情報をまとめておく	60分
9回 高橋	【学外見学-(2)】世界のカバン博物館 浅草、蔵前 革屋、 金具屋のフィールドリサーチ	復習：作品の仕上がり確認	60分
10回 高橋	【学外見学-(3)】 YKKものづくり館見学 YKKのプロダクト製品について	復習：YKKものづくり館見学レポートを提出	60分
11回 高橋	革の縫製方法 手縫いで革小物を制作する	復習：手縫い加工の復習	60分
12回 高橋	革の縫製方法 がま口の取り付け、小物制作	復習：がま口加工の復習	60分
13回 高橋	バッグの製図(1) 通しマチ (2)横マチ	復習：通しマチ、横マチ製図の確認	60分
14回 高橋	バッグの製図(3)底マチ (4)捨てマチ	復習：底マチ、捨てマチ製図の確認	60分
15回 高橋	バッグの製図(5) 型紙の取り方 前期課題のフィードバック	復習：型紙の取り方の確認	60分

ファッションプロダクトデザイン

高橋 大夢、大場 有希子

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 2年 後期 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

ファッションプロダクトデザインコース専門課程につながる基礎科目である。

対象となるアイテムは多岐に渡る。特にバッグ・帽子・シューズ等のファッショングッズの果たす役割はとても重要である。それぞれの持つ基本的な機能・構造をよく理解し、バッグに加えて靴・帽子のデザインと制作を行う。バッグ・靴・帽子には多くの作業工程があり、デザイン画から制作までの基本的な流れを把握し、実物の完成までを学ぶ。徹底的なリサーチを行い、自らが所有し使ってみたいと感じると同時に一般ユーザーを更に満足させることを心がけデザインを考案する事を方針とする。

■到達目標（学修成果）

初期のデザインイメージを、プロセスを通し発展させ、最終案に至るまでの流れを確認し、デザインの役割と物作りの意味を認識できる能力を修得する。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッションプロダクトデザインコースの必修科目で卒業要件単位となる。

ディプロマポリシーについては、専門教育課程の科目で服飾造形の基礎力を基に専門職として広く社会に受け入れられる人材の育成を目標とする科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

プレゼンテーション及び提出物に関しては授業内で講評する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	20%

■教科書

『鞆・ハンドバッグ・小物』（社団法人日本皮革産業連合会）

『レザーソムリエ資格試験公式テキスト』（日本革類卸売事業協同組合）

■参考文献

BAG DESIGN -A HANDBOOK FOR ACCESSORIES DESIGNERS (FASHIONARY)

工業用ミシンと漉き機の基本操作とメンテナンス(STUDIO TAC CREATIVE)

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：金曜日 13:00～14:00 【連絡研究室】ファッションプロダクトデザイン研究室(第三校舎4階 3409)

■備考

1～10回はバッグ制作、色彩講座（担当教員：高橋）11～15回は帽子制作（担当教員：大場）である。

ファッション色彩検定3級を受験する。

東京レザーフェア、ファッション雑貨フェアなど、各種展示会については授業の中で紹介をする。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 高橋	芯材を使用するバッグ制作 課題説明、デザイン考案	予習：シラバスを読む	60分
2回 高橋	芯材を使用するバッグ制作 デザイン考案、紙モック、製図	復習：時間内に終了できなかったものを次回までに完成させる	60分
3回 高橋	芯材を使用するバッグ制作 布バッグ制作 型紙、裁断、組み立て	予習：時間内に終了できなかったものを次回までに完成	60分
4回 高橋	芯材を使用するバッグ制作 布バッグ制作 裁断、組み立て	予習：バッグについてのリサーチを行っておく	60分
5回 高橋	芯材を使用するバッグ制作 布バッグ制作 組み立て、仕上げ	復習：型紙、裁断した生地の確認	60分
6回 高橋	芯材を使用するバッグ制作 革バッグ制作 型紙修正、裁断、組み立て	復習：時間内に終了できなかったものを次回までに完成	60分
7回 高橋	ファッション色彩検定試験対策講座	予習：試験対策としてテキストを熟読する	60分
8回 高橋	ファッション色彩検定試験対策講座	予習：試験対策としてテキストを熟読する	60分
9回 高橋	芯材を使用するバッグ制作 革バッグ制作 裁断、組み立て	復習：時間内に終了できなかったものを次回までに進めておく	60分
10回 高橋	芯材を使用するバッグ制作 革バッグ制作 組み立て、仕上げ	復習：時間内に終了できなかったものを次回までに完成させる	60分
11回 大場	ガイダンス（帽子） 種類・素材・歴史について	復習：種類や素材・歴史について確認する	60分
12回 大場	パターン作成→1枚の紙から帽子らしい立体の形を作成	復習：時間内に終了できなかった物を次回までに完成	60分
13回 大場	パターン作成→立体になった紙からパターン作成縫製 生地を裁断	復習：帽子のパターンを完成	60分
14回 大場	縫製 仕上げ	復習：遅れている作業をすすめ帽子を完成 予習：プレゼンテーションの準備	60分
15回 大場	プレゼンテーション 帽子、レザートートバッグの作品 講評	復習：修正の確認	60分

デザインプロセス

肉丸 美香子

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 2年 前期 必修 (1単位 演習)

■授業の方針・概要

デザインするということはアイディアやその概念を視覚可能な具体的な用途を持った形にするプロセスである。デザインは色や形により視覚的な美しさや魅力を追求すると共に、ユーザーのニーズや欲求を満たす機能的な要素を考慮することは極めて重要である。その為には、創造性、派生するさまざまな問題を解決する能力なども必要となる。ここではファッションプロダクト製品の中からアイテムを決めムードボードの作成など、より高いレベルのデザインを生み出す方法を学ぶ。まずはアイディアスケッチやワイヤーフレームなどを作成しながらデザインの方向性を確認する。各段階を踏まえ効率的にデザインプロセスを進めていく。

■到達目標（学修成果）

プロセスを踏まえてデザインしていくことにより、計画的なデザインを考えていく力が可能になる。そして自らの考えを他者に伝えるコミュニケーション能力、プレゼンテーション力が大きく飛躍する。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッションプロダクトデザインコースの必修科目で卒業要件単位となる。
ディプロマポリシーについては、専門教育課程の科目で服飾造形の基礎力を基に専門職として広く社会に受け入れられる人材の育成を目標とする科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内で必ずフィードバックを行う

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

適宜プリントを配布

■参考文献

授業内で紹介する

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：金曜日 13:00～14:00

【連絡研究室】ファッションプロダクトデザイン研究室(第三校舎4階 3409)

■備考

東京レザーフェア、ファッション雑貨フェアなど、各種展示会については授業の中で紹介をする

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 肉丸	オリエンテーション デザインプロセスの概要と重要性について	(予習)シラバスを読んで内容を確認	30分
2回 肉丸	デザインすることとは ＜テーマとコンセプトについて＞	(復習)授業内容を理解する	30分
3回 肉丸	テーマとコンセプトの設定について(ファッショングッズ) ・テーマの選定	(予習)店頭リサーチをしてくる	60分
4回 肉丸	コンセプトの作成(テーマをもとに自由にアイディアを出し合う)	(予習)店頭リサーチをしてくる	60分
5回 肉丸	コンセプトの作成(実現可能性や市場性、ターゲットのニーズに合ったもの話し合う)	(予習)店頭リサーチをしてくる	60分
6回 肉丸	コンセプトをわかりやすく伝えるためのスケッチ・モデルを作成（グループ面談）	(予習)スケッチ案を進めてくる	60分
7回 肉丸	コンセプトをわかりやすく伝えるためのスケッチ・モデルを作成（グループ面談）	(予習)モデル作成を進めてくる	60分
8回 肉丸	コンセプトをわかりやすく伝えるためのスケッチ・モデルを作成（グループ面談）	(復習)時間内に終わらなかったモデルを作成する	60分
9回 肉丸	プレゼンテーションの準備	(予習)プレゼンテーション案を考えてくる	60分
10回 肉丸	プレゼンテーションの準備	(予習)プレゼンテーションの作成	60分
11回 肉丸	プレゼンテーションとフィードバックを行う	(予習)自由課題のテーマ・コンセプトを進めてくる	60分
12回 肉丸	自由課題 ポートフォリオの作成	(予習)自由課題のテーマ・コンセプトを進めてくる	60分
13回 肉丸	自由課題 ポートフォリオの作成	(予習)自由課題のテーマ・コンセプトを進めてくる	60分
14回 肉丸	自由課題 ポートフォリオの作成	(予習)自由課題のテーマ・コンセプトを進めてくる	60分
15回 肉丸	プレゼンテーションとフィードバックを行う ポートフォリオの提出	(復習)作品を振り返る	60分

アクセサリーデザイン

土方 祥典

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 2年 後期 必修 (1単位 演習)

■授業の方針・概要

本授業では、ロストワックス製法を用いて、オリジナルデザインのアクセサリー制作、発表までを行う。授業はジュエリーメーカーで行われる製品開発に近い形で行い、デザイン、立体造形、製品開発の視点を学習する。シルバーアクセサリーの加工、研磨から金属素材への理解を深め、ワックス制作では直感敵に立体造形を学びながらモノづくりの魅力を探求することで、アクセサリー制作についての知識と技術を習得する。

■到達目標（学修成果）

「ふわっとした」「すっきりした」など造形物を表現する上でよく使われる抽象的表現を、実際に手を動かしながら考え、学ぶことで、動画などでは得られない、ロストワックス製法によるアクセサリー制作の“知識”“技術”“感覚”を身に着けることが出来る。また、製品開発の中で実際の製品がどう出来上がってくるのか、製品の意図を読み取る力を学ぶ。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッションプロダクトデザインコースの必修科目で卒業要件単位となる。ディプロマポリシーについては、専門教育課程の科目で服飾造形の基礎力を基に専門職として広く社会に受け入れられる人材の育成を目標とする科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

作品発表及びプレゼンテーションに対して、講評という形でフィードバックを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

授業資料を作成する。

■参考文献

授業時に適宜指示する。

■オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせいたします。

■備考

成績表について 提出課題、プレゼンテーション、授業姿勢(欠席、遅行を含む)を重要視する。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 土方	ガイダンス 1.WAXの特徴と作業工程説明 2.デザイン面談	予習：デザイン案を描いてくる。	60分
2回 土方	実物制作a WAXでの原型制作(ペンダントヘッド) ○切り出し→荒削り(大まかなフォルムを作る)	予習：WAX加工の資料を確認する。	30分
3回 土方	実物制作a WAXでの原型制作(ペンダントヘッド) ○荒削り→中削り(細かいディテールを作る)	復習：前回までの振り返りと、この先の工程を確認する。	30分
4回 土方	実物制作a WAXでの原型制作(ペンダントヘッド) ○中削り→仕上げ(表面を滑らかにする)	予習：金属加工の資料を確認する。	30分
5回 土方	実物制作a シルバー磨き工程(ペンダントヘッド) ○鑄造されたペンダントヘッドを磨く	予習：リングデザイン案を描いてくる。	60分
6回 土方	デザイン面談 ○リングデザイン画作成、リングデザインを決める。	予習：ペンダントヘッドのWAX加工を振り返る。	30分
7回 土方	実物制作b WAXでの原型制作(リング) ○粗削り(大まかなフォルムを作る)	復習：前回までの振り返りと、この先の工程を確認する。	30分
8回 土方	実物制作b WAXでの原型制作(リング) ○粗削り(大まかなフォルムを作る)	復習：前回までの振り返りと、この先の工程を確認する。	30分
9回 土方	実物制作b WAXでの原型制作(リング) ○中削り(細かいディテールを作る)	復習：前回までの振り返りと、この先の工程を確認する。	30分
10回 土方	実物制作b WAXでの原型制作(リング) ○中削り(細かいディテールを作る)	復習：前回までの振り返りと、この先の工程を確認する。	30分
11回 土方	実物制作b WAXでの原型制作(リング) ○仕上げ(表面を滑らかにする)	予習：ペンダントヘッドの金属加工を振り返る。	30分
12回 土方	実物制作b シルバー加工工程(リング) ○サイズ調整→各自必要な細工を施す。	復習：前回までの振り返りと、この先の工程を確認する。	30分
13回 土方	実物制作b シルバー磨き工程(リング) ○リングを磨く	復習：前回までの振り返りと、この先の工程を確認する。	30分
14回 土方	実物制作b シルバー磨き工程(リング) ○リングを磨く	予習：プレゼンテーションの準備を行う。	90分
15回 土方	プレゼンテーション(フィードバック) 課題作品における講評を行う。	復習：プレゼンテーションの振り返りを行う。	30分

デジタルデザインワーク

金井 学

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 2年 前期 必修 (1単位 実験実習)

■授業の方針・概要

一般にコンピュータのソフトウェアは、対象データを特定の論理に従って処理する機能を提供する「道具」として設計されています。それゆえ、この道具の使い方を学ぶことは、同時に道具や機能がそのように設計されるに至った「ものごとの考え方」を学ぶことでもあるはずです。この授業では、グラフィカルなデザイン表現（画像の描画や編集）を行うための一般的なソフトウェアであるAdobe Illustrator、Photoshop及びLightroomの使い方を学ぶことを通して、それらのソフトウェアが立脚している「デザイン」という行為を支える「ものごとの考え方」を理解し、自ら実践していくための力を身につけることを目指します。

■到達目標（学修成果）

- (1) Adobe Illustrator、Photoshop、Lightroomの基本的な操作方法を習得すること。
- (2) 上記のソフトウェアの操作方法を学ぶことを通して、「デザイン」という行為の意味と論理を理解すること。
- (3) (2)の理解に基づき、身の回りのデザインされたもの（レイアウトされたもの/設計されたもの）の意味や意図を読み取れるようになると同時に、自ら意味や意図を視覚的にデザインする（レイアウトする/設計する）ための基礎的な力を身につけること。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

■備考

履修者の人数、興味関心、理解度によって授業計画を変更する場合があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 金井	前記ガイダンス（前記授業内容の確認、自己紹介など）	復習：授業内容の確認	30分
2回 金井	メディア・リテラシー1（Webツールの使い方について）	復習：各種サービスの使い方、自分に合ったツールを見つける	60分
3回 金井	Adobe IllustratorとPhotoshopの基本概念	復習：各ソフトウェアの考え方の復習	60分
4回 金井	写真の基礎知識	復習：写真とカメラの技術と仕組みの復習	60分
5回 金井	写真の基礎演習1	復習：RAW現像、レタッチの操作方法の復習	60分
6回 金井	写真の基礎演習2	復習：レイヤーマスクと画像の合成方法の復習	60分
7回 金井	素材を加工する4：レイアウトの基礎知識	復習：Illustratorの基本操作	60分
8回 金井	素材を加工する5：文字と文字組み	復習：Illustratorの基本操作	60分
9回 金井	レイアウト演習1	復習：Illustratorの基本操作	60分
10回 金井	レイアウト演習2	復習：Illustratorの基本操作	60分
11回 金井	前期末制作1〔課題発表/制作〕	復習：課題に対して各自テーマを考える/エスキス（下図）を作る	60分
12回 金井	前期末制作2〔制作〕	復習：素材を作る/素材を集める	120分
13回 金井	前期末制作3〔制作〕	復習：制作を進める	120分
14回 金井	前期末制作4〔制作〕	復習：制作を進める/作品提出の準備	120分
15回 金井	前期末課題提出・発表と講評	予習：発表の準備	30分

デジタルデザインワーク

金井 学

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 2年 後期 必修 (1単位 実験実習)

■授業の方針・概要

この授業では、前期の「デジタルデザインワーク」で学習した内容の発展として、Adobe Illustratorの発展的/応用的な操作方法（図形描画）を学びます。その上で、Adobe InDesignの操作方法を学ぶことを通してエディトリアル・デザインの考え方を理解し、実践するための力を身につけることを目指します。

■到達目標（学修成果）

- (1) Adobe Illustratorの応用的な操作方法、及びInDesignの基本的な操作方法を習得すること。
- (2) 上記のソフトウェアの操作方法を学ぶことを通して、エディトリアル・デザインの意味と論理を理解すること。
- (3) (2)の理解に基づき、身の回りのデザインされたもの（レイアウトされたもの/設計されたもの）の意味や意図を読み取れるようになると同時に、自ら意味や意図を視覚的にデザインする（レイアウトする/設計する）ための基礎的な力を身につけること

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

■備考

履修者の人数、興味関心、理解度によって授業計画を変更する場合があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 金井	後期ガイダンス（前期の復習）	復習：前期の授業何用の復習/後期授業内容の確認	30分
2回 金井	連続模様/パターンをつくる	復習：反復するパターンの制作/Illustratorの応用	60分
3回 金井	ロゴをつくる1	復習：ロゴ制作の考え方/Illustratorの応用	60分
4回 金井	ロゴをつくる2	復習：ロゴ制作の考え方/Illustratorの応用	60分
5回 金井	ロゴをつくる3	復習：ロゴ制作の考え方/Illustratorの応用	60分
6回 金井	ZINEを作る1：ZINEとは？（何のZINEを作るか考える）	復習：ZINEのテーマを考える	120分
7回 金井	ZINEを作る2：どんな素材が必要か？（ページの計画）	復習：台割表をつくる	120分
8回 金井	ZINEを作る3：素材をつくる（原稿・画像の制作と加工）	復習：原稿を書く・写真を撮る・イラストを描く	120分
9回 金井	ZINEを作る4：ルールをつくる（フォーマットをつくる）	復習：ページを設計する	120分
10回 金井	ZINEを作る5：レイアウトする	復習：InDesign上で素材を配置する	120分
11回 金井	ZINEを作る6：各自制作	復習：制作を進める	120分
12回 金井	ZINEを作る7：各自制作	復習：制作を進める	120分
13回 金井	ZINEを作る8：各自制作	復習：制作を進める	120分
14回 金井	ZINEを作る9：印刷と製本	復習：印刷して製本する	120分
15回 金井	前期末課題提出・発表と講評	予習：発表の準備	30分

プロダクトデザイン演習

大塚 武司

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 2年 後期 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

ファッションプロダクトデザインコース専門課程につながるデザイン基礎科目です。3年前期のプロダクトデザイン演習と通じて、平面/立体デザイン作品の制作演習を行います。この授業では企業でのプロダクトデザイン、商品企画、店頭展示企画、自身の作品制作・発表などの業務実績のある担当教員の経験を活かし、デザインの方法（発想・展開・定着・表現・伝達）を演習を通じて習得します。またアイデア発想の訓練をワークショップ形式で行います。

■到達目標（学修成果）

学生はこの科目を履修し目標を達成すれば、発想の柔軟性、オリジナル性高いデザイン力を身に着けることができ、プレゼンテーション力、コミュニケーション力も鍛えられ、プロダクトデザインにおいて必要な知識が身につきます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目です。プロダクトデザインコースの必修科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題ごとに作品を採点・講評会を実施。

講評会にて各自のコンセプトを発表してもらい学生間でディスカッション、講師のコメントをフィードバックします。

授業時間外の質問は、Eメールにて受け付けます。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

必要に応じて資料を配布

■参考文献

適宜紹介

■オフィスアワー・研究室

授業前後は3 4 1 3または講師控室。それ以外は教務課まで連絡してください。

■備考

制作に必要な画材、制作用具、筆記用具などはガイダンスにて指示しますので、各自で準備してください。

進捗により課題内容を変更する場合があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 大塚	授業ガイダンス/デザインの基礎的考察と著作権の解説。小課題の実施。	予習：本授業内容の確認 復習：著作に関する注意事項の復習	30分
2回 大塚	デザイン基礎プログラム オリジナルフォントとDVDジャケットデザイン演習/提出	予習：課題内容の確認 復習：オリジナルアイデアについての再考	30分
3回 大塚	デザイン基礎プログラム 缶飲料のラベルデザイン演習/提出	予習：課題内容の確認 復習：構造上のデザイン特性の再考	30分
4回 大塚	デザイン基礎プログラム 立体カードの制作/提出	予習：課題内容の確認 復習：立体構造について再考	30分
5回 大塚	デザイン基礎プログラム講評 提出作品のプレゼンテーション。 ディスカッションと教員の講評を行う。	予習：プレゼンテーションの準備 復習：講評内容についての再考	30分
6回 大塚	発想力強化プログラム 個人で行う発想法の学習と演習。	予習：課題内容の確認 復習：発想法についての再考	30分
7回 大塚	発想力強化プログラム グループで行う発想法の学習と演習。	予習：課題内容の確認 復習：発想法についての再考	30分
8回 大塚	デザイン基礎プログラム ケント紙による多面体立体造形の制作。	予習：課題内容の確認 復習：多面体構造の再考	30分
9回 大塚	デザイン基礎プログラム 多面体立体造形のプレゼンテーションとディスカッション。教員による講評。	予習：プレゼンテーションの準備 復習：講評内容についての再考	30分
10回 大塚	デザイン実践プログラム - 包装紙をイメージしたコラージュ作品の制作。	予習：課題内容の確認 復習：制作作品についての再考	30分
11回 大塚	デザイン実践プログラム - コラージュ作品を包装紙に見立て梱包の検証・プレゼンテーション。教員による講評。	予習：プレゼンテーションの準備 復習：講評内容についての再考	30分
12回 大塚	デザイン実践プログラム - ランプシェードの制作。アイデア検討。	予習：課題内容の確認 復習：ランプシェードについての再考	30分
13回 大塚	デザイン実践プログラム - ランプシェードの制作（ブラッシュアップ）。	予習：制作中のアイデアの見直し 復習：制作作品の構造とデザインの確認	30分
14回 大塚	デザイン実践プログラム - 作品提出とディスカッション。および講評。	予習：制作中の作品のブラッシュアップ 復習：提出作品について再考	30分
15回 大塚	プロダクトデザイン演習 総評まとめ。 小課題と解説	復習：講評内容の復習と、今期提出作品の振り返り。 今後の活かし方の考察を行う。	30分

3DCADプロダクト

白木 ゆみ香

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 2年 前期 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

この授業では、立体物をデザイン（プロダクトデザイン）するにあたり必要不可欠な、3次元CADによる形状の作成やモデリング、その表現法を学びます。まずは3D空間でのオブジェクトの位置関係を理解するところからはじめ、三面図作成とその立体化を研究します。3Dデータをモデリングすることにより、360度どの角度からでも形状を確認でき、素材感や背景等もよりリアルに表現することが出来ます。

使用ソフトはRhinceros, Key Shot ,Photoshop, Power Point 等。

■到達目標（学修成果）

3DCADによる基本操作の理解と、デザインしたものを図面化し立体の造形物を作成、それをモデリングができるまでの力を身につけ、構想力を強化します。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、ファッションプロダクトコースの必修科目で、卒業要件の単位となります。ファッションやプロダクト業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

作品課題の提出は、デスクトップ上の配布提出BOXへデータでの提出。

期末試験はなし。プレゼンテーションにて発表の際に講評あり。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

必要に応じてプリント配布。

■参考文献

Rhino6入門 是枝靖久著 ラトルズ発行。

Rhinceros 逆引きコマンドリファレンス 中島淳雄監修 株式会社アブリクラフト著 ラトルズ発行

■オフィスアワー・研究室

【前期】木 15:30～17:00【後期】木 15:30～17:00

【研究室】デザインCG研究室（研究棟1F）

■備考

進度により、日程および内容の変更あり。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 白木	3次元CADとは？どんなものが作れるか？ <Rhinceros>基本的な画面操作。	予習：シラバスを読む。	30分
2回 白木	座標入力による三面図作成と、その立体化。オブジェクトの選択と移動。	復習：ノートの整理。	30分
3回 白木	曲線、コーナー指定、ソリッド、平面曲線を押し出し、エッジをフィレット。	復習：ノートの整理。	30分
4回 白木	制御点指定、スナップ、回転サーフェス等。	復習：ノートの整理。	30分
5回 白木	ブール演算、正確な距離の移動、インポート、グループ化。	復習：ノートの整理。	30分
6回 白木	ロフトサーフェスの作成、曲線を使ったサーフェスのトリム。	復習：ノートの整理。	30分
7回 白木	パイプ形状、平面曲線によるサーフェス、1レールスイープ等。	復習：ノートの整理。	30分
8回 白木	ミラー、結合、サーフェスのオフセット、ブレンド、2レールスイープ	復習：ノートの整理。	30分
9回 白木	シンプルな椅子のモデリング。	復習：ノートの整理。	30分
10回 白木	デザイン作成～三面図作成～3DCADによるモデリングまでの一連の動作を実践して作品を製作	予習：デザイン案のラフスケッチ用意。	60分
11回 白木	デザイン作成～三面図作成～3DCADによるモデリングまでの一連の動作を実践して作品を製作	予習：デザイン案のラフ図面用意。	60分
12回 白木	デザイン作成～三面図作成～3DCADによるモデリングまでの一連の動作を実践して作品を製作	予習：はめ込み用素材画像の準備	60分
13回 白木	デザインした立体物をKey Shotにてモデリング。プレゼン資料の作成。	予習：素材画像、プレゼンテーション資料の準備。	60分
14回 白木	デザインした立体物をKey Shotにてモデリング。プレゼン資料の作成。	予習：素材画像、プレゼンテーション資料の準備。	60分
15回 白木	作品のプレゼンテーション。講評。ポートフォリオの提出。	予習：プレゼン準備	60分

消費者行動論

中山 英士

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 2年 後期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

消費者行動に関わる基本的な概念を紹介するとともに、消費者行動の諸理論をマーケティング活動へと展開させる実践方法について企業にコンサルティングを行っている経営コンサルタントの実務家教員から示し、その手法を得ることを方針とします。

■到達目標（学修成果）

消費者行動の基本的な概念を把握できる（消費者ニーズ・買い物行動・購買意思決定等）
消費者行動に基づくマーケティング活動への展開方法を把握できる

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目の単位となります。ファッションビジネス系学生の共通必修で、ファッションビジネスを理解し、応用する理論の基礎力向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内で個人ワークとして試験を実施し、次の授業時に講評する

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

特になし

■参考文献

講義資料にて提示

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：初回授業時に呈示
連絡研究室：ファッションビジネス・流通イノベーション実習室 3207

■備考

特になし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 中山	【イントロダクション】消費者行動とは何か	予習：シラバスを読み講義の全体構成を把握	30分
2回 中山	消費者ニーズ	予習：アパレル業界における消費者ニーズの変化についての考察	30分
3回 中山	買い物行動	予習：直近の買い物では、自分自身の何の欲求を満たしたかを整理	30分
4回 中山	購買の意思決定メカニズム	予習：直近の買い物について、購買に至った経緯を振り返りプロセスを整理	30分
5回 中山	消費者行動を取り巻く環境の分析	1回～4回の復習：消費者行動プロセスの理解	30分
6回 中山	消費者行動の分析	復習：消費者行動を定量的に調査・分析する具体的な手法について	30分
7回 中山	消費者行動の分析	復習：消費者行動を定性的に調査・分析する具体的な手法について	30分
8回 中山	パーパス・ブランディング	復習：パーパスの創り方について	30分
9回 中山	STP（顧客戦略）	復習：有効なセグメンテーション・ターゲティング・ポジショニングについて	30分
10回 中山	ブランドとコミュニケーション	5回～9回の復習：各種フレームワークの理解	30分
11回 中山	ブランドとコミュニケーション	予習：自分自身の興味関心がある広告とその興味関心理由を自己分析し整理	30分
12回 中山	デジタルマーケティング	復習：消費者行動に関わるデジタルデータの種類について	30分
13回 中山	店頭マーケティング	復習：マス広告と店頭販促の繋がりについて	30分
14回 中山	アクティブ・ラーニング：マーケティング方針の作成	復習：授業内のワークで作成したマーケティング方針の精緻化	30分
15回 中山	全体まとめ	10回～14回の復習：消費者行動全般の理解	30分

ビジネスプレゼンテーション技法

水越 綾

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース

2年

前期

必修

(1単位 演習)

■授業の方針・概要

企画、MD（製品・商品計画）デザイン等に取り組んでいく上で、ビジュアル・コミュニケーション・デザイン（Visual communication design）or ビジュアル・デザイン（Visual design）は重要です。

本授業では企画立案からプレゼンテーションまでの取り組みを通し、アプリケーションスキルの向上を主軸としながらも、創造力・計画性・伝える力・批判的思考力を育成する科目になります。

■到達目標（学修成果）

1年次の情報演習 の基礎力を定着させ、更に表現手法のバリエーションを広げる。ノイメージを適切に可視化する為の手段としてアプリケーションを活用することができる。ノこれまでに得た知見を活かすだけでなく、更に知識や経験・技術力を深めながら課題に取り組むことができる。ノ批判的思考力を働かせながら課題制作に取り組むことができる。ノ客観的な視点を維持し、適切に伝えることができる資料作成に努める事ができる。ノ著作物の権利を尊重し、適切に扱えるよう努めることができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、ビジネスコースの必修科目であり、また卒業要件科目の科目である。ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

フィードバックは授業内口頭（個別・全体）・学内システム（キャンパスマジック）を使用して行なう。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

参考文献：伝わるデザインの基本（技術評論社） なるほどデザイン（Mdn）、1年次の情報演習 で使用したテキスト（Illustrator&Photoshop操作とデザインの教科書）を持参する事を勧める。

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーについては、第1回目の授業で指示する。研究室：研究棟1階6012B

■備考

データ保存用のUSBを用意しておくとう良い。授業内容は進行具合により、前後する可能性がある。その場合は事前にアナウンスする。連絡事項はmanabaを通じておこなうので、manabaを良く確認しておくように。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 水越	オリエンテーション、Photoshop基本操作の確認	予習：1年次の学びの確認ノ生成AIをとりまく課題。Fireflyのユーザーガイドライン確認	90分
2回 水越	Photoshop基本操作の確認と応用ノ生成AIをとりまく問題、課題、権利問題ノ企画書提出・提出物へのフィードバック	課題：企画書案のブラッシュアップ、ブランドリサーチノ提出企画の学生間チェック	90分
3回 水越	Photoshopを使用した課題（企画書の為の素材作成：ブランドイメージカラー）ノ企画書提出・提出物へのFB	課題：素材収集、ターゲットインタビュー、企画案の見直し・再構築、課題を進めておく	90分
4回 水越	Photoshopを使用した課題（企画書の為の素材作成、ブランドイメージカラー）ノ企画書提出：提出物へのFB	課題：素材収集、ターゲットインタビュー、企画案の見直し・再構築	90分
5回 水越	Photoshopを使用した課題（企画書の為の素材作成、ファッション画作成）ノデータスキャニングノ企画書へのFB	課題：ファッション画（線画）を描き、manabaに提出→内容確認の後、修正・再提出	90分
6回 水越	Photoshopを使用した課題（企画書の為の素材作成、ファッション画作成）ノ企画書提出・提出物へのFB	課題：ターゲットインタビュー、インタビューレポートの作成、企画案の見直し・再構築	90分
7回 水越	Illustrator基本操作の確認と応用 データスキャニングノ企画書提出・提出物へのFB	課題：ハンガーイラストを手描きで描き、manabaに提出→内容確認の後、修正・再提出	90分
8回 水越	Illustrator基本操作の確認と応用 Illustratorを使用した課題 ハンガーイラスト作成。	課題：ハンガーイラストを手描きで描き、manabaに提出→内容確認の後、修正・再提出	90分
9回 水越	Illustratorを使用した課題 ハンガーイラスト作成。ノ提出物へのFB	課題：ブランドコンセプトに基づいたロゴ案を考えておく。ラフ案作成→FB→修正・再提出	90分
10回 水越	Illustratorを使用した課題 ハンガーイラスト作成。ノ提出物へのFB	課題：ブランドコンセプトに基づいたロゴ案を考えておく。ラフ案提出→FB→修正・再提出	90分
11回 水越	Illustratorを使用した課題 ロゴ作成ノ提出物へのFB	課題：ロゴ案作成	90分
12回 水越	Illustratorを使用した課題 ロゴ作成ノ提出物へのFB	課題：課題制作	90分
13回 水越	『伝わる』プレゼンテーションについて プレゼンテーション用資料作成（PowerPoint）	予習：指定資料を事前に目をとめておく 課題：課題制作	90分
14回 水越	プレゼンテーション用資料作成（PowerPoint）ノ提出物へのFB	発表に向けた資料作成	90分
15回 水越	課題発表と振り返り（発表時にmanabaを通じて学生間相互評価をしてもらう。客観的に自分の作品を振り返り）	リフレクションシート作成	90分

企業会計入門

田中 恵美子

服飾学科 マネジメント・イノベーション

2年

前期

必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

就職活動を開始すると、それぞれの会社の目標、理念、経営方針などが、さまざまな言葉で語られていることに気づきます。自分の才能を十分に発揮できる会社はどこなのか迷ってしまうことも少なくありません。そこで本講義では、財務諸表を通じて企業の本来の姿を数字で読み解く手法を学び、言葉では語られないことのない企業の強みや弱みを分析します。まず使用されている数字が私たちにどのようなイメージや意味を与えるのかを確認し、次に企業会計のしくみ、財務諸表の構造を学習します。さらに演習を通じていっそうの理解を深め、最後にこれらの数字を比較・検討、分析できる力を養います。

■到達目標（学修成果）

- (1) 企業の成績表といえる財務諸表の基本構造が理解できるようになる。
- (2) 基本的な財務分析の手法が使用できるようになる。
- (3) 数値結果をもとに企業の収益性や安全性が理論的に分析できるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目はビジネス系の必修科目であり、モードテクノロジー系は専門選択科目です。いずれも卒業要件に必要な科目となります。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内、授業外（メールやポータルの活用）に、練習問題の解説、添削など適宜フィードバックを実施します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	10%

■教科書

授業資料プリントを作成配布します。

■参考文献

授業時に適宜指示します。

■オフィスアワー・研究室

水曜日9時～12:00

■備考

成績については、（授業の進行状況により実施を決定する）中間テスト 期末テスト 出席状況により評価します。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 田中	オリエンテーション、授業計画、授業の概要説明 身近な会計数字を知る	復習：身近に溢れる会計数字がどのような意図で使用されているかを確認	30分
2回 田中	損益計算書の構造	復習：基本的な損益計算書で構造を確認	30分
3回 田中	損益計算書の作成	復習：損益計算書のひな型を実際に作成	30分
4回 田中	損益計算書の作成	復習：損益計算書の全体構造と5段階の利益の意味を理解	60分
5回 田中	貸借対照表の構造	復習：基本的な貸借対照表の構造を確認	30分
6回 田中	貸借対照表の作成	復習：貸借対照表の各項目の細分類を理解し、実際に作成	30分
7回 田中	貸借対照表の作成	復習：貸借対照表と損益計算書のつながりを総合的に理解し、両計算書類を作成	60分
8回 田中	収益性の分析（分析指標と分解）	復習：各分析指標の意味と計算結果を確認・分析内容の理解	30分
9回 田中	収益性の分析（分析指標と分解）	復習：各分析指標の意味と計算結果を確認・分析内容の理解	30分
10回 田中	収益性の分析（分析指標と分解）	復習：各分析指標の意味と計算結果を確認・分析内容の理解	30分
11回 田中	安全性の分析（分析指標）	復習：各分析指標の意味と計算結果を確認・分析内容の理解	30分
12回 田中	安全性の分析（分析指標）	復習：各分析指標の意味と計算結果を確認・分析内容の理解	30分
13回 田中	総合比較分析（演習）	復習：財務諸表の全体構造を理解し、収益性、安全性の総合分析を整理・確認	60分
14回 田中	総合比較分析（演習）	復習：財務諸表の全体構造を理解し、収益性、安全性の総合分析を整理・確認	60分
15回 田中	総まとめと演習問題	復習：演習問題を振り返る	30分

グローバルマネジメント特論

山田 晶子

服飾学科 マネジメント・イノベーション

2年

後期

必修

(2単位 講義)

■授業の方針・概要

本授業では社会潮流をベースとした、グローバル時代におけるFBの課題を様々な観点から捉え、今後のファッション産業に求められる企業経営の方向性を、FBマネジメント視点で探究していきます。グローバル市場と文化、ファッションの関係性を学び、商品のみならず、その理念やブランドエクイティとしての成立を事例により研究。担当講師の実務経験や、業界リサーチャーの視点から、時代性に根差した学習を実施、グローバル市場への考え方や戦略に関して入門的理解を深めます。実感値の醸成を主眼とした、アクティブラーニングによる授業も実施してまいります。

■到達目標（学修成果）

本授業を履修し、学修の目標を達成できた結果、社会潮流とファッションの関係性をベースに、入門編としての21世紀型グローバル市場の理解、今後のファッションビジネス・産業界の方向性の捉え方、起業家としての考え方が修得できます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目であり、ディプロマポリシーに即したビジネス系必修専門科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

プレゼンテーション（演習発表）とレポート実施（期中・期末）に関して、第6回、第15回にて確認と講評を行ないます。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

指定教科書は無し。毎回、学習資料を配布します。

■参考文献

授業時に、適宜紹介します。

■オフィスアワー・研究室

授業終了後・開講教室もしくはFBマネジメントコース研究室（第3校舎4階）

■備考

毎回、配布する学習資料を持参してください。

授業の進行状況により、スケジュール及び授業内容が変更される場合があります。

出席を重視します。毎授業の積み重ねが学修成果に繋がります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 山田	イントロダクション ファッションビジネスにおけるグローバルマネジメントとは	予習：シラバスの確認 復習：配布資料の振り返り	30分
2回 山田	グローバル市場のブランディング ＜事例研究＞老舗ブランド～グループディスカッション	授業内容：老舗「虎屋/MIKIMOTO」を事例に美と文化の関係性～ファッションを探究	30分
3回 山田	グローバル市場のブランディング ＜事例研究＞日本発ブランド～グループディスカッション	授業内容：日本発グローバルブランドからその支持される要因を研究	30分
4回 山田	グローバル市場のブランディング ＜事例研究＞社会潮流とブランドに求められるもの	復習：日本発グローバルファッション経営理念とビジネスモデル	30分
5回 山田	実習「レポート作成」演習へのベースを整理確認するため、テーマに沿って着眼点の整理	予習：演習へのベースとしての内容整理確認	50分
6回 山田	社会潮流とグローバルマネジメント 第5回のフィードバック、持続可能と企業のミッション背景研究	予習：社会潮流における持続可能と企業のミッションを確認	30分
7回 山田	社会潮流とグローバルマネジメント 生活・ファッションへのキーワード～国内外の事例研究を共有	予習：直近のグローバルムーブメント収集	30分
8回 山田	グローバルマネジメント 演習 グループワーク これからのFB（社会潮流共有～ファッションビジネスの芽）	予習：ビジネスへの骨格づくり 復習：自グループの意見確認	40分
9回 山田	グローバルマネジメント 演習 グループワーク これからのFB（ファッションビジネス具現化への5W2H）	予習：テーマへの5W2H考案 復習：自グループのテーマ深掘り	40分
10回 山田	グローバルマネジメント 演習 グループワーク これからのFB（ファッションビジネス具現化への深掘り）	予習：SDGsと企業のミッション	40分
11回 山田	グローバルマネジメント 演習 グループワーク これからのFB（SDGs、企業のミッション）	予習：全体観およびリアリティあるファッションビジネス創造	40分
12回 山田	グローバルマネジメント 演習 グループワーク これからのFB（グローバル展開への視点）	予習：プレゼンテーション準備	50分
13回 山田	グローバルマネジメント 発表 プレゼンテーション 各班発表（生活者視点で他グループ内容レポート作成）	予習：プレゼンテーション準備 復習：他グループの内容確認	50分
14回 山田	グローバルマネジメント 発表 プレゼンテーション 各班発表（生活者視点で他グループ内容レポート作成）	予習：プレゼンテーション準備 復習：他グループの内容確認	50分
15回 山田	グローバルマネジメント 発表 プレゼンテーション 各班発表、プレゼンテーション内容のフィードバック	復習：講評から全体観とポイントの整理 期末レポート作成・提出	40分

ファッションエディトリアル

千代崎 寛

服飾学科 マネジメント・イノベーション

2年

後期

必修

(2単位 演習)

■授業の方針・概要

ファッションビジネスの場において情報を伝達するための方法、考え方を「エディトリアル（編集）デザイン」の視点から学んでいく。イメージを得るための撮影から編集を経て最終プロセスまでを段階ごとに確認・検証しながら進めていく。ルックブックやカタログなどの制作を編集デザインのワークフローから学び、他のメディアへの応用を通じてコミュニケーションとメッセージ表現のアプローチと方法を探る。編集段階での知的財産権（引用・クレジットなど）の考え方をグラフィックデザインの技術（レイアウト）から実践していく。

■到達目標（学修成果）

1. ビジュアルイメージを具体化するための基礎的な「表現能力」を身に付けることが可能となる
2. 制作とプレゼンテーションを通して「つたえる・つたわる」関係の重要性について考察や理解ができる
3. デジタル制作環境・ネットワーク環境の基礎的な理解と活用する「術」を身に付けることが可能となる

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門必修科目で卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー（学位授与の方針）については「ファッションエディトリアル」はファッションビジネスの企画・提案や流通の場において活躍できる専門力向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

グループごとのディスカッションとノート、プレゼンテーション時の講評などでフィードバックを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

授業の進行にあわせて、プリントなどで適宜配布する。

■オフィスアワー・研究室

第1回目の授業で指示する。研究室：先端ファッション表現研究室（目黒校舎研究棟3F）

■備考

表出されるイメージは過去にみた「もの・こと」からのみ産み出される。イメージをOutputし続けるためには常にInputし続ける必要がある。その円環する環境・システムを自分の中に構築して欲しい。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 千代崎	オリエンテーション・授業概説と導入 エディトリアルデザインについて～（メディアリテラシー）	復習：カリキュラム表・プリントの内容を熟読しておく。	30分
2回 千代崎	エディトリアルデザイン（編集デザイン） DTP演習 「DTPのワークフロー」レイアウトと出力	予習：リサーチや進行に必要なリソースの収集・準備など	60分
3回 千代崎	DTP演習 データ管理における配慮について レイヤー、チャンネル、パスのテクニック	予習：画像撮影のための準備、スタイリングとロケーションプランの準備	90分
4回 千代崎	【テーマ1】ルックブック制作 撮影編 （ロケ屋内・外） 撮影現場における配慮について	予習：撮影後のコンタクトシートによる選定とスタジオ撮影プランの準備	60分
5回 千代崎	【テーマ1】ルックブック制作 編集編 編集における配慮について	予習：撮影後のコンタクトシートによる選定とスタジオ撮影プランの準備	30分
6回 千代崎	【テーマ1】ルックブック制作 撮影編 （ロケ屋内・外） プライバシー・肖像権について	予習：レイアウト資料の作成と準備	60分
7回 千代崎	【テーマ1】ルックブック制作 編集編 知的財産権の考え方・著作権の表記について	予習：中間プレゼンテーションをもとにプランを練り上げる	60分
8回 千代崎	【テーマ1】ルックブック制作 撮影編 （ロケ屋内・外） 中間プレゼンテーション	予習：中間プレゼンテーションをもとにプランを練り上げる	30分
9回 千代崎	【テーマ1】ルックブック制作 編集編 【テーマ2】制作	予習：プランに沿った制作と確認・検証	30分
10回 千代崎	【テーマ1】ルックブック制作 編集編	予習：プランに沿った制作と確認・検証	30分
11回 千代崎	【テーマ1】ルックブック制作 撮影編（予備） 完成データ出力と製本	予習：様々なメディア表現のリサーチ	60分
12回 千代崎	【テーマ1】ルックブック制作 メディア表現・デザインのワークフロー	予習：プランに沿ったメディア表現の制作と確認・検証	60分
13回 千代崎	【テーマ1】ルックブック制作 【テーマ2】制作	予習：テーマ1・2 プレゼンテーションのための準備	30分
14回 千代崎	【テーマ1】ルックブック制作 表現・公開・出版 【テーマ2】制作	予習：制作ノート提出のための準備	120分
15回 千代崎	まとめ・展開 テーマ1・2 プレゼンテーションと講評	復習：まとめと考察	60分

ファッションマーケティング論

岩佐 彰則

服飾学科 マネジメント・イノベーション

2年

前期

必修

(2単位 講義)

■授業の方針・概要

モノが売れないといわれる現代において、マーケティングの重要性は一層増しています。アパレル業界において、大小様々な企業で事業を立ち上げ、経営に携わってきた実務家の視点で、ファッションビジネスにおけるマーケティングを論理的、かつ実践的に学んでいきます

■到達目標（学修成果）

マーケティングの面白さを知ってもらい、常に経営視点でのマーケティング思考を身につけることで、変化の激しいファッション業界をリードし、アントレプレナーとして、新たな市場を創造できるようになることを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目です。ファッションビジネス系コースのディプロマポリシーに即した必修科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

講義毎にレポートを提出していただきます。フィードバックはmanabaで個別に回答させていただきます。講義は毎週、グループ討議でディスカッションしながら、理解を深めていきます。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

石井淳蔵、他(2020)『1からのマーケティング<第4版>』碩学舎

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

講師控室 詳細は初回授業に連絡します

■備考

日程及び内容は授業の進行具合に合わせて変更する事もあります

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 岩佐	イントロダクション：マーケティングとは？	課題【レポート提出】	30分
2回 岩佐	マーケティングのマネジメント__セグメント・ターゲティング	課題【レポート提出】	30分
3回 岩佐	マーケティングのマネジメント__ポジショニング	課題【レポート提出】	30分
4回 岩佐	マーケティングのマネジメント__製品	課題【レポート提出】	30分
5回 岩佐	マーケティングのマネジメント__価格	課題【レポート提出】	30分
6回 岩佐	マーケティングのマネジメント__広告	課題【レポート提出】	30分
7回 岩佐	マーケティングのマネジメント__チャネル	課題【レポート提出】	30分
8回 岩佐	マーケティングのマネジメント__サプライチェーン、営業	課題【レポート提出】	30分
9回 岩佐	関係のマネジメント__顧客関係	課題【レポート提出】	30分
10回 岩佐	関係のマネジメント__ビジネスモデル	課題【レポート提出】	30分
11回 岩佐	関係のマネジメント__顧客理解	課題【レポート提出】	30分
12回 岩佐	関係のマネジメント__社会責任	課題【レポート提出】	30分
13回 岩佐	関係のマネジメント__ブランド組織	課題【レポート提出】	30分
14回 岩佐	関係のマネジメント__社会責任	課題【レポート提出】	30分
15回 岩佐	まとめ	なし	30分

プレゼミ（マネジメント）

鈴木 康久、長瀬 泰典、大極 勝

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 2年 通年(前期) 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

本科目は3年次以降における専門性の高い科目受講に向けた基盤作りとしてファッションビジネスやマーチャンダイジングの基礎を修得出来ます。前期フェーズでは生活者の消費行動からマーチャンダイジングに至る過程を中心に学習していきます。授業内でグループによるディスカッションやディベート等のアクティブラーニングを活用した理解浸透を図っていきます。本科目運営は長年にわたる実務経験者である3人の教員のそれぞれの専門分野に即して、ファッションビジネスを川上～川下までの広域な学習領域を対象とした授業運営となります。（長瀬・生産関連、大極・アパレル企画、鈴木・リテール・生活者）

■到達目標（学修成果）

ファッション産業を取り巻く広範な分野について企業・団体・職種に対して体系的に知識習得が出来ます。
業界実企業訪問や実務経験者のゲスト講師の来校等、臨場感があり、かつ実践的な業界理解を得られます。
アクティブラーニングを通じて、自主性、コミュニケーション能力、強調性、ディベート力の醸成が図れます。
上位学年で活用されるマーチャンダイジング関連の基礎知識の習得とプレゼン資料作りの一端が早期に習得できます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目はファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目であり、また卒業要件科目の単位となります。
この科目は総合的な学習基礎能力の醸成を目指し、加えてICT基礎学習やキャリアプラン学習を含めて実施します。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題に関しては、次回授業時の始めにフィードバックを行います。
課題に対してグループワーク、ディベート等のアクティブラーニングを行い、グループ及び個人による発表があります。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

関係資料を毎回の授業時に配布

■参考文献

尾原蓉子著グローバリゼーションとデジタル革命から読み解くFashion Business 創造する未来
その他、授業進行に合わせて関連する参考文献を紹介します

■オフィスアワー・研究室

FBマネジメント教室〔3402教室〕にて授業前30分前待機

■備考

- ・FB関連の実企業の実務者を通じ、その業界、企業ならではの視点で話をいただく予定です。
- ・毎回、配布する学習資料を持参してください。
- ・本科目運営は3人の講師によるオムニバス形式のカリキュラムとなります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 鈴木	全体ガイダンス、グループワーク キャリアプラン&自発的学習プラン策定	予習：シラバスの確認 復習：授業課題と配布資料振り返り	30分
2回 鈴木	ファッションビジネス業界理解 川上～川下、職種理解、グループワーク	予習：職種調査 復習：配布プリントの振り返り	30分
3回 鈴木	ICTの基礎学習 Googleプラットフォームのビジネスへの活用	予習：Googleアカウント確認 復習：フォーム作成と学習内容振り返り	40分
4回 鈴木	ICTの基礎学習 ファッションビジネスとICT活用（プレゼンテーションスキル）	予習：前回提示の課題の取組み 復習：配布プリント振り返り	40分
5回 鈴木	生活者の消費行動変化 コロナ禍の生活者の消費行動変化、インサイト グループワーク、ディベート、プレゼン	予習：コロナ禍における各自の消費行動変化を抽出 復習：グループ発表の振り返り	30分
6回 長瀬	ECプラットフォームビジネスの仕組み （ZOZO 事業部長）	予習：シラバスの6～15回の確認 復習：仕組みを理解しプラットフォームの違いを検証	40分
7回 長瀬	テレビショッピングビジネスの流れ （QVCビジネス関係者）	予習：業界関連企業と放映内容の確認 復習：仕組みを理解し、課題や対策を検証	60分
8回 長瀬	ファンマーケティングとグッズ販売の可能性 （ノベルティー作成会社）	予習：ファンマーケティングを考える 復習：グッズ販売の可能性をシュミレーション	60分
9回 長瀬	無人レジ・デジタルマーケティング技術の進化 （エブリデイデニソン（RFID）マネージャー）	予習：身近な無人レジの確認 復習：デジタル技術の進化と顧客目線の利便性を再考する	45分
10回 長瀬	海外貿易（輸出入）の仕組みと業界との関係 （アリスベッドジャパン部長）	予習：身近な輸入商品の確認 復習：洋服がどのような仕組みで店頭までを到着したか検証	45分
11回 長瀬	商社の機能と海外マーケットの可能性 （元三菱商事繊維本部長）	予習：商社の事前学習 復習：業界全体を調査し、各商社の特徴や違いを検証する	45分
12回 長瀬	NPO・NGOビジネスからみたコットン業界 （コットンイニシアチブ協会）	予習：身近なコットン製品の確認 復習：コットン業界の課題や解決方法を考え整理する	45分
13回 長瀬	検品業界からみた二次流通業界の成長 （ファッションクロスフルシマ）	予習：身近な二次流通製品の確認 復習：成長する二次販売業界の変化を検証する	60分
14回 長瀬	欧州で進化するサークュラーファッション （COVEROSフィンランド社）	予習：身近なサークュラー製品の確認 復習：欧州と日本の違いを調査する	45分
15回 長瀬	SPA業界の成長と変化 （大手SPAアパレル事業部長）	予習：身近なSPA商品の確認 復習：SPAのメリットとデメリットを検証し、整理する	45分

プレゼミ（マネジメント）

鈴木 康久、長瀬 泰典、大極 勝

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 2年 通年(後期) 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

本科目は3年次以降における専門性の高い科目受講に向けた基盤作りとしてファッションビジネスやマーチャンダイジングの基礎を修得出来ます。後期フェーズではファッションビジネスをキーワードに業界研究や企業訪問を通じた体験型学習を主に実施していき、更に授業内でグループによるディスカッションやディベート等のアクティブラーニングを活用した理解浸透を図っていきます。本科目運営は長年にわたる実務経験者である3人の教員のそれぞれの専門分野に即して、ファッションビジネスを川上～川下までの広域な学習による授業運営となります。(長瀬・生産関連、大極・アパレル企画、鈴木・リテール・生活者)

■到達目標（学修成果）

ファッション産業を取り巻く広範な分野について企業・団体・職種に対して体系的に知識習得が出来ます。
業界実企業訪問や実務経験者のゲスト講師の来校等、臨場感があり、かつ実践的な業界理解を得られます。
アクティブラーニングを通じて、自主性、コミュニケーション能力、強調性、ディベート力の醸成が図れます。
上位学年で活用されるマーチャンダイジング関連の基礎知識の習得とプレゼン資料作成のポイントが習得できます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目はファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目であり、また卒業要件科目の単位となります。
この科目は総合的な学習基礎能力の醸成を目指し、加えてICT基礎学習やキャリアプラン学習を含めて行います。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各回の企業訪問時間内に振り返りレポート提出。期末レポート提出後に掲示板にて総評によるフィードバック。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

指定教科書なし。各回で担当企業ごとの参考資料を配布します。

■参考文献

授業に関連した参考文献を随時紹介します。

■オフィスアワー・研究室

FBマネジメント教室〔3402教室〕にて授業前30分前待機

■備考

- ・学外への企業訪問時は開始時刻が遅くなるために終了時刻が遅くなる可能性がありますのでご注意ください。
- ・授業の進行状況により、スケジュール及び授業順番や内容が変更される場合があります。
- ・科目運営は3人の講師によるオムニバス形式のカリキュラムとなります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 鈴木	生活者変化考察・新顧客創造 市場調査、顧客ターゲット、ブランディング	予習：前期配布資料の読み込み 復習：配布プリントの振り返り	30分
2回 鈴木	生活者変化考察・新顧客創造 グループワーク、ディベート、企画作り	予習：提示課題の取組み 復習：作成した企画プランの読み込み	40分
3回 鈴木	新ビジネス創造・新ブランド創造 市場分析、ポジショニング、MD戦略考察	予習：提示課題の取組み 復習：配布プリントの振り返り	30分
4回 鈴木	新ビジネス創造・新ブランド創造 グループワーク、ディベート、企画作り	予習：提示課題の取組み 復習：作成した企画プランの読み込み	40分
5回 鈴木	総合プレゼン 生活者変化～インサイト～ビジネスプラン	予習：プレゼン準備 復習：チームプレゼン内容の振り返り	30分
6回 大極	教室：オリエンテーション＝実社会に必要な知識のまとめ 第18回～22回の講座内容の総合学習	予習：シラバスの確認 復習：学内外を問わず、人との関わりや倫理観等について考える	40分
7回 大極	品質検査業務研究（レリアン品質管理） 今日の品質検査のあり方について学ぶ	予習：品質管理を検索する 復習：品質検査業務とファッション産業の関連性を考える	40分
8回 大極	企画・制作業務研究（ジャパンスコープ） 布帛製品からニットまで、その製作工程全般を学ぶ	予習：OEM・ODMを検索する 復習：アパレル産業の企画～製造を考える	40分
9回 大極	企画・制作業務研究（トゥモローランド） 企画担当社によるアパレルマップ作成実習指導	予習：企業の事前学習 復習：配布資料の振り返り	40分
10回 大極	化粧品業界研究（企業訪問・Lebel化粧品） モードとヘアメイクの関係について	予習：企業研究 復習：化粧品業界とモードの関わりを考える	40分
11回 大極	内装、マネキン、什器業界研究（小田急百貨店） 業態としての百貨店業	予習：企業研究 復習：百貨店の歴史から今を考える	40分
12回 大極	リペア業務研究 （外資系企業訪問・パタゴニア）	予習：訪問企業の事前研究 復習：外資系アパレル産業の業務全般と環境保護を考える	40分
13回 大極	ニット・カットソー工房研究（小倉メリヤス） オリジナルカットソー制作実習	予習：身近なニット製品の確認 復習：ニットアパレル産業の業務全般を考える	40分
14回 大極	染色技術と商品差別化（内田染工） 染色の歴史とファッション製品への応用について学ぶ	予習：染色の種類の確認 復習：染色技術とファッションの関わりを考える	40分
15回 大極	教室：第8回～13回の復習と期末レポート指導	予習：該当回のレジュメ確認 復習：ファッション業界の今と未来の考察	40分

プレゼミ（イノベーション）

五月女 由紀子

服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 2年 通年(前期) 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

流通イノベーションコースの導入ゼミの位置づけです。社会も企業もSNS運営が必須となっており、コース専門技術としてSNS運営を学びます。TikTokによる動画やブログnoteを投稿します。大学生活のさまざまな場面をSNSで表現することで、杉野服飾大学の広報活動の一環としてコンテンツ発信をするスキルを習得します。SNS運営の活動は、学生自らが実施するというアクティブラーニングとなります。平行して、企業の特別講義を実施し、ファッション業界で促進しているデジタル販売スキルの向上とECの基礎知識の習得を目指します。

■到達目標（学修成果）

アパレル企業で必要とされているSNS運営を体験するなど、アパレル業界のデジタルマーケティング運用の基礎を固めることができます。ファッションビジネスのデジタルマーケティングの理解、3年からのコース専門科目への導入を促します。リアルとデジタル双方でのオムニチャネル販売を理解できる成果として、「ファッション販売能力検定」に合格するための知識を習得します。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目です。ファッションビジネス・流通イノベーションコースのディプロマポリシーに即した必修科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

SNSは教員がアカウント管理を行い、チームや個人で発信する内容についてフィードバックしてから公開します。企業の特別講義の授業では、ワークの実施あるいは講義の感想と自分の考えを書きポートフォリオに提出します。その後、教員からのフィードバックを行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

特になし

■参考文献

「ファッション販売3・ファッション販売能力検定試験3級公式テキスト」日本ファッション教育振興協会

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの日時は授業初回に提示します。ファッションビジネス・流通イノベーション実習室（3207教室）

■備考

外部講師の予定により、授業内容の順番変更があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 五月女	オリエンテーション 自己紹介 流通イノベーションコースの説明、興味関心の情報共有	予習：シラバスを読む。	30分
2回 五月女	昨今のファッションECとオムニチャネル 1年ファッションビジネス概論の復習と自分の消費行動まとめ	復習：授業の課題を提出する	30分
3回 五月女	SNS運営の実践 TikTokアカウント管理について チームに分かれて動画の目標を決める	予習：動画を撮る準備をする 復習：動画投稿をする	60分
4回 五月女	プロによるWEBライティング「読まれる記事作り」の方法講座 (noteの投稿前の準備)	復習：投稿用写真などを準備する	60分
5回 五月女	SNS運営の実践 クリエーターズプラットフォーム「note」『杉野生のファッションと日常』の投稿	復習：授業の課題を提出する	60分
6回 五月女	企業事例研究 SHIBUYA109 LAB. 特別講義 若者（Z世代）研究と「押し」「界限」など調査結果	復習：授業感想を書く	60分
7回 五月女	SNS投稿のための"Canva"の使い方と実践	復習：授業の課題を提出する	60分
8回 五月女	SNS運営の実践 TikTok 「服飾学生の日常」チーム別動画制作と投稿更新	予習：動画を撮る準備をする 復習：動画投稿をする	60分
9回 五月女	日本のECサイトの比較研究 日本（ZOZOなど）と韓国系サイトのささげ見せ方の比較	復習：授業について振り返る	30分
10回 五月女	SNS運営の実践 クリエーターズプラットフォーム「note」『杉野生のファッションと日常』の投稿	復習：課題を投稿する	60分
11回 五月女	「日本服飾文化振興財団」資料館 訪問 ビンテージ商品の見学	復習：授業感想を書く	60分
12回 五月女	SNS運営の実践 TikTok 「服飾学生の日常」チーム別動画制作と投稿更新	予習：動画を撮る準備をする 復習：動画投稿をする	30分
13回 五月女	生成AIの現状について 画像生成AIの作品や昨今のビジネス使用について	復習：考察事案について振り返る	30分
14回 五月女	SNS運営の実践 TikTok チーム別インサイト分析 発信後の視聴者数やフォロワー数の確認	復習：考察事案について振り返る	30分
15回 五月女	前期 まとめ 後期から始まる、メルカリ体験と生成AIの説明	復習：考察事案について振り返る	30分

プレゼミ（イノベーション）

五月女 由紀子

服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 2年 通年(後期) 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

流通イノベーションコースの導入ゼミの位置づけです。後期はメルカリ販売や前期のSNS運営の知識をもとに、3年のEC運営の準備を始めます。また、さまざまな場面をSNS投稿することは、学生自らが実施するというアクティブラーニングとなります。平行して生成AI（MaisonAI）を使用して画像生成や企画案などの文章生成技術を修得します。またアパレル企業による特別講義を実施し、ファッション業界の基本知識の習得を目指します。

■到達目標（学修成果）

アパレル企業で必要とされているSNS運営を体験するなど、アパレル業界のデジタルマーケティング運用の基礎を固めることができます。画像生成AIなどのデジタル手法を修得し、3年からのコース専門科目への導入を促します。リアルとデジタル双方でのオムニチャネル販売を理解できる成果として、「ファッション販売能力検定」に合格するための知識を習得します。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目です。ファッションビジネス・流通イノベーションコースのディプロマポリシーに即した必修科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

SNSは教員がアカウント管理を行い、チームや個人で発信する内容についてフィードバックしてから公開します。企業の特別講義の授業では、ワークの実施あるいは講義の感想を書amanaに提出した後、教員からのフィードバックをします。画像生成AIの制作物についてもmanaに提出後に教員からのフィードバックを行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

特になし

■参考文献

「ファッション販売3・ファッション販売能力検定試験3級公式テキスト」日本ファッション教育振興協会

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの日時は授業初回に提示します。ファッションビジネス・流通イノベーション実習室（3207教室）

■備考

外部講師の予定により、授業内容の順番変更があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 五月女	前期の授業について振り返り アパレル企業のSNS運営について	復習：授業について振り返る	30分
2回 五月女	メルカリ販売についてメルカリ社からの説明 出品の準備	復習：個人で出品をして販売をする	60分
3回 五月女	メルカリ出品のPR投稿 InstagramやTikTokなど投稿して誘客をする	復習：SNS投稿をする	60分
4回 五月女	メルカリ出品の売上経過とSNS投稿をまとめる	復習：パワポを完成させる	60分
5回 五月女	メルカリ出品の結果を発表する EC業務の基礎「ささげ（撮影・採寸・原稿）業務」をまとめ	復習：授業について振り返る	30分
6回 五月女	画像生成AI「Maison AI」の使い方説明	復習：自分のスマホやPCで復習をする	60分
7回 五月女	画像生成AI「Maison AI」でデザインを作る	復習：プロンプトについて振り返る	60分
8回 五月女	画像生成AI「Maison AI」でデザインを作る 文章生成で原稿やコンセプトを作る	復習：プロンプトについて振り返る	60分
9回 五月女	SNS運営の実践 画像生成AIで作ったデザインをTikTokやInstagramに投稿する	復習：SNS投稿をする	60分
10回 五月女	企業事例研究 アパレル企業：MARK STYLER （マークスタイラー）アパレルDXと商品企画	復習：感想を提出する	30分
11回 五月女	SNS運営の実践 画像生成AIで作ったデザインをnoteに投稿する	復習：noteに投稿する	60分
12回 五月女	企業事例研究 EC職について 卒業生（EC専門職）による体験談	復習：感想を提出する	30分
13回 五月女	SNS運営の実践 画像生成AIで作ったデザインをTikTokに投稿する	復習：TikTokに投稿する	60分
14回 五月女	業界別企業事例研究 KDDI auPay ・世界のキャッシュレス事情と日本の比較	復習：感想を提出する	30分
15回 五月女	総括的まとめの発表とフィードバック 3年のEC運営に向けて	復習：授業について振り返る	30分

画像設計演習

白木 ゆみ香

服飾学科 2年 前期又は後期 選択 (1単位 演習)

■授業の方針・概要

画像設計演習での使用ソフトは、Photoshop、4D-BOX（素材設計）、Power Pointの計3つです。
それぞれのソフトの基本操作や特徴を学び、実際に作品を制作しながら技法を習得し、表現力の拡大を図ります。

■到達目標（学修成果）

それぞれのソフトを活用し、連動させながら、デザイン考案やプレゼンテーションが出来る技術を身につけることを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この教科は、専門選択科目で卒業要件科目の単位となります。専門コースに拘らず選択することが出来、ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

- ・作品課題の提出は、PC関係はデスクトップ上の配布提出BOXへデータでの提出。
- ・指定された日時までに提出のこと。元データは各自で保存しているため、返却はなし。
- ・試験はなし。・プレゼンテーションにて発表の際に講評あり。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

必要に応じてデジタルテキストや資料配布。
Fashion Ruler（教材）は各自購買部にて購入してください。

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

【前期】木 15:30～17:00【後期】木 15:30～17:00

【研究室】デザインCG研究室（研究棟1F）

■備考

進度により、日程および内容の変更あり。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 白木	オリエンテーション 4D-BOX（素材設計）・基本操作 ボルカ	予習：シラバスを読む。 復習：ノートの整理。	30分
2回 白木	4D-BOX（素材設計） 基本操作 ストライプ、MIX	復習：ノートの整理。	30分
3回 白木	4D-BOX（素材設計） 基本操作 織り柄	復習：ノートの整理。	30分
4回 白木	ブランド立案に向けてのデザイン出し	予習：図書館・インターネットにて資料収集。	30分
5回 白木	ブランド立案に向けてのデザイン出し ハンガーイラスト4体以上。	復習：ノートの整理。	30分
6回 白木	ブランド立案に向けてのデザイン出し ハンガーイラスト4体以上。	復習：ノートの整理。	30分
7回 白木	Photoshop 作成した絵型に、4D-BOXで作成した柄や素材をのせる	復習：ノートの整理。	30分
8回 白木	Photoshop 作成した絵型に、4D-BOXで作成した柄や素材をのせる	復習：ノートの整理。	30分
9回 白木	Photoshop 作成した絵型に、4D-BOXで作成した柄や素材をのせる	復習：ノートの整理。	30分
10回 白木	Photoshop 絵型の色や柄のバリエーションを作成。	復習：ノートの整理。	30分
11回 白木	Photoshop 絵型の色や柄のバリエーションを作成。	復習：ノートの整理。	30分
12回 白木	Photoshop 絵型のレイアウト、画像作成。	復習：ノートの整理。	30分
13回 白木	Photoshop テキスタイルのレイアウト、画像作成。	予習：資料準備。	30分
14回 白木	Power Point プレゼン資料作成。	予習：資料準備。	30分
15回 白木	Power Point 各自の作品をプレゼンテーション。講評。	予習：プレゼン準備。	30分

ドローイング

瀬古 徹

服飾学科 2年 後期 選択 (1単位 実験実習)

■授業の方針・概要

1点ずつ丁寧に「絵」＝「作品」を制作していく。テーマは色彩による空間表現である。闇雲に筆を走らせるのではなく、描画の技法やシステムをテーマに作品を制作しながら、徐々に「自分の世界」をつくり上げていく。デザイン画やイラストレーションへ向かうだけでなく、発想や構想などのイメージクリエイションのウォーミングアップに展開することを期待する。

■到達目標（学修成果）

1. 「抽象的」なものの見方（現象的ではない）を身に付けるきっかけをつくる
2. 型にはまらないフリースタイルな発想法を発見する
3. 1.2.を導き出すための制作の「方法論」、具体化するための「技法」を身に付ける
4. 手ごたえを感じるディテールの集積によって自分の表現の「世界」をつくりあげる実践力を身に付ける

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目であり、選択科目である。服飾における感性の精鋭に活かされる科目として位置づけている。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回の提出作品の採点後、次回課題授業途中に、作品の全体的な評価点、問題点等を優秀作品の抜粋により解説する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

授業の進行に合わせて、必要な場合プリントを配付する

■参考文献

展覧会の案内など、必要に応じて授業時に指示

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの曜日、時間は授業内で指示 連絡研究室 大学表現演習研究室 (第3校舎1階)

■備考

[A.L.] = アクティブラーニング

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 瀬古	オリエンテーション →カリキュラムの流れとその構造、材料、技法の説明など	予習；シラバス内容の確認 復習；鉱物系顔料ガッシュ、細密描画用筆の準備(提案)	30分
2回 瀬古	「自画像-グラフィティから-」→2トーンによる形態の分析 〔技法:ガッシュ、不透明色の塗り重ね〕 [A.L.]	予習；自らの頭部のスタイリング 復習；鉛筆による頭部のドローイング	60分
3回 瀬古	〃 →ガッシュ（黒）による塗り分け作業 [A.L.]	予習；頭部の立体形態の確認 復習；ファッション雑誌よりの写真の収集(モチーフ)	60分
4回 瀬古	「色面による写真の分析」→3トーンによる形態の選択、強調、省略〔技法:ガッシュ、不透明色の塗り重ね〕 [A.L.]	予習；色彩理論を基にした色彩プランニング復習；図像の転写	90分
5回 瀬古	〃 前回作品の講評、フィードバック [A.L.]	復習；明部、暗部の作成	90分
6回 瀬古	〃 [A.L.]	復習；作品の完成	90分
7回 瀬古	「オートマティズムによるドローイング-1」→偶然からの出発 〔技法:ガッシュ、〃地〃づくりと細密表現〕 [A.L.]	予習；柔らかい鉛筆の準備 復習；〃描画〃の進行とその検証	30分
8回 瀬古	〃 →偶然からの出発、選択 前回作品の講評、フィードバック [A.L.]	復習；〃描画〃の進行	90分
9回 瀬古	〃 →偶然からの出発、選択、構成 [A.L.]	予習；モチーフとしての雑誌写真の準備 復習；画面際への意識、完成	90分
10回 瀬古	「ファッションフォトコラージュとそこからの制作」→イメージのsampling & remix〔技法:mixed media〕 [A.L.]	復習；ファンデーション後、モチーフの転写	90分
11回 瀬古	〃 [A.L.]	復習；〃描画〃の進行とその検証	60分
12回 瀬古	〃 前回作品の講評、フィードバック [A.L.]	復習；〃描画〃の進行とその検証	60分
13回 瀬古	〃 [A.L.]	復習；〃作品の完成〃について	60分
14回 瀬古	「オートマティズムによるドローイング-2」→〃偶然〃から作品の発想へ〔技法:コラージュ、ガッシュ〕 [A.L.]	予習；人体パーツ写真コピー準備 復習；人体骨格を意識したパーツ配置	45分
15回 瀬古	〃 まとめ→〃作品〃としての成立、〃表現〃のありかたに関して。前回作品の講評、フィードバック [A.L.]	予習；ドライブラシ技法の練習 復習；ドローイングの専門への応用を考える	45分

写真表現演習

中野 希大

服飾学科 2年 後期 選択 (1単位 演習)

■授業の方針・概要

写真は誰でも撮ることができますが、思い通りの表現をするにはカメラのコントロールができなければなりません。またコンピュータによるフォトタッチの技術は、クリエイターの自由な世界観を具体的にイメージ化することを可能にしました。この授業では撮影とフォトタッチの基本技術を、実践的な演習を通して学びます。

■到達目標（学修成果）

カメラの仕組みを理解し、目的に合わせてコントロールして撮影できるようになる。
Photoshop、Illustrator の基本的な操作方法とフォトタッチ技術を修得する。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、選択科目です。服飾表現において、イメージ発信者の基礎知識として活きる科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

提出課題については、授業内講評によってコメントを返す。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

特に指定しない。

■参考文献

写真の教科書、Photoshop、Illustratorの入門書など、各自のスキルに合わせて持っているといよい。

■オフィスアワー・研究室

前期：月・火曜日（授業前後20分程度）表現演習研究室（第3校舎1階） または本校舎1階教務課
後期：月・木曜日（授業前後20分程度）表現演習研究室（第3校舎1階） または本校舎1階教務課

■備考

デジタルカメラを各自で用意すること。一眼レフやミラーレスを推奨する。標準ズームレンズが望ましい。誰かに借りても構わないが、持参するカメラについての相談は初回授業時に受け付ける。第2回から使用するので予め検討しておくこと。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 中野	Introduction オリエンテーション	復習：レポートの内容を考える。カメラの準備をする。	60分
2回 中野	Theme1 焦点距離 1	復習：焦点距離によるイメージの違いの確認、カメラ操作に慣れておく。	60分
3回 中野	Theme1 焦点距離 2	復習：焦点距離を理解して応用課題に取り組む。	60分
4回 中野	Theme2 シャッター速度、絞り、ISO感度 1	復習：露出決定メカニズムの理解とカメラ操作に慣れておく。	60分
5回 中野	Theme2 シャッター速度、絞り、ISO感度 2	復習：露出を意識した応用課題の撮影に取り組む。	60分
6回 中野	Theme3 露出補正、ホワイトバランス 1	復習：光を意識した露出や色の理解、カメラ操作に慣れておく。	60分
7回 中野	Theme3 露出補正、ホワイトバランス 2	復習：光と色を意識した応用課題の撮影に取り組む。	60分
8回 中野	Theme4 スチルライフ 演出された写真 1	予習：スチルライフの課題に必要な素材を準備する。	60分
9回 中野	Theme4 スチルライフ 演出された写真 2	復習：テーマを決めて応用課題の撮影に取り組む。	60分
10回 中野	Theme5 レタッチ Photoshop演習 1	予習：課題に使用する写真素材を準備する。	60分
11回 中野	Theme5 レタッチ Photoshop演習 2	復習：各自のイメージに合わせた画像制作に取り組む。	60分
12回 中野	Theme5 レタッチ Photoshop演習 3	予習：課題の仕上げに取り組む。	60分
13回 中野	Theme6 スタジオライティング 1	復習：ライティングによるイメージの変化を確認し、光の効果を理解する。	60分
14回 中野	Theme6 スタジオライティング 2	復習：撮影した写真の違いを確認し、レイアウトに取り組む。	60分
15回 中野	まとめ・提出	予習：全ての課題を整理し、提出の準備をしておく。	60分

立体造形演習

大塚 武司

服飾学科 2年 前期又は後期 選択 (1単位 演習)

■授業の方針・概要

ファッションに関わるクリエイティブな現場では立体造形力が役に立ちます。その力を磨くため自然物の観察と自分なりの美しさを考察します。この授業では金属工芸・彫刻の作品を制作、個展やグループ展で発表、また一般企業でもプロダクトデザイナーや店頭ディスプレイ企画／商品企画などの業務を通じ、立体造形制作の実績のある教員がその経験を生かし授業を実施します。

■到達目標（学修成果）

この科目の目的を達成すれば、立体造形への理解とオリジナル性の高い造形能力を身に付けることができます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー（学位授与の方針）については、ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

講評会にて各々の作品についてディスカッション、講師からのコメントをフィードバックします。講評会終了後に作品を提出／採点。翌週の授業で返却します。ただし最終の課題に関しては翌週返却が出来ないため講評会前に採点をします。授業時間以外の質問にはEメールにて受付ます。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

必要に応じて資料を配布します。

■参考文献

授業内にて適宜紹介します。

■オフィスアワー・研究室

授業前後は3 4 1 3または講師控室。それ以外の時間は教務まで連絡してください。

■備考

必要な材料や筆記用具・制作用具・画材などは各自で用意していただきます。ただし課題の水粘土とそれに使用する用具は講師が用意します。授業内容は進度により変更することがあります。

定員：演習授業につき最大で25名程度とし、大幅に超える場合は調整することもあります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 大塚	授業内容についてのガイダンスと小演習。	予習：本授業内容の確認	30分
2回 大塚	課題 ケント紙を用いた美しい陰影のレリーフ作品／プランニング・制作開始。	予習：課題に向けての準備 復習：造形素材の特性の確認	30分
3回 大塚	課題 作品制作。	予習：作品の問題点の考察 復習：完成に向けての改善点の考察	30分
4回 大塚	課題 作品完成／講評会。プレゼンテーションと学生間でのディスカッション、講師による講評。	予習：プレゼンテーションの準備 復習：講評内容の確認	30分
5回 大塚	課題 主に紙素材を用いた自然物の立体作品演習。プランニング・制作開始。	予習：課題に向けての準備 復習：モチーフの観察	30分
6回 大塚	課題 作品制作（大まかな造形の完了）	予習：表現技法とモチーフとの関係の再考 復習：作品制作過程（段取り）の確認	30分
7回 大塚	課題 作品制作（完成に向けてのブラッシュアップ）	予習：作品の問題点の考察 復習：完成に向けての改善点の考察	30分
8回 大塚	課題 作品完成／講評会。プレゼンテーションと学生間でのディスカッション、講師による講評。	予習：プレゼンテーションの準備 復習：講評内容の確認	30分
9回 大塚	課題 スチレンボードの積層による立体造形の演習／制作。	予習：課題に向けての準備 復習：アイデアバリエーションの確認	30分
10回 大塚	課題 作品制作（大まかな造形の完了）	予習：作品制作過程（段取り）の検討 復習：作品制作過程（段取り）の確認	30分
11回 大塚	課題 作品制作（完成に向けてのブラッシュアップ）	予習：作品の問題点の考察 復習：完成に向けての改善点の考察	30分
12回 大塚	課題 作品完成／講評会。プレゼンテーションと学生間でのディスカッション、講師による講評。	予習：プレゼンテーションの準備 復習：講評内容の確認	30分
13回 大塚	課題 水粘土を用いた造形演習／制作開始。（自然物の観察として手の模刻）	予習：動きのあるポーズの考察 復習：水粘土を扱う方法	30分
14回 大塚	課題 作品制作（骨格や表情の観察、自然の造形美を表現）	予習：水粘土の扱いや観察した内容の復習 復習：完成に向けての改善点の考察	30分
15回 大塚	課題 作品完成／講評会。プレゼンテーションと学生間でのディスカッション、講師による講評。立体造形のまとめ。	予習：プレゼンテーションの準備 復習：講評内容と全授業内容の確認	30分

和服構成論・実習

平塚 由美子

服飾学科 2年 前期 選択 (1単位 実験実習)

■授業の方針・概要

日本の伝統衣装である和服（平面構成）の形状を理解し、手縫いによる大裁ちひとえ長着であるゆかたの製作過程でその技法を知りTP0を身につけることで、伝統文化の継承力を養うことが出来る。

■到達目標（学修成果）

和服（きもの）の裁縫を学び進めていく為の総ての手縫いを学び正確に美しく縫う技法を習得することが出来る。
和装のマナーを学び多種類の着物を学ぶ中で素晴らしい日本の伝統工芸に触れることが出来る。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目であり卒業要件単位となる。服飾造形の基礎力をもとに和服に関する知識と技術の向上に資する科目である

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

前期授業の感想と、確認テストの解答は最終日に行う。いつでも質問出来るようメールを繋いでいる。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

和服の基礎とゆかたの製作 熊田・森田・古松・秋山 共著 (有)創英社

■参考文献

作成した詳細の製作手順資料を使用

■オフィスアワー・研究室

連絡先：教務課（本館1階） 出講日 火曜日

■備考

実習 は実習（前期の授業）を終了していること

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 平塚	オリエンテーション 和服の基礎と特徴 各名称の説明 大裁ちひとえ長着（ゆかた）の製作についての説明	教科書・裁縫道具の準備（購買部など）	30分
2回 平塚	年間授業計画、裁縫道具の説明 運針についての説明 基礎縫いの準備と実習	ゆかた地の準備（購買部で販売） 教科書 基礎縫いP50～53を読む	30分
3回 平塚	ゆかた地の下準備（水通し・地直し・検品）の説明 教科書・裁縫用具の確認 基礎縫い見本標の製作 次回提出	ゆかたの下準備（水通し・地直し・検品） 基礎縫い見本標の製作	60分
4回 平塚	各自の採寸 寸法表に記入しておく（毎回必ず持参する） ゆかた地の確認と見積もりをする	他者のゆかたなら採寸しておくこと 教科書 寸法P59を参照	30分
5回 平塚	各自の寸法で身頃・袖・衿などの確認をし見積もる 後身頃と袖の柄合わせをする 袖の裁断	教科書 裁ち方P62～65を読む そでの作り方は男女別	30分
6回 平塚	袖の丸みの型を作る 袖のしるし付けの説明 左右の内袖に目印を付ける 袖底の二度縫いをする	教科書 袖の縫い方P67～69 袋縫い・丸みを縫う	30分
7回 平塚	丸みの絞り方と縫い代の綴じ方の説明 袖口の三つ折りぐけをする 両袖の完成 次回両袖提出	両袖を完成させる	60分
8回 平塚	身頃の縫い方の説明 寸法表を基に身頃4枚重ねてしるし 後身頃から前身頃にしっかりしるしをつける	教科書 しるしのつけ方P68～70	30分
9回 平塚	身頃のしるし付けの完成と背縫いの二度縫いの説明 内揚げの説明	背縫い（二度縫い）を完成させる	60分
10回 平塚	背縫い・内揚げの完成を目指す 女物は後ろのみ揚げをするが男物は前後身頃に揚げをする	背縫い・内揚げを完成させる	60分
11回 平塚	脇の縫い方の説明と縫い代のくけ方の説明 縫い代は個人で違うのでくけ方も変わる	教科書 脇縫いP84を読む	30分
12回 平塚	脇縫い・縫い代のくけの完成を目指す	肩当て・いしき当て用の晒を準備する 脇・くけ縫いを完成する	60分
13回 平塚	肩当て・いしき当ての作り方と付け方の説明 次回の確認テストの範囲提示	脇の完成を目指す テストの準備をする ゆかた着付けの準備（予備あり）	60分
14回 平塚	確認テスト ゆかた着付けの講習 各部位の確認しながら着てみよう	ゆかたの着付けの練習をしよう	60分
15回 平塚	前期の纏めとテストの解答と反省 肩当てをつける 衿の柄合わせと衿の部分と切り離す	教科書 衿付けP78を読む 夏休み中に遅れを取り戻しておこう	60分

和服構成論・実習

平塚 由美子

服飾学科 2年 後期 選択 (1単位 実験実習)

■授業の方針・概要

実習（前期）の大裁ちひとえ長着（浴衣）の製作過程で習得した基礎縫いの技法を用いてゆかたの完成を目指し、手縫いの技法を身につけることが出来る。自作のゆかたを自分で着装することで、着心地や格しるしの意味を知る。また、日本の伝統的な民族衣装である和服についての見識を深め見て触って羽織ってみてその風合いと技術を体験することが出来る。また着物のTP0を知ることによって正しい格で着物を選ぶ知識を身につけられる。

■到達目標（学修成果）

実習のゆかたを昔から変わらない手縫いによる縫い方で体験し完成させ、先人からの知恵を受け継ぎ技術の継承と着物文化の理解と興味を深めることが出来る。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

選択科目であり、卒業要件単位となる。服飾造形の基礎力をもとに和服に関する知識と技術の向上に資する科目である

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内での実技技術の習得度を部分部分で確認しながら縫い進め10回の手縫いの授業の中で完成提出する。また最終確認テストを授業内で行い各自の達成度を確認する。いつでも質問出来るようメールを全員とつないでいる。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

和服の基礎とゆかたの製作 熊田・森田・古松・秋山 共著 (有)創英社

■参考文献

作成した詳細プリントや講義資料を参考資料として使用

■オフィスアワー・研究室

連絡先：教務課（本館1階） 出講日：火曜日

■備考

実習は実習（前期の授業）を終了していること

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 平塚	前期に引き続きゆかたの製作実習 身頃のしるしを確認してから衽のしるし付けをする	教科書 衽付けP78を読む	30分
2回 平塚	衽付けをする 前身頃で測った衽丈を確認する 長さや釣り合いを確認してから前身頃に縫い合わせる	寸法表の確認（毎回持参） しるしの方法が独自なのでよく理解する	30分
3回 平塚	衽の縫い代と衽下～額縁～裾回しの三つ折りぐけの説明 幅が均等で真っすぐになるよう注意する	教科書 額縁の作り方P85を読む	60分
4回 平塚	掛け衽と本衽の柄合わせ しるし付け 本衽に掛け衽を付ける 男物衽先には衽裏が必要	女物衽のしるし付け 教科書P68 男物衽のしるし付け 教科書P70	60分
5回 平塚	三つ衽芯を作成しておく 各しるしの確認をしてから衽の針打ちをする	教科書 衽付けP79を読む	30分
6回 平塚	身頃の衽肩回りにしるしをつけてから身頃と衽のしるし同士を 正確に合わせて針を打ち縫う 三つ衽芯を付ける	教科書 三つ衽芯の付け方P80を見る	30分
7回 平塚	衽先の作り方の説明と実習(男女別の作り方) 衽を綺麗に折り込んで衽の形にし本ぐけで締める	教科書 衽先の作り方 女物P81 男物P82～83（衽裏を付けるので晒を準備）	60分
8回 平塚	衽を完成させる 袖付けの説明と実習 女物の振り・男物の人形の作り方の説明	教科書 女物・男物の袖付けP86～87を参照	60分
9回 平塚	肩当ての布端のくけと、いしき当ての付け方の説明と実習 袖付けの完成	教科書 肩当ての付け方P86を見る いしき当ては布の透け感で長さを決める	60分
10回 平塚	ゆかたの完成 各部位のチェック 本だたみの練習 次回より完成浴衣の提出	ゆかたを仕上げる アイロンをかけておく 教科書 着物の本だたみP89を参照	60分
11回 平塚	【着物学】 和服の種類を見て触って学ぶ講義 第一回 寿ぎの着物・特別な着物 ゆかたの提出	講義を聞き資料を読んでレポートを書く	30分
12回 平塚	第二回 お洒落着。遊び着としての着物 ゆかたの提出	講義を聞き資料を読んでレポートを書く	30分
13回 平塚	第三回 成人式。卒業式に着る着物 苦しくない着せられ方の講習 ゆかたの提出最終期限	講義を聞き資料を読みレポートの提出準備 運 針表に感想書きこんで提出準備	30分
14回 平塚	確認テスト 講義レポート・運針表を提出 自作のゆかたを自装して寸法や着心地を確認する	ゆかたのたたみ方の練習 教科書P89参照 着物遊びの準備 着付けの復習	30分
15回 平塚	テストの解答と説明 『私の着物遊び』着物を使って個性豊かに 着物遊びをしよう 1年の反省と感想	グループ又は個人で着物遊びのコンセプトを決 め内容を提出する	30分

衣服管理

三代 かおる

服飾学科 2年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

衣服は着用による汚れを回復させること(洗濯)と製品本来の性能を維持すること(手入れ、保管)を繰り返した後、廃棄あるいはリサイクルされるという一生を送る。本講義では衣服を管理するために必要な洗浄理論や適切な保管方法を中心に学ぶ。市販されている洗濯関連商品と衣服により、実生活と結び付けてイメージしやすいように配慮する。

■到達目標(学修成果)

市販の衣料用洗剤の種類や成分表示、衣類の取り扱い絵表示、洗濯機や乾燥機の機能に関心を持ち、衣服に適した洗濯や保管を行うことで、最初のきれいで美しい状態を保持し、長く大切に衣類を扱える方法を身につけることを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目であり、服飾造形関係の基礎を学習する科目。卒業要件科目。教職課程履修者は必修科目となる。

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

洗剤プリント、レポートを添削返却、解説、また授業内容課題も適宜行い理解度を確認する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

増子富美ほか著 生活科学テキストシリーズ 被服管理学 朝倉書店 2012

■参考文献

授業内で適宜紹介する。

■オフィスアワー・研究室

前期 水曜日(10:30～10:40)第2校舎小ホール

後期 水曜日(12:10～12:50)第3校舎講師控室

■備考

必ず教科書と配布資料を持ってくる。提出物の期日は守ること。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 三代	ガイダンス 衣服管理とは 洗濯に関する知識の確認	予習:シラバスを読む。日常で使用している洗剤の確認をする。	30分
2回 三代	衣服の汚れ 衣服の機能との関係	復習:授業資料の確認をし、衣服の機能を理解する。	30分
3回 三代	水と洗剤 硬度成分の影響	復習:教科書を確認をし、硬度成分の影響を理解する。	30分
4回 三代	衣服の洗浄 洗浄に関わる要因	復習:教科書を確認し、洗浄に重要な要素を理解する。	30分
5回 三代	界面活性剤 分類と構造 洗剤プリント提出	予習:家庭で使用している洗剤成分を調べる。	30分
6回 三代	配合剤 種類と作用	復習:教科書を確認し、界面活性剤と配合剤を理解する。	30分
7回 三代	合成洗剤と環境 現在までの変化	復習:教科書を確認し、合成洗剤の変遷を理解する。総復習する。	120分
8回 三代	中間試験	復習:試験問題を振り返る。	30分
9回 三代	洗浄のメカニズム	復習:教科書、配布プリントを参考にして、洗浄作用を理解する。	30分
10回 三代	実験:界面活性剤の作用 レポート提出	予習:界面活性剤の作用を理解しておく。	30分
11回 三代	家庭洗濯	復習:教科書を確認し、洗濯条件を理解する。	30分
12回 三代	商業洗濯	復習:教科書を確認し理解する。	30分
13回 三代	漂白と増白	復習:教科書を確認し、漂白剤の使用法を理解する。	30分
14回 三代	衣服の仕上げと保管	復習:授業内容すべての総復習をして理解を深める。	120分
15回 三代	まとめ 課題(試験やレポート等)フィードバックを行う	復習:試験問題を振り返る。	30分

染色化学

中村 弥生

服飾学科 2年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

衣服は染色と加工によって、美しさ、快適さが与えられる。染色化学では、アパレル生産において染色加工がどのように行われるか、その方法としくみを学ぶ。また、消費性能としての染色物の堅牢性、染色加工を含むアパレル生産が地球環境や社会に与える影響について考える。さらに工芸染色の技法等についても学ぶ。

■到達目標（学修成果）

アパレル生産の流れを知る。染色や加工も含めた衣服づくり、染色堅牢性などの消費科学的な性能、染色加工による環境への影響などを考慮した衣服作りができるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目の卒業要件科目。服飾を専門とする学生として必要な染料、染色加工等に関する基礎的な知識の向上に資する科目。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

LMSを使った授業前後のリアクションペーパーの提出により受講生は授業の予習・復習を行い、教員はコメントを返す。学生の疑問が解決できる内容の授業を展開する形でフィードバックを行う。確認テストの返却および解説を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

使用しない。資料配布（各回の資料を前週に配信。授業前に予習すること。）

■参考文献

授業内で提示

■オフィスアワー・研究室

授業前後は講師控室（第3校舎1階）。それ以外の時間帯は教務課（本校舎1階）を通じて連絡をして下さい。

出講日：水曜日

■備考

第1回目の授業で授業内容や受講に際しての注意などを説明します。必ず出席し、内容を十分理解してから受講して下さい。

授業内試験・課題は全てweb提出となります。情報端末デバイス（PC,スマートフォン等）を用意して下さい。

受講者数、授業進捗状況等により授業内容が多少変更になる場合があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 中村	オリエンテーション：授業についての概説（資料映像視聴）	予習：シラバスを読み授業の概要を把握 復習：授業内容の確認	30分
2回 中村	アパレル生産における染色加工工程 概要・準備工程	予習：アパレル生産の流れを把握 復習：染色加工前準備工程の確認	30分
3回 中村	アパレル生産における染色加工工程 染色工程・浸染	予習：浸染とは何かを把握 復習：浸染の種類、方法を確認	30分
4回 中村	アパレル生産における染色加工工程 染色工程・捺染	予習：捺染とは何かを把握 復習：捺染の種類、方法の確認	30分
5回 中村	アパレル生産における染色加工工程 仕上げ工程	予習：仕上げ加工とは何かを把握 復習：仕上げ加工の種類と方法の確認	30分
6回 中村	2～5回授業の確認テスト	予習：2～5回授業の資料をまとめる 復習：染色加工工程の流れを確認	30分
7回 中村	色素	予習：色が見えるしくみを把握 復習：異なる色に見える理由を確認	30分
8回 中村	染まるしくみ	予習：染まるしくみを把握 復習：なぜ染まるのかを確認	30分
9回 中村	染色物の堅牢性	予習：堅牢性とは何かを把握 復習：堅牢性評価の方法と応用を確認	30分
10回 中村	7～9回授業の確認テスト	予習：7～9回授業の資料をまとめる 復習：染まるしくみ、堅牢度試験を確認	30分
11回 中村	工芸染色	予習：工芸染色の種類を把握 復習：工芸染色の技法を確認	30分
12回 中村	工芸染色（資料映像視聴）	予習：地元周辺地域の工芸染色を調査 復習：工芸染色の現状を確認	40分
13回 中村	染色加工による環境への影響	予習：染色加工の環境への影響を把握 復習：染色加工の環境への影響を確認	30分
14回 中村	染色加工による環境への影響（資料映像視聴）	予習：自分のワードローブを調査 復習：環境への影響の現状を確認	40分
15回 中村	グループワーク、まとめ	予習：2～14回授業の資料をまとめる 復習：授業内容整理	40分

繊維ファッション産業構造論

長瀬 泰典

服飾学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

本科目では、繊維ファッション産業を川上・川中・川下までの各機能を理解した上で、最終消費者へ販売していく過程をバリューチェーンとして捉えビジネスモデル全体を俯瞰して学習する。また、この講義では担当教員の実務経験や知見を活かした授業運営を軸としており、繊維ファッション産業の成長過程を通して現代において如何に変化したかを説明するとともに、現在の課題を学生自らが問題意識を持ちどの様に対応していくかを考え、将来を見据え業界自体がどの様に変化していくべきかについても触れていく。なお、本科目ではポータルサイトを使用しICT活用による授業運営を行っている。

■到達目標（学修成果）

繊維ファッション産業の構造を理解した上で、バリューチェーン全体を把握し、各プロセスの重要性を理解することを到達目標とする。また、時代背景と共に構造自体が変化していることにも触れながら、自らが課題を発見し解決策を導き出せる人材を養うことも目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目であり、専門選択科目の単位となる。専門コースに拘らず選択することが可能であり、繊維ファッション業界で活躍するための専門力向上に資する科目とする。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業終了後に振り返りを学内システム（ポータルサイト）にて提出の上、フィードバックします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

必要に応じて授業内でレジュメを配布

■参考文献

必要に応じて、その都度授業内で提示します

■オフィスアワー・研究室

授業時間の前後30分間、講義控え室に待機

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 長瀬	イントロダクション：繊維ファッション産業の全体的な流れとバリューチェーンとは何か	予習 バリューチェーンとは何かを調査	30分
2回 長瀬	繊維産業の実例（川上1）	復習 授業を通して理解したプロセスを整理する	30分
3回 長瀬	繊維産業の実例（川上2）	復習 授業を通して理解したプロセスを整理する	30分
4回 長瀬	繊維産業の実例（川中1）	復習 授業を通して理解したプロセスを整理する	30分
5回 長瀬	繊維産業の実例（川中2）	復習 授業を通して理解したプロセスを整理する	30分
6回 長瀬	繊維産業の実例（川下3）	復習 授業を通して理解したプロセスを整理する	30分
7回 長瀬	現代社会におけるファッション産業の変化（SPAの事例から）	復習 業界の変化を元に具体的な企業の事例を調査する	30分
8回 長瀬	現代社会におけるファッション産業の変化（ECの事例から）	復習 業界の変化を元に具体的な企業の事例を調査する	30分
9回 長瀬	データから見る繊維ファッション産業を構成する業界構造	復習 データを参照し業界構造を理解した上で具体的企業を調査する	30分
10回 長瀬	現代社会におけるファッション産業の変化	復習 業界の変化を元に具体的な企業の事例を調査する	30分
11回 長瀬	ファッション産業の今後の展望_1（現代社会におけるDXの変化から）	復習 業界目線で未来を考えた上で、自分自身で方向性を予測する	45分
12回 長瀬	ファッション産業の今後の展望_2（現代社会におけるDXの変化から）	復習 業界目線で未来を考えた上で、自分自身で方向性を予測する	45分
13回 長瀬	ファッション産業の今後の課題と対策_1（日本繊維ファッション企業の現在地）	復習 現在の日本企業の取り組みから課題を導き出し調査する	45分
14回 長瀬	ファッション産業の今後の課題と対策_2（サステナビリティの考え方）	復習 持続可能性とは何かを理解した上で、業界内の課題を把握する	45分
15回 長瀬	ファッション産業の今後の課題と対策_3（将来へ向けたファッション業界の方向性）	復習 課題を把握した上で、アパレル企業としてどのように対応していくかを考える	60分

映像制作

千代崎 寛

服飾学科 2年 通年(後期) 選択 (1単位 実験実習)

■授業の方針・概要

服飾学科と服飾文化学科の2年次以上の学生に開講された3日間(1日=10限)の集中授業です。日野校舎の映像機材とスタジオ環境を最大限に活用したグループワークによる映像作品を制作していきます。制作テーマはフリースタイルですが、事前にCampusMagicを利用したヒアリング・ディスカッションなどで構想を温めていきます。学科やコースなど専門領域を横断した協働制作を通して表現手段としての映像を体験・考察していきます。

■到達目標(学修成果)

1. 社会において映像メディアによる表現能力を身に付けることは、どのような領域・分野にも活かせる総合的な能力です
2. 「何を」「どのように」「どうやって」伝えていくのかという命題をたて実証と経過を経験することで有効な情報伝達手段である映像について「知る」ことができます
3. グループワークによる相互の役割とコミュニケーションを通じ映像表現を理解することが可能となります

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目で卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー(学位授与の方針)については「映像制作」はファッション業界を軸にあらゆる分野で活躍できる専門力向上に資する科目です。

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

ディスカッションとノート、プレゼンテーション時の講評などでフィードバックを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

授業の進行にあわせて、プリントなどで適宜配布します。

■オフィスアワー・研究室

集中授業期間：月～金曜日(17:30～18:30) 空間構成研究室(日野校舎GENERAL BLOCK 2F)

■備考

集中授業期間(3日間)は日野校舎での実習・制作になります。事前に登下校のための交通手段や時間などをリサーチしておいてください。制作は共同作業になるため他の学生と協力して進めていく自覚と目的意識が必要になります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 千代崎	オリエンテーション・映像資料鑑賞 ▼ワークシート ▼ノートについて	予習：映像作品のリサーチ 復習：機材・環境・備品等の使用方法について	60分
2回 千代崎	撮影・編集演習「カメラワーク」「ビデオ編集」	復習：著作権表示・クレジットの表記について	60分
3回 千代崎	グループディスカッション・役割分担・スケジューリング	復習：プライバシー・人権について	60分
4回 千代崎	撮影演習「カメラワーク」▼ワークシート	復習：作業内容の確認	60分
5回 千代崎	編集演習「ビデオ編集」サウンド・音声・録音	復習：データ整理・管理	55分
6回 千代崎	試写(経過プレゼン)プランニング・ノート制作の経過確認	復習：試写を経ての検討・確認 ▲ワークシート	60分
7回 千代崎	撮影実習 編集実習 ▼ワークシート	復習：作業内容の確認	60分
8回 千代崎	プレゼン(進捗状況)撮影実習 編集実習	復習：スケジュールの再確認	60分
9回 千代崎	試写(グループ単位)撮影実習 編集実習	復習：試写を経ての検討・確認 ▲ワークシート	60分
10回 千代崎	撮影実習 編集実習 ▼ワークシート	復習：作業内容の確認	30分
11回 千代崎	試写(全グループ)撮影実習 編集実習	復習：試写を経ての検討・確認	30分
12回 千代崎	試写(グループ単位)撮影実習 編集実習	復習：試写を経ての検討・確認 ▲ワークシート	60分
13回 千代崎	編集実習 映像作品完成 ▼ワークシート	復習：作業内容の確認	30分
14回 千代崎	作品データ提出 ノート制作・資料作成「象徴的10カット」	復習：データフォーマットについて	30分
15回 千代崎	「上映」■プレゼンテーション 講評 まとめ 片付け	復習：▲ワークシート「制作ノート」提出のための準備	50分

基礎デザイン（平面）

桐山 征士

服飾学科 2年 前期 選択 （1単位 演習）

■授業の方針・概要

オリジナルの服のデザインを考察し、エスキースのトレーニングを行い、デザイン画を描く授業。
 デザインに不可欠な「思考の密度を上げる」訓練と「独自の視点とその表現」を目指す。
 色彩演習の授業をベースとした、コンセプトに見合った色彩の選択を学ぶ。(バリエーションの出し方を含む)
 ドローイングをベースとした、それぞれ自由な表現スタイルのデザイン画(レンダリング)を学ぶ。
 ニーズ(needs)な商品をデザインと呼ぶ時代は終わっている。ウォンツ(wants)もしくはシース(seeds)なデザインを学ぶ。

■到達目標（学修成果）

デザインプロセスやコンセプトの構想法を身に着ける。教員とディスカッションすることで、言葉とビジュアルのコミュニケーション能力が養える。

思考の密度が上がる。独自の視点とその表現が可能となる。

積極的にディスカッションすることで、今社会で求められている積極性と忍耐力を育む。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目。全ての造形に関わる授業に必要な構想力・ディスカッション・プレゼンテーション、ドローイングの基礎力を身につける。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業外でも随時相談に乗る。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし

■参考文献

適宜資料をデータで配布(留学生が簡単に翻訳できるようにするため。また、紙資源の削減のため)

■オフィスアワー・研究室

4006工芸室

■備考

15回の授業。

初回から10回までの授業はPC教室にて。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 桐山	美術家兼デザイナーの担当教員による、デザインとアートの違い・デザインプロセスの講義	講義の復習・確認	30分
2回 桐山	既存のブランドテーマの分析	既存のブランドテーマの分析	30分
3回 桐山	各自、ブランドを選んで、テーマの分析・資料作成	既存のブランドテーマの分析	30分
4回 桐山	各自、ブランドを選んで、テーマの分析・資料作成・提出	既存のブランドテーマを仕上げて提出	30分
5回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
6回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
7回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
8回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
9回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
10回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
11回 桐山	エスキース(量) *制作の素案という意味。 デザインのアイデアを描き出し検討するプランニングのこと。	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分
12回 桐山	エスキース(量) ディスカッション。(コンセプトと形状の確認含む)	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分
13回 桐山	エスキース(量) ディスカッション。(コンセプトと形状の確認含む)	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分
14回 桐山	エスキース(量) ディスカッション。(コンセプトと形状の確認含む)	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分
15回 桐山	エスキース(量) ディスカッション。(コンセプトと形状の確認含む)	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分

基礎デザイン（平面）

桐山 征士

服飾学科

2年

前期

選択

（ 1単位 演習 ）

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	
16回 桐山	エスキース(量) ディスカッション。(コンセプトと形状の確認含む)	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分
17回 桐山	エスキース(質) 複数のエスキースからひとつ選び、ブラッシュアップ。	エスキースのブラッシュアップ。	30分
18回 桐山	エスキース(質) 複数のエスキースからひとつ選び、ブラッシュアップ。	エスキースのブラッシュアップ。	30分
19回 桐山	下書き。	下書きの密度を上げる。	30分
20回 桐山	下書き。	下書きの密度を上げる。	30分
21回 桐山	下書き。	下書きの密度を上げる。	30分
22回 桐山	下書き完成。	下書きを仕上げる。 デザイン画に必要な道具の準備。	30分
23回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
24回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
25回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
26回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
27回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
28回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
29回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
30回 桐山	デザイン画を描く。 完成。	デザイン画を完成させ提出。 授業の資料をまとめる。	30分

基礎デザイン（立体）

桐山 征士

服飾学科 2年 後期 選択 （1単位 演習）

■授業の方針・概要

金属を用いたアクセサリーをデザインし、制作する。ただし、金属を加工してアクセサリーをつくることが目的ではない。「思考の密度を上げる」、「独自の視点とその体現」、デザインのプロセスの理解とコンセプトの構築法の学習が目的である。かっこいい(かわいい)カタチを考えるのがデザイン行為ではない。コンセプトとカタチが合致する根拠を導き出すトレーニングを行う。その思考プロセスをプレゼンテーションできるように、随時ディスカッションのトレーニングを行う。技術は重要ではない。技術は後からついてくるものだ。それが造形的な思考である。足りない技術は教員がカバーする。

■到達目標（学修成果）

デザインの思考（「思考の密度」を上げる・「独自の視点とその体現」）を育てる。コンセプトから素材・カタチの根拠を導き、造形する能力を身に付ける。

デザイン(コンセプト・カタチ・素材etc)には根拠が必要であるという意識が身に付く。そのための情報収集や分析、プレゼンテーション能力が養える。A1では身につかない、デザインの本質を体験する。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

特に無し

*デザイン能力が身に付く。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業外でも随時相談に乗る。3003工芸室を開放する。制作補助も行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの時間は初回の授業で指示する。研究室：3003工芸室

■備考

15回の授業。

初回から10回までの授業はPC教室にて。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 桐山	デザインとアートの違い・デザインプロセスの講義(美術家兼デザイナーの担当教員) ジュエリーの講義	講義の復習	30分
2回 桐山	デザインとアートの違い・デザインプロセスの講義(美術家兼デザイナーの担当教員) ジュエリーの講義	講義の復習	30分
3回 桐山	情報収集 幅広い情報を集めイメージの幅を広げる。既成概念の払拭。	情報収集	30分
4回 桐山	情報収集 幅広い情報を集めイメージの幅を広げる。既成概念の払拭。	情報収集	30分
5回 桐山	情報収集 幅広い情報を集めイメージの幅を広げる。既成概念の払拭。	情報収集	30分
6回 桐山	情報収集 幅広い情報を集めイメージの幅を広げる。既成概念の払拭。	情報収集	30分
7回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
8回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
9回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
10回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
11回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
12回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
13回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
14回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
15回 桐山	エスキース仕上げ	エスキース	30分

基礎デザイン（立体）

桐山 征士

服飾学科

2年

後期

選択（1単位 演習）

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	
16回 桐山	エスキース仕上げ	エスキース	30分
17回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
18回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
19回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
20回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
21回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
22回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
23回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
24回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
25回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
26回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
27回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
28回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
29回 桐山	課題10「ファッションイメージとカラーコーディネート」 テイストに合わせた配色を習得する。(2級対策)	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
30回 桐山	課題10「ファッションイメージとカラーコーディネート」 テイストに合わせた配色を習得する。(2級対策)	写真撮影。提出。 資料をまとめる。	30分

ファッション販売論上級

鈴木 康久、五十嵐 朝美

服飾学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

ファッションビジネスにおける高度な販売技術の論理的理解と現代的な接客アプローチや接客ホスピタリティ等のプロフェッショナルスキルの学習を実施。グループワークやチームプレゼン等によるアクティブラーニングを通じた相互学習、その他演習形式の現代的接客アプローチ技術の体験型学習を行うハイブリットで実践型の授業です。尚、本科目は実務経験のある担当教員の長年の知見(販売オペレーション、販売接客、CRM、販売教育、店舗運営等)を活かした授業運営となります。またファッション販売能力検定2級の取得を目指す学習構成にもなっています。

■到達目標(学修成果)

ファッション販売能力検定2級のテキストを活用しながら、現代のファッションビジネスに対応できる高度なプロフェッショナルスキルを身に付け、ファッションアドバイザーとなる高度な接客販売技術やコミュニケーション能力や対人対応力や店舗運営技術を習得する事を目指す実践型授業です。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は専門選択科目となります。ディプロマシー(学位授与の方針)については専門コースに関わらず選択する事が出来、ファッション業界で活躍出来る専門力向上に資する科目です。

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

レポートのフィードバックは学校内システムを活用し、個別に送信。成果の確認や課題設定を行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

ファッション販売能力検定試験2級公式テキスト 改訂版(一般財団法人 日本ファッション教育振興協会)

■参考文献

適宜示していきます

■オフィスアワー・研究室

出講日：第三校舎 4階(3402教室) 授業時間前後30分

■備考

- 教科書及び配布資料は必ず毎回持参のこと
- 本科目では消費者目線を通したファッション販売の在り方やその実践的な解釈を学びます。
- 授業では講義形式による現代的な販売論全般の理解を深めます。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 鈴木	オリエンテーション、販売関連知識学習 販売スタッフ・情報収集・顧客づくり	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：配布資料の振り返り	30分
2回 五十嵐	販売員の基礎 販売関連知識実践 笑顔、立ち居振る舞い、言葉遣い...接客演習	授業を受けてのレポート作成 (気づき・チャレンジ目標設定)	30分
3回 鈴木	販売関連知識学習 接客技術の知識・クレーム対応・お直し	予習：教科書の該当箇所確認 復習：配布資料の振り返り	40分
4回 五十嵐	販売員の基礎 販売関連知識学習 言葉の引き出し、言葉遣い...接客演習	授業を受けてのレポート作成 挨拶トーク作成	30分
5回 鈴木	商品関連知識学習 素材、配色(色相とトーン)、副資材、サイズ	予習：教科書の該当箇所確認 復習：配布資料の振り返り	40分
6回 五十嵐	販売員の基礎 販売関連知識学習・アプローチ 商品のカラー・素材別アプローチ...接客演習	授業を受けてのレポート作成 アプローチトーク作成	30分
7回 鈴木	店舗関連知識学習 VMD戦略、店舗コンセプト、売り場構成	予習：教科書の該当箇所確認 復習：配布資料の振り返り	40分
8回 鈴木	マーケティング関連知識学習 マーチャндаイとマーケティング、オムニチャネル	予習：教科書の該当箇所確認 復習：配布資料の振り返り	40分
9回 鈴木	店舗関連知識学習 運営管理の基礎、計数管理、コンプライアンス	予習：教科書の該当箇所確認 復習：配布資料の振り返り	40分
10回 五十嵐	販売員の基礎 販売関連知識学習・アプローチ ～の振り返り、ニーズ把握、お客様との会話...演習	授業を受けてのレポート作成 ニーズを把握するための質問作成	30分
11回 五十嵐	販売員の基礎 販売関連知識学習 ひきつけるプレゼンテーション、アクティブラーニング	授業を受けてのレポート作成	30分
12回 五十嵐	販売員の基礎 販売関連知識学習 商品提案・再提案の仕方、商品知識を高める...演習	授業を受けてのレポート作成	30分
13回 五十嵐	販売員の基礎 販売関連知識学習 デメリット質問への対応 、根拠のある商品提案の仕方...演習	授業を受けてのレポート作成 メリット・デメリットの作成	30分
14回 五十嵐	ココロのイロ、販売関連知識学習 4つの行動スタイルを知る、アクティブラーニング	授業を受けてのレポート作成	30分
15回 鈴/五	総合演習・全体の振り返り アクティブラーニング	授業を受けて感じたこと、学んだことに対して のレポート作成	40分

色彩実践学

武田 里美

服飾学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

本授業では、ファッションコンテンツにおいて重要な「色」を多角的に学びます。色彩学として色を捉える、トレンドとの接点を理解する、この2点を中心に、講義・演習により実践で活用できる知識や技能を学習します。日本流行色協会で実務経験を積んだ講師より、色彩の基礎から応用まで網羅し、色彩を活用する手法をお伝えします。必要に応じて検定のポイント学習も行います。

■到達目標（学修成果）

色彩の基本的な知識、色の持つファッション上の役割や機能を理解・習得する事が出来るようになります。
配色技法の学習では演習手法も取り入れ、自分で考えながら配色を行うことで、実践に活かせる知識や技能が身につきます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は選択科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業後のミニテスト および ワーク課題の提出、授業内の発表にて評価します。

ミニテストの出題・解答はCampus Magicを使用し、解説は次の授業の冒頭に行います。

授業の持ち物や連絡も、Campus Magicを使用します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

色彩実践学オリジナルテキスト（¥1,500程度、初回授業で販売します）

JIS対応ベーシックカラー140 B5

■参考文献

季刊誌「流行色」 一般社団法人日本流行色協会

■オフィスアワー・研究室

出講日；金曜日 第3校舎講師控室（第3校舎1階）

■備考

授業の進行状況等により、スケジュール及び授業内容が変更される場合があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 武田	カリキュラムのガイダンス：スケジュール、内容、演習内容 流行色とは、流行色が決まるまで	予習：シラバスの確認 復習：ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
2回 武田	色はなぜ見えるのか、色と光（1）：光の種類、色温度、演色性	予習：テキスト「色と光」確認 復習：ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
3回 武田	色と光（2）：物体色、分光反射率、光の現象と色	予習：テキスト「色と光」確認 復習：ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
4回 武田	色と眼：目の構造、視細胞、順応、色の見えの変化	予習：テキスト「色と眼」確認 復習：ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
5回 武田	色の伝達：色の精度、色名、カラーオーダーシステム（マンセルシステム、PCCS）、混色系	予習：テキスト「色の伝達」確認 復習：ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
6回 武田	混色：加法混色、減法混色、中間混色 色の感情効果（1）：錯視、対比、同化	予習：テキスト「混色」「色の感情効果」確認 復習：ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
7回 武田	色の感情効果（2）：面積効果、色の心理的現象、恒常性 色のイメージ：色記憶/記憶色、色の連想	予習：テキスト「色の感情効果・イメージ」確認 復習：ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
8回 武田	配色1(ワーク)：色相・トーンに基づいた配色、自然な色の見え、配色演習	予習：テキスト「配色」確認 復習：ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
9回 武田	配色2(ワーク)：一般的な配色技法、配色演習	予習：テキスト「配色」確認 復習：ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
10回 武田	配色3(ワーク)：身の回りのカラー分析(ワーク)	予習：分析素材の準備 復習：ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
11回 武田	商品カラーの設計、トレンドカラー解説	予習：テキスト「商品カラーの設計」確認 復習：ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
12回 武田	カラーパレット制作1(グループワーク)：1年先のカラーパレットを考える	予習：パレット制作の準備(調査・素材準備) 復習：ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
13回 武田	カラーパレット制作2(グループワーク)：1年先のカラーパレットを考える	予習：パレット制作の準備(調査・素材準備) 復習：ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
14回 武田	カラーパレット制作3(グループワーク)：1年先のカラーパレットを考える	予習：パレット制作の準備(調査・素材準備) 復習：ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
15回 武田	カラーパレット制作4(グループワーク)：発表、講師講評 全体の振り返り・まとめ	予習：パレット発表の準備 復習：ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分

ブライダルファッションプランニングゼミ

井口 多恵子

服飾学科 2年 通年(前期) 選択 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

1年次に学んだ服飾造形の基礎、社会人基礎や配色の知識を活かし、全日本ブライダル協会認定のカリキュラムに沿ってブライダルに関する基礎知識を修得します。

■到達目標（学修成果）

全日本ブライダル協会のブライダルファッションプランナーの資格取得の試験に合格する。
ブライダル業界についての理解が深まり、将来のキャリア選択の視野が広がる。
資格取得後は、さらなる上位の資格を目指す一歩になる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件の専門選択科目です。ブライダル業界で活躍できる基礎的な知識の修得に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

制作した作品について、提出後学生ポータルサイトにてコメントし、返却する。模擬試験、検定試験について試験実施後に解説を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	20%

■教科書

「ブライダルの基礎知識」全日本ブライダル協会発行
「フォーマルウェア・ルールブック」日本フォーマル協会発行

■参考文献

必要に応じて適時紹介します。

■オフィスアワー・研究室

初回授業時にお知らせします。

■備考

初回授業時に検定試験日をお知らせします。日程及び内容は変更があります。
検定料が25,000円（教科書代、受験料、認定証書代を含む）がかかります。なお、見学及びテーブルマナー実習費として10,000円、材料費（ペール制作、コサージュ制作）に3,000円が別途がかかります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 井口	1. オリエンテーション：ブライダル協会の活動と業界の現状を学ぶ 2. 結婚式の種類：挙式のスタイルを学ぶ	予習：シラバスを読む コンテンツ1、2を読む	30分
2回 井口	2. 結婚式の種類：挙式のスタイルを学ぶ	復習：授業範囲を読み返す 予習：次のコンテンツを読む	30分
3回 井口	3. 日本の婚礼の歴史：古来～現代の婚礼スタイルに至るまでの歴史を学ぶ	復習：授業範囲を読み返す 予習：次のコンテンツを読む	30分
4回 井口	3. 日本の婚礼の歴史（継続）4. 結納・婚約の現状：結納・婚約から結婚式までの流れを学ぶ	復習：授業範囲を読み返す 予習：次のコンテンツを読む	30分
5回 井口	5. セレモニー・レセプションの現状とトレンド：多様化するセレモニー・レセプションの現状とトレンドを学ぶ 小試験	復習：授業範囲を読み返す 予習：次のコンテンツを読む	30分
6回 井口	6. カラーコーディネート：演出として「色」を活用できるように色彩の基礎を学ぶ。	復習：授業範囲を読み返す 予習：次のコンテンツを読む	30分
7回 井口	7. フラワーコーディネート：空間演出をする会場装花やウェディングブーケ・ブートニアについて学ぶ	復習：授業範囲を読み返す 予習：次のコンテンツを読む	30分
8回 井口	8. 婚礼衣装の基本コーディネート：ウェディングドレスの必須アイテムとそのコーディネート方法を学ぶ	復習：授業範囲を読み返す 予習：次のコンテンツを読む	30分
9回 井口	9. フォーマルファッション：ルールブックを用いて、フォーマルウェアのドレスコードを学ぶ 小試験	復習：授業範囲を読み返す 予習：次のコンテンツを読む	30分
10回 井口	10. 和装コーディネート：和装の各部名称と身に付ける小物の意味や使用している素材について学ぶ。	復習：授業範囲を読み返す 予習：次のコンテンツを読む	30分
11回 井口	10. 和装コーディネート（継続）：和装の各部名称と身に付ける小物の意味や使用している素材について学ぶ。	復習：授業範囲を読み返す 予習：次のコンテンツを読む。	30分
12回 井口	婚礼に関する衣装やアクセサリーなどの見学、グループワーク（着装体験）とディスカッション	復習：授業範囲を読み返す 予習：次のコンテンツを読む	30分
13回 井口	小試験解説11. フォトスタイリング：花嫁を美しく撮影するための基礎知識を学ぶ。小試験	復習：授業範囲を読み返す 予習：次のコンテンツを読む	30分
14回 井口	12. ブライダルアテンドの方法：カップルの身の回りの世話やスケジュールを管理するアテンダントの役割を学ぶ	復習：授業範囲を読み返す 予習：次のコンテンツを読む	30分
15回 井口	フラワーコーディネート実習：コサージュ制作 婚礼衣装アイテム実習：ペール制作	復習：授業範囲を読み返す 予習：次のコンテンツを読む	30分

ブライダルファッションプランニングゼミ

井口 多恵子

服飾学科 2年 通年(後期) 選択 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

1年次に学んだ服飾造形の基礎、社会人基礎や配色の知識を活かし、全日本ブライダル協会認定のカリキュラムに沿ってブライダルに関する基礎知識を修得します。

■到達目標（学修成果）

全日本ブライダル協会のブライダルファッションプランナーの資格取得の試験に合格する。
ブライダル業界についての理解が深まり、将来のキャリア選択の視野が広がる。
資格取得後は、さらなる上位の資格を目指す一歩になる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件の専門選択科目です。ブライダル業界で活躍できる基礎的な知識の修得に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

制作した作品について、提出後manabaにてコメントし、返却する。模擬試験、検定試験について試験実施後に解説を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	20%

■教科書

ブライダルの基礎知識」全日本ブライダル協会発行
「フォーマルウェア・ルールブック」日本フォーマル協会発行

■参考文献

必要に応じて適時紹介します。

■オフィスアワー・研究室

初回授業時にお知らせします。

■備考

授業計画3回、4回、5回は時間割配当表の通常時間外に実施する計画になります。日程及び内容は変更があります。
検定料が25,000円（教科書代、受験料、認定証書代を含む）がかかります。なお、見学及びテーブルマナー実習費として10,000円、材料費（ペール制作、コサージュ制作）に3,000円が別途がかかります。（通年科目により、前期納入）

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 井口	フラワーコーディネート実習：コサージュ制作 婚礼衣装アイテム実習：ペール制作	復習：授業範囲を読み返す 予習：関連コンテンツを読む	30分
2回 井口	フラワーコーディネート実習：コサージュ制作 婚礼衣装アイテム実習：ペール制作	復習：授業範囲を読み返す 予習：関連コンテンツを読む	30分
3回 井口	和装と洋装衣装見学	復習：授業範囲を読み返す 予習：関連コンテンツを読む	30分
4回 井口	セレモニー・レセプション会場見学	復習：授業範囲を読み返す 予習：関連コンテンツを読む	30分
5回 井口	マナー実習	復習：授業範囲を読み返す 予習：関連コンテンツを読む	30分
6回 井口	13.接客の知識：お客様に満足してもらえる物やサービスが提供できる知識を学ぶ	復習：授業範囲を読み返す 予習：関連コンテンツを読む	30分
7回 井口	14.基本のマナー（名刺交換・訪問・食事等）：人と交際するうえで必要なマナー（礼儀作法）を学ぶ	復習：授業範囲を読み返す 予習：関連コンテンツを読む	30分
8回 井口	15.専門用語：式場で使う用語、宝飾（ジュエリー）用語を学ぶ	復習：授業範囲を読み返す 予習：関連コンテンツを読む	30分
9回 井口	試験対策1：過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ→提出	復習：授業範囲を読み返す	30分
10回 井口	試験対策2：過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ→提出	復習：学習範囲を読み返す	30分
11回 井口	試験対策3：過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ→提出	復習：学習範囲を読み返す	30分
12回 井口	試験対策4：過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ→提出	復習：学習範囲を読み返す	30分
13回 井口	試験対策5：過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ→提出	復習：学習範囲を読み返す	30分
14回 井口	模擬試験：検定試験を想定して行う	復習：すべての単元に目を通す	30分
15回 井口	まとめ 検定試験の解説	復習：検定試験の問題に目を通す	30分

インターンシップ

笹部 小百合

服飾学科 2年 前期又は後期 選択 (2単位 実験実習)

■授業の方針・概要

専門コースを選択したことにより、将来の目標が明確になってきたと思います。卒業後の仕事について確認し、今後の授業の取り組みを見据えるために大切な体験になります。

インターンシップ(就労体験)を通して、専門分野に関連する実務体験を企業で体験・学修します。実務能力を高め、企業で必要とされる能力を感じ取ることで、卒業後の就職に対する意欲と学内での学修をより深く理解することができます。企業でのインターンシップ生教習実務経験を基に指導し、自ら社会で活躍できる人材になろうとする意識強化を目指します。

■到達目標(学修成果)

学内授業では得られない就労体験を行うことで、社会人としての基礎やマナー、ビジネススタンスを身に付けます。さらに、自分の適性を見極め、将来の就職に生かせる理解と能力を養うことを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。将来の就職に向けて仕事を理解するための選択科目です。

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

研修日誌による毎日の提出内容の企業研修先による講評、グループワーク・課題や最終報告書・報告会による講評を授業内やメール、ポータルサイトからフィードバックします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし

■参考文献

社会人常識マナー検定テキスト 2・3級 株式会社エディプレス 清水書院

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示します。

研究室：インダストリアルパターン研究室(第3校舎2階 3211)

■備考

実務時期、期間：2・3年生夏休み(評価は前期少し遅れて反映)または2・3年生春休み(評価は後期少し遅れて反映)で10日以上～12日以内。研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県。成績評価：事前授業や事後報告10%、研修日誌や報告書20%、報告会プレゼン20%、企業での就労態度や実務評価50%

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回	オリエンテーション：事前授業によるカリキュラムとスケジュール、目的、内容説明、研修について(グループワーク)	予習：企業や研修先について研究する 自己紹介を考える	90分
2回	面談：研修先企業や職種について就職部職員との面談	予習：履歴書を作成する	60分
3回	事前授業：研修の心得とマナー等について	復習：講義について振り返る	30分
4回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
5回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
6回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
7回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
8回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
9回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
10回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
11回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
12回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
13回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
14回	事後授業：企業研修の振り返り(グループワーク) 報告会に向けてのプレゼンテーション資料準備	復習：報告書作成と報告会に向けての準備	90分
15回	事後報告：報告書、研修日誌の提出と報告会でのプレゼンテーション(学修成果と得られた技術を含む)および講評	復習：報告会での講評を振り返り、今後の学修に役立てる	30分

長期インターンシップ

笹部 小百合

服飾学科 2年 前期又は後期 選択 (4単位 実験実習)

■授業の方針・概要

専門コースを選択したことにより、将来の目標が明確になってきたと思います。卒業後の仕事について確認し、今後の授業の取り組みを見据えるために大切な体験になります。

インターンシップ(就労体験)を通して、専門分野に関連する実務体験を企業で体験・学修します。実務能力を高め、企業で必要とされる能力を感じ取ることで、卒業後の就職に対する意欲と学内での学修をより深く理解することができます。企業でのインターンシップ生教習実務経験を基に指導し、自ら社会で活躍できる人材になろうとする意識強化を目指します。

■到達目標(学修成果)

学内授業では得られない就労体験を行うことで、社会人としての基礎やマナー、ビジネススタンスを身に付けます。さらに、自分の適性を見極め、将来の就職に生かせる理解と能力を養うことを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。将来の就職に向けて仕事を理解するための選択科目です。

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

研修日誌による毎日の提出内容の企業研修先による講評、グループワーク・課題や最終報告書・報告会による講評を授業内やメール、ポータルサイトからフィードバックします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし

■参考文献

社会人常識マナー検定テキスト 2・3級 株式会社エディプレス 清水書院

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示します。

研究室：インダストリアルパターン研究室(第3校舎2階 3211)

■備考

実務時期、期間：2・3年生夏休み(評価は前期少し遅れて反映)または2・3年生春休み(評価は後期少し遅れて反映)で20日以上～24日以内。研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県。成績評価：事前授業や事後報告10%、研修日誌や報告書20%、報告会プレゼン20%、企業での就労態度や実務評価50%

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回	オリエンテーション：事前授業によるカリキュラムとスケジュール、目的、内容説明、研修について(グループワーク)	予習：企業や研修先について研究する 自己紹介を考える	90分
2回	面談：研修先企業や職種について就職部職員との面談	予習：履歴書を作成する	60分
3回	事前授業：研修の心得とマナー等について	復習：講義について振り返る	30分
4回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
5回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
6回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
7回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
8回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
9回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
10回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
11回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
12回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
13回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
14回	事後授業：企業研修の振り返り(グループワーク) 報告会に向けてのプレゼンテーション資料準備	復習：報告書作成と報告会に向けての準備	90分
15回	事後報告：報告書、研修日誌の提出と報告会でのプレゼンテーション(学修成果と得られた技術を含む)および講評	復習：報告会での講評を振り返り、今後の学修に役立てる	30分

家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む）

阿部 睦子

服飾学科 2年 前期 選択（2単位 講義）

■授業の方針・概要

社会生活の基本単位としての家庭を経営する視点から、家族や家庭を巡る諸現象の考察を通して、よりよい生活設計のあり方を探ります。授業形態は講義・演習を基本としますが、授業の展開は学生が主体的に取り組めるようにし、今後、教職の学習指導に活かすことができるとともに、学生自身の生活にいかすことを目指します。

■到達目標（学修成果）

今日の生活スタイルの特徴を理解し、家族関係・家族心理について、衣食住の運営について、家庭経済について、家庭管理についてなどの視点から家庭経営について系統的に考え理解できるようにする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、選択科目として卒業要件科目となります。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

- ・基本的に授業の前後どちらかに振り返りの時間を設けます。
- ・ナラティブなど記述することで、学修者の自己研鑽の機会を設定します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

- ・生きる力をつける学習・未来をひらく家庭科 望月 一枝 著者代表 教育実務センター

■参考文献

- ・現代家族を読み解く12章 日本家政学会編 丸善出版
- ・持続可能な社会と人の暮らし 持続可能な生活研究会 建帛社

■オフィスアワー・研究室

- ・授業終了後30分程度・第3校舎講師控え室（第3校舎1階）、その他何かあれば教務室経由で対応します。

■備考

評価においては、授業姿勢（欠席・遅刻も含む）及び日常課題を重要視します。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 阿部	オリエンテーション：授業計画、生活構造の概要を知り、家庭生活の本質について考える。	予習：シラバスをよく読む。 復習：配布資料を見直す。	30分
2回 阿部	家族の形成と変遷：家族とは何か、家族の形成を中心とした人間生活の成り立ちについて歴史を辿ることによって考える。	復習：配布資料を見直し、重要項目の理解を深める。	30分
3回 阿部	家族や家族関係をめぐる現代の諸現象と問題：現代の家族や家族関係の問題と改善案を考える。	復習：配布資料を見直し、重要項目の理解を深める。	30分
4回 阿部	自分らしく生きるための生活設計：生涯を見通す長期、中期、短期の設計など、ライフプランについて考える。	予習：将来をイメージしてくる。 復習：配布資料を見直す。	60分
5回 阿部	生活時間の実態と分類：生活時間からワークライフバランスについて考える。	復習：配布資料を見直し、重要項目の理解を深める。	30分
6回 阿部	「食べる」：家庭経営を具現化するために、食生活の実践を通して考える。	予習：発表者は準備。復習：配布資料を見直し、食生活について理解を深める。	60分
7回 阿部	「着る」：家庭経営を具現化するために、衣生活の実践を通して考える。	予習：発表者は準備。復習：配布資料を見直し、衣生活について理解を深める。	60分
8回 阿部	「住まう」：家庭経営を具現化するために、住生活の実践を通して考える。	予習：発表者は準備。復習：配布資料を見直し、住生活に理解を深める。	60分
9回 阿部	「育つ・育てる」：子どもを育てる視点から家族心理と家庭内の人間関係を考え、よりよい家庭経営の方向を考える。	予習：発表者は準備。復習：配布資料を見直し、子どもの成長に関しての理解を深める。	60分
10回 阿部	「高齢社会」：高齢者の視点から家族心理と家庭内の人間関係を考え、よりよい家庭経営の方向を考える。	予習：発表者は準備。復習：配布資料を見直し、高齢者についての理解を深める。	60分
11回 阿部	「買う」：ライフステージ別の家計の具体例を通して家計の実態を知り、家庭経済と家庭管理について考える。	予習：発表者は準備。復習：社会とつながる家庭経済についての理解を深める。	60分
12回 阿部	「ジェンダー」：男女共同参画社会をベースに、よりよい家事労働の在り方について考える。	予習：発表者は準備。復習：配布資料を見直し、ジェンダーについての理解を深める。	60分
13回 阿部	「持続可能な社会」：ESD・SDGsを通して、循環型社会を創る消費者のライフスキルについて考える。	予習：発表者は準備。復習：持続可能な社会の形成についての理解を深める。	60分
14回 阿部	「シチズンシップ」：家庭経営と協働・共生生活を拓くライフスキルについて考える。	予習：発表者は準備。復習：シチズンシップ教育の広がりについて理解を深める。	60分
15回 阿部	まとめ：課題のフィードバックを行い、家庭経営についての理解を深める。	予習：これまでの学習を振り返る。 復習：今後の生活課題を設定する。	60分

食物学（実践栄養学）

外川 恵

服飾学科 2年 後期 選択 （2単位 講義）

■授業の方針・概要

栄養学の基礎知識を通して、食物と栄養摂取、栄養素の性質とはたらきを学ぶ。
自分自身の食事の振り返りや各ライフステージの栄養・食生活の特徴および課題を理解し、適切な栄養摂取を学ぶ。
健康の維持・促進を目的とした食事計画や献立作成等を行い、栄養・食生活の理解を深める。

■到達目標（学修成果）

- 1. 栄養学の基礎知識を学び、各ライフステージの食と健康の特徴、課題を理解し、説明できる。
- 2. 健康の維持・増進のための栄養摂取の方法を適切に判断および実践できる。
- 3. 教員免許取得者においては、家庭科の食生活分野に生かすことができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位（ライフスタイル関係）であり、学位授与の方針として、専門コースに関わらず選択することが可能である。また、教員免許取得のための教職課程必修科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各講義のはじめに前回のワークシート等の解説を通して内容の振り返りを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

「イラスト栄養学総論」第9版 著者 城田知子/田村明/平戸八千代 東京教学社

■参考文献

「栄養素の通になる」第5版 著者 上西一弘 女子栄養大学出版部

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回授業にて連絡する。調理研究室：第3校舎 3002調理実習室内

■備考

課題やワークシートの作成にChatGPTなどの生成系AIやWikipedia等を用いる場合は事前に必ず教員に確認をすること。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 外川	栄養学への導入：健康と栄養，食生活指針	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
2回 外川	食物と栄養摂取：人と食・栄養の関係性，食物の階層構造	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
3回 外川	食物と栄養摂取：食品成分，エネルギー	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
4回 外川	栄養素の性質とはたらき：炭水化物	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
5回 外川	栄養素の性質とはたらき：たんぱく質	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
6回 外川	栄養素の性質とはたらき：脂質	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
7回 外川	栄養素の性質とはたらき：ビタミン	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
8回 外川	栄養素の性質とはたらき：ビタミン	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
9回 外川	栄養素の性質とはたらき：ミネラル	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
10回 外川	食物と栄養摂取：消化と吸収，代謝	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
11回 外川	食事計画：自分の食事のふりかえり，栄養計算	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
12回 外川	何をどれだけ食べたらよいか：日本人の食事摂取基準，食事バランスガイド	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
13回 外川	何をどれだけ食べたらよいか：日本人の食事摂取基準（各論）	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
14回 外川	何をどれだけ食べたらよいか（対象者特性別）	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
15回 外川	食事計画と献立作成	事前学習：これまでの授業内容を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分

キャリアプランニング

平松 隆司

服飾学科 2年 前期又は後期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

就職活動は単に会社を探し仕事に就くといったことの作業をすることではなく、自分自身と向き合い、社会情勢をきちんと理解し、将来どのようなキャリアを形成していくかについて考え行動することである。短期的視点ではなく、将来にわたって自分の目指すゴールがどこにあるのか、自分がやりたいことは何なのか、そしてどんな人生にしたいのか、長期的に考えていくことがある。且つ必要なことである。キャリアデザインの基本的な考え方や就職活動の流れを理解し、より良い職業選択ができるように学習する。

■到達目標（学修成果）

キャリアプランニングとは何かを知り理解する。
雇用環境の現状を理解し、自己分析を通じて自らのキャリアをデザインする力を身につけることができる。
社会人、卒業生の体験を聞くことを通して将来像を描ける能力を養う。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目の単位となります。全学生の共通必修で、社会人基礎力の向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業課題（レポートなど）については授業内にフィードバックする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

授業で必要とする資料は適宜小冊子やプリント等を配付する。

■参考文献

適宜

■オフィスアワー・研究室

10:00～17:00（水曜日除く）本校舎1階就職部

■備考

この科目では、原則として遅刻は認めません。授業中に次のことはしてはいけません。離席、私語、飲食、メールなど授業に関係のないこと。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 平松	イントロダクション；ノート、アンケート、採点基準、講義概要、ハンドアウト（印刷物）の配付	予習：シラバスを読む	60分
2回 平松	【業界・企業研究の基本】—雇用と労働市場—新卒の雇用と労働市場を理解し社会が求める人材について考える	予習：社会人に求められることについて考える	30分
3回 平松	【業界・企業研究の基本】・業界・企業を研究するための情報収集（デザイナーの仕事）	予習：将来、目指している仕事について考える 復習：産業と職業に関するレポート	30分
4回 平松	【業界・企業研究の基本】・業界・企業を研究するための情報収集（VMDについて）	復習：資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習：次の項目を読む	30分
5回 平松	【業界・企業研究の基本】・業界・企業を研究するための情報収集（ECビジネスの制作現場について）	復習：資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習：次の項目を読む	30分
6回 平松	【業界・企業研究の基本】・業界・企業を研究するための情報収集（スタイリストについて）	復習：資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習：次の項目を読む	30分
7回 平松	【業界・企業研究の基本】・業界・企業を研究するための情報収集（小売業アパレルについて）	復習：資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習：次の項目を読む	30分
8回 平松	【業界・企業研究の基本】・業界・企業を研究するための情報収集（総合アパレルについて）	復習：資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習：次の項目を読む	30分
9回 平松	【業界・企業研究の基本】・業界・企業を研究するための情報収集（新スタイルのビジネスモデルについて）	復習：資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習：次の項目を読む	30分
10回 平松	【業界・企業研究の基本】・業界・企業を研究するための情報収集（縫製工場について）	復習：資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習：次の項目を読む	30分
11回 平松	【業界・企業研究の基本】・新卒人材について考える（各企業の人事部からの説明）	復習：資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習：次の項目を読む	30分
12回 平松	【業界・企業研究の基本】・業界・企業を研究するための情報収集（副資材・付属品について学ぶ）	復習：資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習：次の項目を読む	30分
13回 平松	新卒の雇用と労働市場を理解し、求める人材について考える就職活動の流れについて	復習：資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習：次の項目を読む	30分
14回 平松	新卒の雇用と労働市場を理解し、求める人材について考える就職活動の流れについて	復習：資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習：次の項目を読む	30分
15回 平松	【まとめ】期末試験	14回迄に配付した資料を復習してくる 学んだことを元に就職活動を準備する	30分

心理学 A

手島 陽介

服飾学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

心理学は、人の行動や心を科学的に研究する学問である。本講義では、基礎心理学の分野を中心に、心理学の全体がつかめるような幅広い領域の理論について、概説する。「心」とは何か、「心理学」とはどのような学問か、グループ学習やディスカッションなど体験的な学習を通して、自ら学び、深めていくことを目指していく。また、服飾業界やビジネス場面において心理学知見がどのように活用されているかにも触れていく。

■到達目標（学修成果）

心理学の領域における概念を理解し知識を身につけるとともに、心理学的な見方ができるようになることが到達目標である。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は、教養科目の選択科目で卒業要件科目である。心理学的知見を身につけ、社会人としての教養・基礎力を培う。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

15回目に課題についての解説と小テストの返却をし、心理学Aのまとめをする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

二宮克美ほか 『ベーシック心理学』 医歯薬出版株式会社
その他、進行に合わせてプリントを配布する。

■参考文献

蓮見将敏ほか（編） 『人間関係の心理学』 福村出版
必要に応じて授業時に文献を紹介する。

■オフィスアワー・研究室

前期：水曜日（12：00-15：00）研究室 後期：水曜日（12：00-15：00）研究室
【連絡研究室】心理学研究室（研究棟1階 6015）

■備考

毎時間、プリントと教科書を準備してください

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 手島	心とは何か ・ 心理学の定義と研究分野、意識と無意識の世界	予習：心理学という学問についてのイメージ、何を学びたいかを考えてくる。	30分
2回 手島	心とは何か ・ 心理学の活躍する場、心理学の歴史	復習：プリントを振り返り、日常の心理現象について考える	30分
3回 手島	性格の心理 ・ 個人の性格について、遺伝と環境、性格テスト	復習：パーソナリティテストの結果を見て、自身の現在の状況について振り返る	30分
4回 手島	発達心理 ・ 乳幼児期～児童期までの発達段階と課題・グループディスカッションを通して、発達過程を考える	予習：誕生してから現在までどのような発達経過を辿ってきたのかを考えてくる	30分
5回 手島	発達心理 ・ 青年期以降の発達段階と課題、アイデンティティについて・グループワークを行い自我を考える	復習：エリクソンの発達段階説をもとに現在の自分の課題について考える	30分
6回 手島	動機づけ（やる気・モチベーション）のメカニズム ・ ストレス社会とどう向き合うか、内発的・外発的動機づけ	復習：自身の身の回りのストレスについて考えコーピング方法を検討する	30分
7回 手島	コミュニケーション ・ 人間関係づくり、円滑なコミュニケーションを行うには、非言語的表現と自己表現	復習：非言語的コミュニケーションを意識し他者と会話をしてみる	30分
8回 手島	学習はどのように成立するか、記憶の構造とゆがみについて	復習：本日の資料と教科書を振り返り、学習の心理を復習し理解する。	30分
9回 手島	感情のメカニズム ・ 人間の感情のメカニズムと分類、感情の表出について	予習：ここ最近に感じる感情について、出来事との関連を考えてくる	30分
10回 手島	感情のメカニズム ・ 欲求不満の心理、ストレスとストレスサの関係、自我防衛機制	復習：身の回りのストレスについて考え、コーピングを試してみる	30分
11回 手島	集団心理 ・ 集団の中での行動、社会的促進、リーダーシップについて	復習：集団の心理的現象について振り返り日常の中での影響について考える	30分
12回 手島	色彩の心理学と服飾 -色が人のこころに影響する要因、知覚（視覚）の機能について、色と服飾の関係	復習：インテリアや服など周りの色を観察し、心理的な影響について考察する	30分
13回 手島	自分の強み、自分を知る-日常生活の無意識や認知から自分の強みを発見し表現する、自分とは何者かを考える	復習：授業プリントを振り返り、再度自分の強みについて振り返る	30分
14回 手島	本授業でのまとめ課題と小テスト	予習：配布資料、教科書を読み、復習する。	90分
15回 手島	まとめ 課題や小テストのフィードバックを行う	復習：返却された課題、テストを振り返り、復習する。	60分

心理学 B

手島 陽介

服飾学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

本講義では、「心理学 A」の授業内容をもとに、基礎心理学から応用心理学への展開を概説する。グループ学習やディスカッションを通して体験的に学び、心理学的な知見がどのように社会場面に活かされているのかを学習していく。心理学に親しみながら、知識を身につけるとともに、自己理解、他者理解を深めていく。

■到達目標（学修成果）

本講義を通し、論理的な思考力を養い、さまざまな見方や柔軟な行動ができるようになることを目指していく。また、学習したことを、日常生活や社会場面の中で具体的に活用できるようになることが到達目標である。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は、教養科目の選択科目で卒業要件科目である。心理学的知見を身につけ、社会人としての教養・基礎力を培う。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

15回目に課題についての解説と小テストの返却をし、心理学Bのまとめをする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

二宮克美ほか 『ベーシック心理学』 医歯薬出版株式会社
その他、進行に合わせてプリントを配布する。

■参考文献

蓮見将敏ほか（編）『人間関係の心理学』 福村出版
必要に応じて授業時に文献を紹介する。

■オフィスアワー・研究室

前期：水曜日（12：00-15：00）研究室 後期：水曜日（12：00-15：00）研究室
【連絡研究室】心理学研究室（研究棟1階 6015）

■備考

毎時間、プリントと教科書を準備してください

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 手島	心理学とは何か ・ 対人認知と印象形成、意識と無意識・	予習：身近な心理的な現象について考えてくる	30分
2回 手島	心理学とは何か ・ 対人魅力と人間関係を探る・	復習：プリントを振り返り、対人認知の心理について理解する	30分
3回 手島	影響の心理 ・ 他者からヒトはどのように影響を受けるかを考える・ 交渉や説得について考えるグループワークを行う	習：他者からの影響を受けた経験について振り返り要因を探る	30分
4回 手島	影響の心理 ・ ビジネス場面での影響の心理学を考える、購買の心理学・	復習：実際のCMや広告などでメディアによる心理的影響について考える	30分
5回 手島	知覚の心理 ・ ヒトは世界をどのように認識しているのか、ものが見える仕組み、音楽心理学、感覚器官の不思議・	復習：教科書とプリントより、錯視や幾何学図形を見て知覚を振り返る	30分
6回 手島	知覚の心理 ・ 音と脳の関係、音楽で変わる行動心理、音楽療法の世界・	予習：身の回りの音楽や店舗のBGM、環境音などについて調べてくる	30分
7回 手島	思考の心理 ・ 「考える」とは何か、問題解決能力とは・ グループワークを通して、思考のプロセスを考える	予習：問題を解決した、乗り越えた場面について考えてくる	60分
8回 手島	思考の心理 ・ 創造性と創造的人格、創造性の段階・ グループワークを通して、創造性について考える	復習：創造的な発想のプロセスを復習し、課題に生かしてみる	30分
9回 手島	犯罪の心理 ・ 犯罪の背景、サイコパスとは何か、法と心理学、犯罪者の心理、犯罪被害者の心理・	復習：配布プリントを振り返り、犯罪心理学の定義やデータについて確認する	30分
10回 手島	精神的健康とは ・ ところが健康な状態を考える・	予習：現在の自分の健康状態について考えてくる	30分
11回 手島	心と身体の関係 ・ 認知・感情・行動・身体から心のバランスを考える・	復習：心のモデルに、様々な状況を当てはめて考える	30分
12回 手島	心と身体の関係 ・ 呼吸法とストレス、睡眠などについて・	復習：呼吸について、日常で体験をする	30分
13回 手島	幸福感と人間関係 ・ 世界の文化と幸福感、主観的幸福感の要因・	復習：世界の幸福感についてのデータを振り返る	30分
14回 手島	本授業でのまとめ課題と小テスト	予習：配布資料、教科書を読み、復習する。	90分
15回 手島	まとめ 課題や小テストのフィードバックを行う	復習：返却された課題、テストを振り返り、復習する。	60分

憲法

東島 日出夫

服飾学科 2年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

この科目では、憲法について学ぶことを主としつつ、法学の入門的位置づけともなるよう工夫しながら授業を進めていきます。授業計画に掲げている様々な項目はもとより、近年話題を集めるトピックなどで、憲法学と関連し得る内容について、参考文献や具体的な判例・裁判例などを通じて理解を深められるようにします。関連する条文および解釈に関する知識を身につけつつ、法的な思考が養えることを目的とします。

■到達目標（学修成果）

「憲法」や「法学」というと、堅苦しくて難しいものというようなイメージがあるかも知れませんが、そうした印象を払拭すべく、身近に起きている様々な事件などを素材に、法的にどのように理解したらよいのか、わかりやすく説明します。また、自らも考えることで、能力、資質の向上をも目指し、将来社会人として生活していくうえで、役に立つような法的知識が得られることを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目です。なお、教員免許状取得を目指す人にとっては、教職課程必修科目となります。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

14回目に試験、15回目に試験の解説をします。また、毎回リアクションペーパーの提出を求めますが、そこに書かれた質問等に回答します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

毎回資料を配布します。

■参考文献

・芦部信喜『憲法（第8版）』（岩波書店、2023年）・初宿正典、大沢秀介他『目で見える憲法(第5版)』（有斐閣、2018年）
・渋谷秀樹、赤坂正浩『憲法1 人権(第8版)』（有斐閣、2022年）・『憲法2 統治(第8版)』（有斐閣、2022年）

■オフィスアワー・研究室

連絡先：教務課（本校舎） 出講日：金曜日

■備考

10回以上出席することを必須とします（10回以上の出席がないと試験を受けても不合格となります）。成績評価は、試験の結果を主としますが、授業態度・姿勢、リアクションペーパーの記載内容等も加味します。授業内容の理解を深めるため、授業資料をもとに必ず予習、復習をしてください。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 東島	ガイダンス、法解釈とは何か、憲法論の概説	シラバスの確認、憲法条文の印刷 （電子政府e-Govサイトで無償入手可）	30分
2回 東島	立憲主義、国民主権、平和主義	授業資料の予習と復習	45分
3回 東島	人権論概説、基本的人権、人権享有主体	授業資料の予習と復習	45分
4回 東島	基本的人権の限界	授業資料の予習と復習	45分
5回 東島	生命・自由・幸福追求権	授業資料の予習と復習	45分
6回 東島	法の下の平等	授業資料の予習と復習	45分
7回 東島	経済的自由権	授業資料の予習と復習	45分
8回 東島	精神的自由権 ・ 内心の自由・	授業資料の予習と復習	45分
9回 東島	精神的自由権 ・ 表現の自由・	授業資料の予習と復習	45分
10回 東島	人身の自由 ・ 刑事手続き・	授業資料の予習と復習	45分
11回 東島	人身の自由 ・ 裁判を受ける権利・	授業資料の予習と復習	45分
12回 東島	社会権 ・ 生存権、教育権・	授業資料の予習と復習	45分
13回 東島	社会権 ・ 勤労権、労働基本権・	授業資料の復習	45分
14回 東島	試験	授業資料の復習	90分
15回 東島	試験の解説、補論	試験問題の振り返り	45分

化学 A

野村 直

服飾学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

化学を身近な皮膚や化粧品を主体に学びます。化学は常に生活と共にあり、それを正しく知り、興味を持って利用することは、豊かな生活の助けとなります。加えて、身近な化学を学びながら、物事を科学的な視点で知り、俯瞰し、考える能力を養います。授業担当者の消費財メーカーでの研究開発・事業運営の実体験を活かし、グローバルな観点を含みながら講義します。

■到達目標（学修成果）

皮膚の成り立ちや構造、機能を習得し、化粧品や生活習慣、その他内外的因子の影響と日常の皮膚トラブル発生との関連性を考え、学修し、皮膚を健やかに、そして、美しく保つ方法を習得します。化粧品市場や法規制などについても理解が深まります。また、授業後の皆さんの質問やコメントを共有し解説することで、身近な知識が広がります。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

社会人としての資質、能力を養い、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を滋養する教養科目です。卒業要件の選択科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

フィードバックは授業の中で授業計画に沿って実施する。尚、第2回目レポートと期末試験のフィードバックは添削及び採点終了後、教務課にて返却を以てフィードバックとします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

決まった教科書を定めず、毎回の授業時にプリントを配布します。

■参考文献

「化学ってそういうこと！」日本化学会編（化学同人）、「スキンケアの科学」服部道廣著 裳華房、「ヘアケアってなに？～美しい髪・健康な髪へのアプローチ」花王(株)ヘアケア研究所著 繊維社、他

■オフィスアワー・研究室

金曜日（9時00分～12時30分）本校舎1階教務課

■備考

授業はプロジェクターを使用し、パワーポイントで行いますが、必要に応じてインターネットやDVDも使用します。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 野村	オリエンテーション；授業計画、成績評価基準、科学の歴史と生活の変化、皮膚科学・化粧品科学の概況	予習：シラバスを読む。新聞やその他で最近の科学的話題を読む。自身のトラブル回想。	30分
2回 野村	<皮膚概論1>役割と基本構造、理想の肌とは	予習：自身の皮膚と理想について考える。	30分
3回 野村	<皮膚概論2-1>皮膚の付属器官、皮脂腺・汗腺・爪・毛髪 の役割と構造	予習：自身の皮脂や汗、爪、毛髪について考えておく。	30分
4回 野村	<皮膚概論2-2>皮膚の付属器官、皮脂腺・汗腺・爪・毛髪 の役割と構造	予習：自身の皮脂や汗、爪、毛髪について考えておく。	30分
5回 野村	<皮膚概論3-1>皮膚の性質を変える要因、肌の三大悪	予習：自身の肌トラブルと原因、その対処法を整理しておく。	30分
6回 野村	<皮膚概論3-2>皮膚の性質を変える要因、肌の三大悪	予習：自身の肌トラブルと原因、その対処法を整理しておく。	30分
7回 野村	<皮膚概論4>皮膚の疾患、過脂性と乾燥性、ニキビ・ドライ スキン	予習：自身の肌質やトラブル、原因と対処法を整理しておく。	30分
8回 野村	第1回～第7回のまとめ（課題レポート提出と進捗確認）	予習：第1回～第7回配布資料を振り返り、学習ポイントや自身の考えを整理。	90分
9回 野村	レポートおよび進捗確認のフィードバック	復習：フィードバック内容を再確認。	30分
10回 野村	<皮膚概論5-1>アトピー性皮膚炎とは	復習：配布資料を振り返り、自分や身の回りの人について考え、整理する。	30分
11回 野村	<皮膚概論5-2>アトピー性皮膚炎とは	復習：配布資料を振り返り、自分や身の回りの人について考え、整理する。	30分
12回 野村	<皮膚概論6-1>化学物質と皮膚、刺激性和アレルギー性、 化粧品の安全性	予習：自身のアレルギーや化粧品で困った経験を整理しておく。	30分
13回 野村	<皮膚概論6-2>化学物質と皮膚、刺激性和アレルギー性、 化粧品の安全性	予習：自身のアレルギーや化粧品で困った経験を整理しておく。	30分
14回 野村	<皮膚概論6-3>化学物質と皮膚、刺激性和アレルギー性、 化粧品の安全性	予習：自身のアレルギーや化粧品で困った経験を整理しておく。	30分
15回 野村	第1回～第14回の総まとめ（課題レポート提出）提出物はコ メントを入れ後日返却とし、フィードバックとします。	予習：全配布資料を振り返り、学習ポイントや自身の考えを整理しておく。	90分

化学B

野村 直

服飾学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

化学を身近な皮膚や化粧品を主体に学びます。化学は常に生活と共にあり、それを正しく知り、興味を持って利用することは、豊かな生活の助けとなります。加えて、身近な化学を学びながら、物事を科学的な視点で知り、俯瞰し、考える能力を養います。授業担当者の消費財メーカーでの研究開発・事業運営の実体験を活かし、グローバルな観点を含みながら講義します。加えて、外部専門家による最新の情報を基にした特別実習や講義も予定しています。

■到達目標（学修成果）

皮膚や毛髪の成り立ちや構造、機能を習得し、化粧品や生活習慣、その他内外の因子の影響と皮膚や毛髪のトラブル発生との関連性を考え、学修し、皮膚や毛髪を健やかに、そして、美しく保つ方法を習得します。化粧品市場や法規制などについても理解が深まります。また、授業後の皆さんの質問やコメントを共有し解説することで、身近な知識が広がります。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

社会人としての資質、能力を養い、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を滋養する教養科目であり、卒業要件の選択科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

フィードバックは授業の中で授業計画に沿って実施する。尚、第2回目レポートと期末試験のフィードバックは添削及び採点終了後、教務課にて返却を以てフィードバックとします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

決まった教科書を定めず、毎回の授業時にプリントを配布します。

■参考文献

「化学ってそういうこと！」日本化学会編（化学同人）、「スキンケアの科学」服部道廣著 裳華房、「ヘアケアってなに？～美しい髪・健康な髪へのアプローチ」花王(株)ヘアケア研究所著 繊維社、他

■オフィスアワー・研究室

金曜日（9時00分～12時30分）本校舎1階教務課

■備考

授業はプロジェクターを使用し、パワーポイントで行いますが、必要に応じてインターネットやDVDも使用します

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 野村	オリエンテーション；授業計画、成績評価基準、科学の歴史と生活の変化、皮膚科学・化粧品科学の概況	予習：シラバスを読む。新聞やその他で最近の科学的話題を読む。	30分
2回 野村	<皮膚総論> 皮膚と付属器官の役割と基本構造	予習：自身の皮膚について考えておく。	30分
3回 野村	<皮膚総論> 皮膚トラブル	予習：自身の肌トラブルと原因、その対処法を整理しておく。	30分
4回 野村	<毛髪概論 - 1> 毛髪の役割と基本構造、基本物性	予習：自身の毛髪やトラブル、原因、対処法を整理しておく。	30分
5回 野村	<毛髪概論 - 2> 毛髪の役割と基本構造、基本物性	予習：自身の毛髪やトラブル、原因、対処法を整理しておく。	30分
6回 野村	<毛髪概論 - 1> 毛髪の損傷と構造変化	予習：前回授業のポイント、および、自身の髪トラブルを整理しておく。	30分
7回 野村	<毛髪概論 - 2> 毛髪の損傷と構造変化	予習：前回授業のポイント、および、自身の髪トラブルを整理しておく。	30分
8回 野村	第1回～第7回のまとめ（課題レポート提出と進捗確認）	予習：第1回～第7回配布資料の学習ポイントや自身の考えを整理。	90分
9回 野村	レポートおよび進捗確認のフィードバック。	復習：フィードバック内容を再確認。	30分
10回 野村	<毛髪概論 - 1> ヘアカラー	予習：自身もしくは周りの人のヘアカラーした髪を観察しておく。	30分
11回 野村	<毛髪概論 - 2> パーマネントウェーブとくせ毛矯正	予習：自身もしくは周りの人のパーマやくせ毛矯正した髪を観察しておく。	30分
12回 野村	<毛髪概論 - 2> パーマネントウェーブとくせ毛矯正	予習：自身のスタイリングの問題点を整理しておく。	30分
13回 野村	<化粧品の基本組成> 界面活性剤	予習：自分の化粧品のパッケージ表・裏を観察しておく	30分
14回 野村	<化粧品の基本組成> 香り	化粧品や生活の中のニオイについて考えておく。	30分
15回 野村	第1回～第14回の総まとめ（課題レポート提出）提出物はコメントを入れ後日返却とし、フィードバックとします。	予習：全配布資料を振り返り、学習ポイントや自身の考えを整理しておく。	90分

体育 B

水上 雅子

服飾学科 2年 後期 選択 (1単位 演習)

■授業の方針・概要

スポーツも日常の生活も、全て身体活動です。しかし、現在の私たちは“からだ”に対して興味が無く、自分の“からだ”なの
に借り物のようです。“からだ”を意識し、どう付き合うのかを学習することは大切です。なぜなら、自分の“からだ”こそ個性
であり、身体活動こそ自己を表現する基本だと思うからです。一流のスポーツ選手のパフォーマンスに感動を覚えたことはありませんか。
他人の何気ない振る舞いに美しさを感じたことはありませんか。自分の身体活動にも、自然な美しさや自分らしさが表現
できたら楽しいと思いませんか。アダプテッドスポーツ、ニュースポーツを経験し、スポーツでの共生を学習します。

■到達目標（学修成果）

授業では、スポーツを通して自己の表現を探し、自分らしさを発見することができます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の社会人としての豊かな人間性を涵養することをめざす教養科目の単位です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

manabaを使用し、授業内の個人の記録や課題を提出してもらい、コメント・評価を返す。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

必要に応じて資料を配布する。

■参考文献

随時紹介 経験する種目のルール集 『はたらく細胞』（清水茜 講談社）

■オフィスアワー・研究室

初回授業で伝える 【研究室】 体育研究室（研究棟2階 6024 ）

■備考

基本運動：毎回縄跳び（ダブルタッチなど）・腹筋・背筋—体力維持、ストレッチなど、身体活動の生活化

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 水上	授業のイメージづくり manaba提出方法、到達目標、自己目標の明確化、一人、ペア、グループで動き自分を知る	シラバスを読んでくる。自分の体の動きをまとめる。基本運動を3日以上実践する。	40分
2回 水上	バドミントン 基本技術の習得 ドライブ・サーブ	シャトルとボールの違いをレポートにまとめる。基本運動を3日以上実践する。	30分
3回 水上	バドミントン 基本技術の習得 ハイクリア ダブルスゲーム	ダブルスのルールを調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
4回 水上	バドミントン 基本技術の習得 ドロップ・ヘアピン シングルスゲーム	シングルスとダブルスのルールの確認。基本運動を3日以上実践する。	60分
5回 水上	バドミントン 応用技術の習得 正式なルールでのゲーム（ダブルス）	基本技術の確認 基本運動を3日以上実践する。	60分
6回 水上	バドミントン 応用技術の習得 正式なルールでのゲーム（グループ）	バドミントンについてレポートにまとめる。基本運動を3日以上実践する。	60分
7回 水上	アダプテッドスポーツ 障害者も健常者も共に楽しめるスポーツを実践してみる。	アダプテッドスポーツを調べる。基本運動を3日以上実践する。	60分
8回 水上	『動きの表現・写真』 グループで動きの感じられる作品づくり（課題）	作品の構想を考えてくる。基本運動を3日以上実践する。	30分
9回 水上	卓球 基本技術の取得 シングル練習	シングルのルールを調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
10回 水上	卓球 基本技術の習得 ダブルス練習	ダブルスのルールを調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
11回 水上	卓球 応用技術の習得 正式なルールでのゲーム（チーム戦）	ルールと動きの確認をし、レポートにまとめる。基本運動を3日以上実践する。	30分
12回 水上	卓球 応用技術の習得 正式なルールでのゲーム（チーム戦）	卓球についてレポートにまとめる。基本運動を3日以上実践する。	60分
13回 水上	アダプテッドスポーツ 障害者も健常者も共に楽しめるスポーツを実践してみる。	アダプテッドスポーツを調べる。基本運動を3日以上実践する。	60分
14回 水上	アダプテッドスポーツ 障害者も健常者も共に楽しめるスポーツを実践してみる。	アダプテッドスポーツを調べる。基本運動を3日以上実践する。	60分
15回 水上	正式ルールでゲームを行う。 各クラスで種目を選択し、実践する。	後期に学んだことを到達目標と比較して振り返りレポートにまとめる。	30分

英語（総合）A

服部 美香

服飾学科 2年 前期 選択（2単位 講義）

■授業の方針・概要

英語（総合）Aの授業では、リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングの4つのスキルを伸ばしていくことを目的とし、さまざまなトピックについて英語で学びます。授業内では、基礎文法の復習に加え、発音についても知識を深め、英語を使うための力を身につけていきます。また個々の活動に加え、ペアワークやグループワーク、プレゼンテーションを通して自分の興味関心について表現する力を養います。

■到達目標（学修成果）

日常生活においてコミュニケーションで用いられる語彙や表現を知り、場面に応じて使い分けることができるようになる。必要な情報を英語で正確に聞き取り、その内容が理解ができるようになる。自分の意見を適切に表現することができるようになる。以上の3点が到達目標です。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としての英語（総合）Aは、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することを目指しています。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内での解説、必要に応じて“Campus Magic”を活用します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

TARGET! elementary（金星堂）

■参考文献

必要に応じて提示します。

■オフィスアワー・研究室

【出講日】水曜日

【連絡先】本校舎1階教務課

■備考

すべての英語レベルの学生が履修可能です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 服部	イントロダクション、授業の説明	シラバスを読む。	30分
2回 服部	【Unit 1 In Your Free Time】 基本的な数字の聞き取り / be動詞と一般動詞	【復習】be動詞と一般動詞の復習	30分
3回 服部	【Unit 2 Communication Skills】 時間・日付・年号の聞き取り / 代名詞	【復習】代名詞の復習	30分
4回 服部	【Unit 3 World Languages and Cultures】 聞き分けにくい音の聞き取り / 否定文	【復習】否定文の復習	30分
5回 服部	ミニプレゼンテーション	【予習】ミニプレゼンテーション 準備	30分
6回 服部	【Unit 4 Healthy Body, Healthy Mind】 カタカナ語とのギャップ / 疑問文の基本	【復習】疑問文の復習	30分
7回 服部	【Unit 5 Careers Nowadays】 短縮形の聞き取り / 過去形の基本	【復習】過去形の復習	30分
8回 服部	【Unit 6 Fashion Trends】 つながる音 / 進行形の基本	【復習】進行形の復習	30分
9回 服部	ミニプレゼンテーション	【予習】ミニプレゼンテーション の準備	30分
10回 服部	【Unit 7 Planning a Trip Abroad】 消える音 / 未来を表す表現	【復習】未来形の復習	30分
11回 服部	【Unit 8 Are you into Sports?】 イントネーション / 現在完了	【復習】現在完了形の復習	30分
12回 服部	まとめテスト・前期末プレゼンテーションの準備について	【予習・復習】 テスト・プレゼンテーション準備	30分
13回 服部	まとめテスト・前期末プレゼンテーション	【予習】テスト・プレゼンテーション準備	30分
14回 服部	まとめテスト・前期末プレゼンテーション	【予習】テスト・プレゼンテーション準備	30分
15回 服部	まとめ、フィードバック	【復習】まとめ	30分

英語（総合）B

服部 美香

服飾学科 2年 後期 選択 （2単位 講義）

■授業の方針・概要

前期英語（総合）Aに引き続き、リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングの4つのスキルを伸ばしていくことを目的とし、さまざまなトピックについて英語で学びます。授業内では、基礎文法の復習に加え、発音についても知識を深め、英語を使うための力を身につけていきます。また個々の活動に加え、ペアワークやグループワーク、プレゼンテーションを通して自分の興味関心について表現する力を養います。

■到達目標（学修成果）

日常生活においてコミュニケーションで用いられる語彙や表現を知り、場面に応じて使い分けることができるようになる。必要な情報を英語で正確に聞き取り、その内容が理解ができるようになる。自分の意見を適切に表現することができるようになる。以上の3点が到達目標です。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としての英語（総合）Bは、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することを目指しています。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内での解説、また適宜“Campus Magic”を活用します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

TARGET! elementary (金星堂)

■参考文献

必要に応じて提示します。

■オフィスアワー・研究室

【出講日】水曜日

【連絡先】本校舎1階教務課

■備考

すべての英語レベルの学生が履修可能です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 服部	イントロダクション、授業の説明	シラバスを読む。	30分
2回 服部	【Unit 1～8】 発音の基礎 / 時を表す肯定文・否定文	【復習】時を表す肯定文・否定文の復習	30分
3回 服部	【Unit 9 Parties Are a Lot of Fun!】 写真の絵を見ながらの聞き取り / 助動詞の基本	【復習】助動詞の復習	30分
4回 服部	ミニプレゼンテーション	【予習】ミニプレゼンテーション 準備	30分
5回 服部	【Unit 10 Art in Our Life】 挨拶文の聞き取り / 動名詞の基本	【復習】動名詞の復習	30分
6回 服部	【Unit 11 What Shall We Eat?】 誘う時の表現 / 不定詞	【復習】不定詞 の復習	30分
7回 服部	【Unit 12 What Makes a Good Company?】 依頼する時の表現 / 不定詞	【復習】不定詞 の復習	30分
8回 服部	ミニプレゼンテーション	【予習】ミニプレゼンテーション の準備	30分
9回 服部	【Unit 13 Advances in Science】 Yes / No疑問文とその答え方 / 受動態の基本	【復習】受動態の復習	30分
10回 服部	【Unit 14 Life with Technology】 Wh-疑問文とその答え方 / 前置詞の基本	【復習】前置詞の復習	30分
11回 服部	【Unit 15 Eco-Friendly Life】 付加疑問文の聞き取り / 接続詞の基本	【復習】接続詞の復習	30分
12回 服部	まとめテスト・後期末プレゼンテーションの準備について	【予習・復習】 テスト・プレゼンテーション準備	30分
13回 服部	まとめテスト・後期末プレゼンテーション	【予習】テスト・プレゼンテーション準備	30分
14回 服部	まとめテスト・後期末プレゼンテーション	【予習】テスト・プレゼンテーション準備	30分
15回 服部	まとめ、フィードバック	【復習】まとめ	30分

ワールド・カルチャー A

服部 美香

服飾学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

各国について一般的な知識を深めるとともに、その国で話されている言語や英語に目を向けることで、英語がいわゆる英語圏のものだけではなく、それぞれの国の言語文化背景が反映されたものであることを理解していきます。テキストはすべて英語になっていますが、グループプレゼンテーションやディスカッションなどを通して、他の学生とコミュニケーションを取りながら理解を深めることができます。また、本文の読解や動画の視聴などは主にリスニングとリーディングのスキルを高めることが期待できます。

■到達目標（学修成果）

諸外国の社会文化事情及びその国で話されている「英語」やその他の言語について理解できるようになる。また英語のポキャブラリー、リスニング、ライティング、リーディングの継続的なスキルアップをする。以上の2点が到達目標です。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としてのワールド・カルチャーAは国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回"Campus Magic"上で提出してもらリアクションペーパーは、授業内でフィードバックを行い、出来栄によってクラスで共有します。その他についても、授業内で解説を行い必要に応じて"Campus Magic"を活用します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

Scott Berlin、小林めぐみ 著 World Adventures（金星堂）

■参考文献

必要に応じて提示します。

■オフィスアワー・研究室

【出講日】水曜日

【連絡先】本校舎1階教務課

■備考

「ワールド・カルチャーA」と「ワールド・カルチャーB」は授業の概要・目的はほぼ同じですが、扱うトピック（国）が異なります。初回授業内にて、グループプレゼンテーションのためのグループ分けを予定しています。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 服部	イントロダクション、授業の説明、グループ分け	シラバスを読む	30分
2回 服部	Chapter 1 INDIA	【予習】 Chapter 1を読む	30分
3回 服部	Chapter 1 INDIA	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
4回 服部	Chapter 2 PHILIPPINES	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 2を読む	30分
5回 服部	Chapter 2 PHILIPPINES	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
6回 服部	Chapter 3 THAILAND	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 3を読む	30分
7回 服部	Chapter 3 THAILAND	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
8回 服部	Chapter 4 VIETNAM	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 4を読む	30分
9回 服部	Chapter 4 VIETNAM	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
10回 服部	Chapter 5 KOREA	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 5を読む	30分
11回 服部	Chapter 5 KOREA	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
12回 服部	Chapter 6 FRANCE	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 6を読む	30分
13回 服部	Chapter 6 FRANCE	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
14回 服部	前期末まとめテスト	【予習】 テスト準備	90分
15回 服部	まとめ、フィードバック	【復習】 総復習	30分

ワールド・カルチャー B

服部 美香

服飾学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

前期「ワールド・カルチャーA」に引き続き、各国について一般的な知識を深めるとともに、その国で話されている言語や英語に目を向けることで、英語がいわゆる英語圏のものだけではなく、それぞれの国の言語文化背景が反映されたものであることを理解していきます。テキストはすべて英語になっていますが、グループプレゼンテーションやディスカッションなどを通して、他の学生とコミュニケーションを取りながら理解を深めることができます。また、本文の読解や動画の視聴などは主にリスニングとリーディングのスキルを高めることが期待できます。

■到達目標（学修成果）

諸外国の社会文化事情及びその国で話されている「英語」やその他の言語について理解できるようになる。また英語のポキャブラリー、リスニング、ライティング、リーディングの継続的なスキルアップをする。以上の2点が到達目標です。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としてのワールド・カルチャーBは国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回"Campus Magic"上で提出してもらリアクションペーパーは、授業内でフィードバックを行い、出来栄によってクラスで共有します。その他についても、授業内で解説を行い必要に応じて"Campus Magic"を活用します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

Scott Berlin、小林めぐみ 著 World Adventures（金星堂）

■参考文献

必要に応じて提示します。

■オフィスアワー・研究室

【出講日】水曜日

【連絡先】本校舎1階教務課

■備考

「ワールド・カルチャーA」と「ワールド・カルチャーB」は授業の概要・目的はほぼ同じですが、扱うトピック（国）が異なります。初回授業内にて、グループプレゼンテーションのためのグループ分けを予定しています。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 服部	イントロダクション、授業の説明、グループ分け	シラバスを読む	30分
2回 服部	Chapter 7 ITALY	【予習】 Chapter 7を読む	30分
3回 服部	Chapter 7 ITALY	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
4回 服部	Chapter 8 DENMARK	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 8を読む	30分
5回 服部	Chapter 8 DENMARK	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
6回 服部	Chapter 9 PORTUGAL	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 9を読む	30分
7回 服部	Chapter 9 PORTUGAL	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
8回 服部	Chapter 10 TURKEY	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 10を読む	30分
9回 服部	Chapter 10 TURKEY	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
10回 服部	Chapter 11 EGYPT	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 11を読む	30分
11回 服部	Chapter 11 EGYPT	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
12回 服部	Chapter 12 SOUTH AFRICA	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 12を読む	30分
13回 服部	Chapter 12 SOUTH AFRICA	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
14回 服部	後期末まとめテスト	【予習】 テスト準備	90分
15回 服部	まとめ、フィードバック	【復習】 総復習	30分

実用英語 A

北澤 茉奈、Kim Collins 園子

服飾学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

日常会話や仕事の場面での英語でのコミュニケーション方法を学びます。

■到達目標（学修成果）

本授業を履修することにより、食事の注文、道案内、アドバイス、様々なトピックについての会話、プレゼンテーションなど、日常的な場面で英語でのコミュニケーションができるようになります。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養（国際関係）選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としての実用英語 A は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

小テストや課題は次回の授業で返却・解説します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

特になし

■オフィスアワー・研究室

【研究室】英語研究室（研究棟3階）
【出講日】金曜日（英語研究室に連絡してください。）

■備考

ハンドアウトはA4のファイルに綴じてください。期末に確認します。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 北澤他	イントロダクション	【予習】シラバスを読む	30分
2回 北澤他	インテリア- 単数/複数、前置詞	【復習】クラスルーム・イングリッシュクイズ	30分
3回 北澤他	地図 - 道を教える、尋ねる	【復習】ジャーナル準備	30分
4回 北澤他	ジャーナル（あらゆるテーマでのライティングやスピーキング）	【復習】ジャーナル	30分
5回 北澤他	食べ物 - 料理の注文	【復習】フレーズワークシート	30分
6回 北澤他	レストランの話	【復習】クイズ	30分
7回 北澤他	プレゼンテーションスキルと準備	【復習】スピーキングテスト準備	60分
8回 北澤他	中間発表テスト	【予習】テスト	30分
9回 北澤他	日常生活 - スケジュール	【復習】ジャーナル準備	30分
10回 北澤他	ジャーナル（あらゆるテーマでのライティングやスピーキング）	【復習】ジャーナル	30分
11回 北澤他	ショッピング - 比べる	【復習】フレーズワークシート	30分
12回 北澤他	プレゼンテーションスキルと準備	【復習】クイズ	30分
13回 北澤他	最終テストのプレゼンテーション準備	【復習】スピーキングテスト準備	60分
14回 北澤他	最終テストのプレゼンテーション	【復習】テスト	30分
15回 北澤他	最終テストのプレゼンテーションフィードバック	【復習】テストの復習	30分

実用英語 B

北澤 茉奈、Kim Collins 園子

服飾学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

日常会話や仕事の場面での英語でのコミュニケーション方法を学びます。

■到達目標（学修成果）

本授業を履修することにより、映画やお祭り、伝統について話したり、さまざまなトピックについて話したり、プレゼンテーションを行ったりするなど、日常的な場面で英語でコミュニケーションをとることができるようになります。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養（国際関係）選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としての実用英語Bは、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

小テストや課題は次回の授業で返却・解説します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

【研究室】英語研究室（研究棟3階）
【出講日】金曜日（英語研究室に連絡してください。）

■備考

ハンドアウト、テスト、プレゼンの準備はA4のファイルに綴じてください。期末に確認します。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 各自	コース紹介と夏休みについての会話	【予習】シラバスを読む 【復習】ワークシート	30分
2回 各自	夏休みについてショー・アンド・テル	【復習】夏休みについてのレポート	30分
3回 各自	好み 好き嫌い - 提案	【復習】ジャーナル準備	30分
4回 各自	ジャーナル（あらゆるテーマでのライティングやスピーキング）	【復習】ジャーナル	30分
5回 各自	Moviesムービーpt1	【復習】ワークシート	30分
6回 各自	Moviesムービーpt 2	【復習】クイズ	60分
7回 各自	プレゼンテーションスキルと準備	【復習】中間テストに向けて復習	30分
8回 各自	中間発表テスト	【復習】中間テスト復習	30分
9回 各自	マインドマップ	【復習】ワークシート	30分
10回 各自	祭りと伝統	【復習】ジャーナル準備	30分
11回 各自	ジャーナル（あらゆるテーマでのライティングやスピーキング）	【復習】ジャーナル	30分
12回 各自	祭りと伝統	【復習】クイズ	30分
13回 各自	プレゼンテーションスキルと準備	【復習】プレゼンテーション準備	60分
14回 各自	最終プレゼンテーション	【予習】プレゼンテーション	30分
15回 各自	フィードバック	まとめ	30分

ファッション英語 A

北澤 茉奈

服飾学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

ファッションに関する英語語彙・表現の習得、英文記事の内容を速く正確に理解する力を身につけファッション業界の最新事情に精通することを目指します。ネットニュースなど最新のファッション関連記事を扱い、語学としての英語と、服飾関連の知識の両方にフォーカスします。毎回の授業では、記事の内容把握に関する問題に取り組んでもらいます。また、ファッションに関連する動画を視聴しリスニングの練習も行います。

■到達目標（学修成果）

英語で書かれた記事の内容を理解し自分の言葉で説明できるようになる。映像と関連させながら聞こえてくる英語の内容を理解できるようになる。以上を目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としてのファッション英語 A は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。さらに、語学と専門の内容とを関連させ、服飾業界で活躍できる専門力向上の一助となることをめざしています。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

クイズの解答はその場で提出してもらいます。解答は皆で共有し授業内でフィードバックを行います。まとめのテストは採点します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

プリントを配布します。

■参考文献

必要に応じて指示します。

■オフィスアワー・研究室

英語研究室（研究棟3階6034）第1回目の授業で提示します。

■備考

テキストは、プリントを用意します。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 北澤	イントロダクション 課題の詳細説明	予習：シラバスを読む。授業内容について確認する。	30分
2回 北澤	服飾関連記事の読解（1）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
3回 北澤	服飾関連記事の読解（2）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
4回 北澤	服飾関連記事の読解（3）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
5回 北澤	服飾関連記事の読解（4）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
6回 北澤	服飾関連記事の読解（5）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
7回 北澤	服飾関連記事の読解（6）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
8回 北澤	服飾関連記事の読解（7）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
9回 北澤	服飾関連記事の読解（8）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
10回 北澤	服飾関連記事の読解（9）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
11回 北澤	服飾関連記事の読解（10）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
12回 北澤	服飾関連記事の読解（11）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
13回 北澤	服飾関連記事の読解（12）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
14回 北澤	まとめ	予習：これまでの授業内容を振り返る	60分
15回 北澤	講評	復習：これまでの授業内容を振り返る	50分

ファッション英語 B

北澤 茉奈

服飾学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

ファッションに関する英語語彙・表現の習得、英文記事の内容を速く正確に理解する力を身につけファッション業界の最新事情に精通することを目指します。ネットニュースなど最新のファッション関連記事を扱い、語学としての英語と、服飾関連の知識の両方にフォーカスします。毎回の授業では、記事の内容把握に関する問題に取り組んでもらいます。また、ファッションに関連する動画を視聴しリスニングの練習も行います。

■到達目標（学修成果）

英語で書かれた記事の内容を理解し自分の言葉で説明できるようになる。映像と関連させながら聞こえてくる英語の内容を理解できるようになる。以上を目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としてのファッション英語 B は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。さらに、語学と専門の内容とを関連させ、服飾業界で活躍できる専門力向上の一助となることをめざしています。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

クイズの解答はその場で提出してもらいます。解答は皆で共有し授業内でフィードバックを行います。まとめのテストは採点します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

プリントを配布します。

■参考文献

必要に応じて指示します。

■オフィスアワー・研究室

英語研究室（研究棟3階6034）第1回目の授業で提示します。

■備考

テキストは、プリントを用意します。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 北澤	イントロダクション 課題の詳細説明	予習：シラバスを読む。授業内容について確認する。	30分
2回 北澤	服飾関連記事の読解（1）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
3回 北澤	服飾関連記事の読解（2）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
4回 北澤	服飾関連記事の読解（3）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
5回 北澤	服飾関連記事の読解（4）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
6回 北澤	服飾関連記事の読解（5）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
7回 北澤	服飾関連記事の読解（6）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
8回 北澤	服飾関連記事の読解（7）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
9回 北澤	服飾関連記事の読解（8）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
10回 北澤	服飾関連記事の読解（9）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
11回 北澤	服飾関連記事の読解（10）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
12回 北澤	服飾関連記事の読解（11）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
13回 北澤	服飾関連記事の読解（12）関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習：クイズの準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
14回 北澤	まとめ	予習：これまでの授業内容を振り返る	60分
15回 北澤	講評	復習：これまでの授業内容を振り返る	50分

フランス語（総合）A

福本 しのぶ

服飾学科 2年 前期 選択（2単位 講義）

■授業の方針・概要

フランス語の歴史を追いながら、フランス文化を学び、フランスのエスプリを感じ、フランス語の楽しさを実感できます。フランス語未習者も選択可能です。フランス生まれ育ちの授業担当者による経験を活かし、生きたフランス語を学びましょう。

■到達目標（学修成果）

フランス語への抵抗感をなくし、日常会話、ファッション関連のフランス語を身につけ、基本的な文章の理解・作成ができ、Web辞書、Web翻訳を使いながら、フランス語サイトなど検索できるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目として卒業要件となります。服飾業界で活躍するための資質・能力を養い、広く深い教養と総合的判断力を培うことを目指しています。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業開始時に、前回内容の復習/理解の確認を行い、最後にレポート提出か発表をしてもらう。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

随時コピー配布。
仏和辞書、フランス語教科書等お持ちの方は持参してください。

■参考文献

大学図書館に豊富に備えられているフランス語の書籍やDVD

■オフィスアワー・研究室

木曜日（12：20～12：50）第3校舎講師控室

■備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもある。
希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受験希望者対象に随時補習を行う。
言語は話さないと上達しませんので、積極的に声をだしてください。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 1	フランスを知る フランスと日本の関わり合い 基本のあいさつ	復習：講義メモ整理	30分
2回 2	フランス語の歴史 発音の決まり	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	フランス語基礎会話	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
4回 4	フランスの今	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
5回 5	フランスの生活	復習：講義メモ整理	30分
6回 6	フランス映画を見る	復習：映画の概要資料を見る	30分
7回 7	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す	30分
8回 8	映画についてディスカッション	復習：見た映画を思い出す 予習：フランスらしさ、とは何か。	30分
9回 9	フランスの生活	復習：講義メモ整理	30分
10回 10	フランス語基礎会話	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
11回 11	フランスの文化	復習：講義メモ整理	30分
12回 12	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す	30分
13回 13	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す	30分
14回 14	映画についてディスカッション	復習：見た映画を思い出す 予習：フランスらしさ、とは何か。	30分
15回 15	まとめ	復習：講義メモ整理	30分

フランス語（総合）B

福本 しのぶ

服飾学科 2年 後期 選択（2単位 講義）

■授業の方針・概要

映像などを見ながら、フランスの歴史、フランス文化、芸術、社会背景に触れ、フランス語の楽しさを実感できます。フランス語の「聞く」「話す」「読む」「書く」を身につけ、最後には発表できるようにします。フランス語未習者も選択可能です。フランス生まれ育ちの授業担当者による経験を活かし、生きたフランス語を学びましょう。

■到達目標（学修成果）

フランス語への抵抗感をなくし、日常会話、ファッション関連のフランス語を身につけ、基本的な文章の理解・作成ができ、Web辞書、Web翻訳を使いながら、フランス語サイトなど検索できるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目として卒業要件となります。服飾業界で活躍するための資質・能力を養い、広く深い教養と総合的判断力を培うことを目指しています。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業開始時に、前回内容の復習/理解の確認を行い、最後にレポート提出か発表をしてもらう。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

随時コピー配布。
仏和辞書、フランス語教科書等お持ちの方は持参してください。

■参考文献

大学図書館に豊富に備えられているフランス語の書籍やDVD

■オフィスアワー・研究室

木曜日（12：20～12：50）第3校舎講師控室

■備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもある。
希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受験希望者対象に随時補習を行う。
言語は話さないと上達しませんので、積極的に声をだしてください。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 1	発音の決まり / 基本のあいさつ	復習：講義メモ整理	30分
2回 2	発音の決まり	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	フランスの芸術	復習：講義メモ整理	30分
4回 4	発音の決まり 基本単語	復習：講義メモ整理	30分
5回 5	フランスの過去	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
6回 6	フランスの現在	復習：講義メモ整理	30分
7回 7	フランス映画を見る	復習：講義メモ整理	30分
8回 8	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す 予習：映画の中のフランスらしさ、とは何か。	30分
9回 9	映画についてディスカッション	復習：見た映画を思い出す	30分
10回 10	映画のセリフを考える	復習：見た映画を思い出す	30分
11回 11	フランスの芸術	復習：講義メモ整理	30分
12回 12	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す	30分
13回 13	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す	30分
14回 14	映画についてディスカッション	復習：見た映画を思い出す	30分
15回 15	まとめ	復習：講義メモ整理	30分

ファッションフランス語 A

福本 しのぶ

服飾学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

フランス語の初級文法、簡単な会話を学びながら、基本的なファッション用語を身につける。映像などを見ながら、フランス・ファッション、文化に触れ、「聞く」「話す」「読む」「書く」を身につけ、最後には発表できるようにします。フランス生まれ育ちの授業担当者による経験を活かし、一步フランス人に近づきましょう。

■到達目標（学修成果）

フランス旅行する時、フランスでアトリエ現場研修する時などに役立つ表現を覚え使えるようになり、基本的なファッション用語が聞き取れるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目として卒業要件となります。現在フランスや日本で使用されている服飾用語を分析、つなぎ合わせていくと、服飾文化の源流の一つに辿り着き、大局的に服飾文化を見直す糸口が見つかる。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

随時コピー配布。
仏和辞書、フランス語教科書をお持ちの方は持参してください。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

教科書なし。毎回講義メモ配布。
仏和辞書、フランス語教科書をお持ちの方は持参してください。仏和辞典を購入希望の場合は要相談。

■参考文献

大学図書館に豊富にあるフランス語の書籍・DVDやフランス語サイト。

■オフィスアワー・研究室

木曜日（12：20～12：50）第3校舎講師控室

■備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもある。
希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受験希望者対象に随時補習を行う。
言語は話さないと上達しませんので、積極的に声をだしてください。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 1	フランスを知る 日本との違い 基本的なあいさつ	予習：シラパスを読む	30分
2回 2	アルファベ・筆記体・発音の決まり・つづり字	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	衣服の名称 発音練習	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
4回 4	数字（0～100） ものの大きさ サイズ表現	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
5回 5	フランス人が好きなファッション（ビデオ） 発音練習	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
6回 6	衣服の名称 発音練習	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
7回 7	シャネル（ラガーフェルド）	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
8回 8	シャネル（ラガーフェルド）	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
9回 9	ディスカッション 言葉と発音	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
10回 10	色、フランス独自の色 名詞（男・女）	復習：資料を読む	30分
11回 11	大学図書館のフランス語資料 ファッション用語探し	復習：資料を読む	30分
12回 12	生地素材、柄 発音練習	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
13回 13	映画	復習：資料まとめ	30分
14回 14	映画	復習：資料まとめ	30分
15回 15	まとめ	復習：資料のファイリング	30分

ファッションフランス語 B

福本 しのぶ

服飾学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

映像などを見ながら、フランス・ファッション、フランス文化、芸術、社会背景に触れ、フランスのファッションの在り方を見ていきます。映像、資料を見ながら解説をし、次の授業では語彙の説明、発音をし、理解を深めていきます。フランス語の「聞く」「話す」「読む」「書く」を身につけ、最後には発表できるようにします。

■到達目標（学修成果）

フランス旅行する時、フランスでアトリエ現場研修する時などに役立つ表現を覚え使えるようになり、基本的なファッション用語が聞き取れるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目として卒業要件となります。現在フランスや日本で使用されている服飾用語を分析、つなぎ合わせていくと、服飾文化の源流の一つに辿り着き、大局的に服飾文化を見直す糸口が見つかる。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

最後にフランス人デザイナーに関するレポートを提出。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

教科書なし。毎回講義メモ配布。

仏和辞書、フランス語教科書等お持ちの方は持参してください。仏和辞典を購入希望の場合は要相談。

■参考文献

大学図書館に豊富にあるフランス語の書籍・DVDやフランス語サイト。

■オフィスアワー・研究室

木曜日（12：20～12：50）第3校舎講師控室

■備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもある。

希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受検希望者対象に随時補習を行う。

言語は話さないと上達しませんので、積極的に声をだしてください。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 1	ファッションフランス語A 簡単な復習 基本的な挨拶 発音の決まり	予習：シラバスを読む	30分
2回 2	最終レポートについて 発音の練習 フランス語の単語	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	フランスのファッションの多様性 FASHION MIX	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
4回 4	イヴ・サンローラン映画	復習：映画を思い出す	30分
5回 5	イヴ・サンローラン映画	復習：映画を思い出す	30分
6回 6	映画に使われていた言葉 映画についてのディスカッション	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
7回 7	あなたにとってのファッションとは？ パリコレの真相	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
8回 8	モードとフランス フランス文化庁の関わり合い グループディスカッション	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
9回 9	大学図書館にてレポートの資料あつめ	復習：レポート資料整理	30分
10回 10	ピエール・カルダン・ドキュメンタリー	復習：資料を読む	30分
11回 11	ピエール・カルダン・ドキュメンタリー	復習：資料を読む	30分
12回 12	フランスのファッション学校	復習：講義メモ整理	30分
13回 13	レポート仕上げ	復習：資料のまとめ 予習：プレゼンテーションまとめ	30分
14回 14	レポート発表	復習：資料のまとめ 予習：プレゼンテーションまとめ	30分
15回 15	レポート発表 まとめ	復習：資料のまとめ	30分

中国語（総合）A

盧 繁華

服飾学科 2年 前期 選択 （2単位 講義）

■授業の方針・概要

一年生の総合との内容をレベルアップした中国語文の構築や品詞の働きなどを充実させる。特殊な文法文型を深めながら中国語作文を自由に活用できるように授業を進める。

■到達目標（学修成果）

中国語の聞く、話す、書く、読む総合力を高めることを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語(総合)A】は教養科目の一般選択科目であるが卒業認定総単位数に含まれている。将来の社会人として持つべき豊かな言語表現力を磨く必要な科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業内と授業外で完成した平常小テストを学期末に返して総合まとめとセルフチェックをする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

『2冊めの中国語・購読クラス 改訂版』 劉穎 等 著（白水社）

■参考文献

学校附属図書館にある週刊新聞『中文導報』、中華圏ネットニュースやTVドラマを利用する。

■オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	中国語の構文論、単文の復習	復習：所定1年めの既習文型文法の練習問題	35分
2回 盧	1.主述文、2.特殊な動詞述語文、3.「是」の構文、4.比較文	予習：第1課「自我介绍」の読解文	35分
3回 盧	中国語の構文論、複文	復習：第1課のポイントまとめ、ペーパー練習	45分
4回 盧	1.等位複文、2.偏正複文、3.多重複文	予習：第2課「我的家庭」の読解文	35分
5回 盧	等位複文の類型：並列表現文、選択表現文、累加表現文	復習：第2課のポイントまとめ、ペーパー練習	45分
6回 盧	偏正複文の類型：因果表現文、条件表現文、譲歩表現文	予習：第3課「互联网」の読解文	35分
7回 盧	“比”の構文、比較文の表し方	復習：第3課のポイントまとめ、ペーパー練習	45分
8回 盧	特定条件複文	予習：第4課「逛街」の読解文	35分
9回 盧	常用疑問詞の呼応表現	復習：第4課のポイントまとめ、ペーパー練習	45分
10回 盧	常用副詞の応用規則	予習：第5課「温泉旅游」の読解文	35分
11回 盧	補語の種類と重要な働き	復習：第5課のポイントまとめ、ペーパー練習	45分
12回 盧	方向補語	予習：第6課「我的爱好」の読解文	35分
13回 盧	特殊な存現文の伝達機能	復習：第6課のポイントまとめ、ペーパー練習	45分
14回 盧	前期内容の総合まとめ	所定のまとめペーパー練習	60分
15回 盧	前期内容の総合まとめ	セルフチェック	60分

中国語（総合）B

盧 繁華

服飾学科 2年 後期 選択 （2単位 講義）

■授業の方針・概要

既習の内容を実践に応用できるようにする。教材文を使うと同時に中国語圏のニュース記事などの新鮮な話題を取り入れた模範文に合わせて勉強し、文章翻訳をも新たに拡張する。

■到達目標（学修成果）

大学二年生の中国語レベルに達成し中国語の文章力を身につけることを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語（総合）B】は【中国語（総合）A】と併せて教養科目中の一般選択科目であるが卒業認定総単位数に含まれている。将来の社会人として持つべき豊かな言語表現力を磨く必要な科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回の授業内授業外で完成した平常小テストを学期末に返して、総合まとめと期末テストの基本になる。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

『2冊めの中国語 購読クラス(改訂版)』 劉穎 等 著（白水社）

■参考文献

学校附属図書館にある週刊新聞『中文導報』、中華圏のネットニュースやTVドラマを利用する。

■オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	ウォーミングアップ、前期既習の文法文型をチェック	復習：前期第1課～6課までの所定練習問題	50分
2回 盧	特殊文“是…的”応用	予習：第7課「交朋友」の単語やフレーズ	30分
3回 盧	中国語文の補語、1. 様態補語	復習：第7課の読解練習問題	45分
4回 盧	2. 可能補語	予習：第8課「聚餐」の単語やフレーズ	30分
5回 盧	常用疑問詞の不定用法	復習：第8課の読解練習問題	45分
6回 盧	選択複文の特徴	予習：第9課「闹钟」の単語やフレーズ	30分
7回 盧	受身文「被」の構文	復習：第9課の読解練習問題	45分
8回 盧	転折複文の常用	予習：第10課「打工」の単語やフレーズ	30分
9回 盧	動量補語の用い方	復習：第10課の読解練習問題	45分
10回 盧	使役文	予習：第11課「寒假」の単語やフレーズ	30分
11回 盧	連動文の構造	復習：第11課の読解練習問題	45分
12回 盧	「把」の文構成特徴	予習：第12課「留学」の単語やフレーズ	30分
13回 盧	常用副詞“就”、“都”の応用	復習：第12課の読解練習問題	45分
14回 盧	後期内容の総合まとめ	後期内容の所定まとめ練習	60分
15回 盧	後期内容のセルフチェック	セルフチェック	60分

中国語（会話）A

盧 繁華

服飾学科 2年 前期 選択 （2単位 講義）

■授業の方針・概要

今まで慣れてきたリスニング・シャドーイングの発話練習の拡張をはかり、教材文中の日常臨場感がある言葉内容を会話題材にして授業を進める。

■到達目標（学修成果）

中国語の発話能力を高め、有用性のある言葉を身につけてコミュニケーションができることをめざす。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語(会話)A】は教養科目中の一般選択科目であるが卒業認定総単位数に含まれている。将来の社会人として持つべき豊かな中国語の発話表現力を磨く必要な科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回行う授業内授業外の平常小テストを学期末にまとめて返し、期末の会話テストに参考する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

『しゃべくり 中国語 ～場面による中国語会話～』 内田慶市 等 著（金星堂）

■参考文献

学校附属図書館にある週刊新聞『中文導報』、中華圏のネットニュースやTVドラマを利用する。

■オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	ウォーミングアップ、一年めの既習内容をチェックする	復習:1年め「中文課本」の会話読み練習問題	45分
2回 盧	名前、年齢、職業などの聞き方と答え方	予習:第一課「自我介绍」の単語とフレーズ	30分
3回 盧	初対面の時に使う挨拶言葉	復習:第一課教科書ページの練習と読み練習	40分
4回 盧	移動手段、乗り物名称などの聞き方と答え方	予習:第二課「上学」の単語とフレーズ	30分
5回 盧	距離、所要時間の言い方	復習:第二課教科書ページの練習と読み練習	40分
6回 盧	趣味の聞き方と答え方	予習:第三課「爱好」の単語とフレーズ	30分
7回 盧	三大助動詞：「会」、「能」、	復習:第三課教科書ページの練習と読み練習	40分
8回 盧	排除（～以外）や添加（さらに）の文	予習:第四課「打工」の単語とフレーズ	30分
9回 盧	伝聞、所在、比較などの表現	復習:教科書ページの練習と読み練習	40分
10回 盧	予定を尋ねる、相手を誘う時の表現	予習:第五課「日程安排」の単語とフレーズ	30分
11回 盧	招待する、約束する時の表現	復習:第五課教科書ページの練習と読み練習	40分
12回 盧	介詞の（～把）の文	予習:第六課「点菜」の単語とフレーズ	30分
13回 盧	料理を注文する、お願いする時の表現	復習:第六課教科書ページの練習と読み練習	40分
14回 盧	前期内容の総まとめ	復習:プリントまとめの会話音声練習	60分
15回 盧	前期内容の総まとめ	セルフチェック	60分

中国語（会話）B

盧 繁華

服飾学科 2年 後期 選択 （2単位 講義）

■授業の方針・概要

語彙やフレーズを確実に把握した上で会話の応用範囲を深める。教材文のほかに中国の衣食住文化に触れる実践的な表現語の内容を新たに勉強する。

■到達目標（学修成果）

聞き取れる内容を正確に伝えられ、自分の意思でフリートーキングができることをめざす。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語(会話)B】は【中国語(会話)A】と併せて教養科目の一般選択科目であるが卒業認定総単位数に含まれている。将来の社会人として持つべき豊かな中国語の表現力を磨く必要な科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業内授業外の課題を学期末にまとめて返す、期末テストの基本になる。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

『しゃべくり 中国語 ～場面による中国語会話～』 内田慶市 等 著（金星堂）

■参考文献

学校附属図書館にある週刊新聞『中文導報』、中華圏のネットニュースやTVドラマを利用する。

■オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	前期の内容をチェック	復習:既習の語彙やフレーズの所定問題練習	50分
2回 盧	病院での表現、	予習:第七課「看病」の語彙やフレーズの調べ	40分
3回 盧	すでに起こったことについて聞く	復習:第七課の教科書ページの音声練習	40分
4回 盧	値切る時の表現	予習:第八課「购物」の語彙やフレーズの調べ	40分
5回 盧	相手の意見を求める、サイズや様子がちょうど良い	復習:第八課の教科書ページの音声練習	40分
6回 盧	褒める、謙遜する表現	予習:第九課「旅行」の語彙やフレーズの調べ	40分
7回 盧	物の比較表現、比較の否定形と肯定形	復習:第九課の教科書ページの音声練習	40分
8回 盧	使役文、動作の結果表現	予習:第十課「美发」の語彙やフレーズの調べ	40分
9回 盧	反語文	復習:第十課の教科書ページの音声練習	40分
10回 盧	現在進行形（動作の進行）	予習:第十一課「时装」の語彙やフレーズ調べ	40分
11回 盧	服スタイル及び服の言い方	復習:第十一課の教科書ページの音声練習	40分
12回 盧	現在進行形、条件を追加する	予習:第十二課「住宿」の語彙やフレーズ調べ	40分
13回 盧	ホテルで役立つ表現のまとめ	復習:第十二課の教科書ページの音声練習	40分
14回 盧	後期内容の総合まとめ	復習:後期内容のまとめ会話練習	60分
15回 盧	後期内容の総合まとめ	セルフチェック	60分

教育原理

柄越 祥子

服飾学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

本講義は、教職課程の授業であることから、教師になることを前提として、「教育とは何か」という根本的な問いについて考え、さらに学校で教育が行われていることの意味について議論しようとするものです。授業は、講義が中心になりますが、毎時間ある程度の時間をとって、数人のグループに分かれ、授業内容の確認のためのディスカッションをしていただきます。また、毎回の授業の終わりには、質問票の提出が求められます。各テーマの最初と終わりにはグループワークを行う予定です。

■到達目標（学修成果）

自分の言葉で「教育」を定義し、今日の教育目的について理解できるようになることと、学校の発達について知り、学校の現代的な課題を理解できるようになることの二つを到達目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目ではありません。教員免許状取得のための教職課程必修科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内でのまとめや学内システムを利用して試験のフィードバックを行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

沼田一男ほか『教育の原理』学文社

■参考文献

ルソー著、今野一雄訳『エミール』（上）岩波文庫ほか、適宜授業で指示します。

■オフィスアワー・研究室

土曜日、教務課

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 柄越	オリエンテーション・自身の「教育」のイメージについて考える。	復習：「教育」のイメージに関する問の答えを考える。	30分
2回 柄越	教育の定義（１）「教育」のイメージを探る（グループワーク）	復習：授業内で聞いた他者の意見も参考に、自分自身の「教育」のイメージを見直す。	30分
3回 柄越	教育の定義（２）広辞苑を手がかりに	復習：プリントを読みなおし、時代による変遷を理解する。	30分
4回 柄越	教育の定義（３）教育学小辞典をてがかりに	復習：プリントの取り上げた箇所を読んで、教育の定義を確認する。	30分
5回 柄越	教育の定義（４）教育学大辞典をてがかりに	復習：プリントの取り上げた箇所を読んで、ここまでのイメージや定義を見直す。	30分
6回 柄越	教育の三つのモデル 手細工モデル・農耕モデル・生産モデル	復習：プリント・教科書を参考に三つの教育モデルについて確認をする。	30分
7回 柄越	教育の新しいモデルの探求 一元論を越えたモデルを求めて（グループワーク）	復習：グループワークの内容も踏まえて教育のモデルについてまとめる。	30分
8回 柄越	「教える」と教育の違い・教育のパラドックス	復習：教科書の指摘した箇所を読んで、教育の定義についてまとめる。	70分
9回 柄越	教師を取り巻く環境 教師と子ども・教師と教師・教師と保護者・教師と国家	復習：教科書の指摘した箇所を読んで教師の環境について確認する。	30分
10回 柄越	学校とは何か（グループワーク）	復習：授業内容を踏まえてレポートを作成する。	90分
11回 柄越	学校の歴史（１）学校はどのように発達してきたか	復習：教科書の指摘した箇所を読んで学校の発達についてまとめる。	30分
12回 柄越	学校の歴史（２）複線型学校体系と単線型学校体系	復習：教科書の指摘した箇所を読んで学校の体系についてまとめる。	30分
13回 柄越	学校の歴史（３）義務教育は必要か	復習：教科書の指摘した箇所を読んで義務教育についてまとめる。	30分
14回 柄越	学校と法 教育基本法・学校教育法を中心に（グループワーク）	復習：教科書の指摘した箇所を読み、授業の内容も踏まえて関係法規について	30分
15回 柄越	授業内容のまとめ	予習：半期の授業内容をまとめる	90分

教育課程論

白井 勝美

服飾学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

1年生後期から教職課程の履修開始となります。本授業では、「教育」を「学ぶ立場」から、初めて「教える立場」に転換して学ぶ皆さんに、教育制度の仕組みと構造を総括的に講義します。また、教員養成に制度化されている介護等体験準備（評価含む）も本授業内で実施します。

■到達目標（学修成果）

教育制度の関連法規である「日本国憲法23条・26条を代表とする教育関連条文」、「学校教育法1条校を代表とする学校教育法内の教育関連条文」、「教育基本法の55のキーワード」、「その他制度に関する重要事項」を習得できる。日本の教育制度の基本構造を知る。授業を通して、日本の「学校教育」の現状について知る。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、教職課程科目で卒業要件科目ではありません。教職課程履修者必修科目ですが、ディプロマポリシーで謳われている、社会人としての資質、能力の向上の一助となると考えている。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

試験内容についてポイントを解説する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

授業資料プリントを作成する。

■参考文献

授業時に適宜指示する。

■オフィスアワー・研究室

前期 水曜日（11時00分～14時00分）教務課 後期 水曜日（11時00分～14時00分）教務課

■備考

成績表について 定期試験 小レポート（教職ポートフォリオカルテを含む） 授業姿勢（欠席・遅刻も含む）・日常課題を重要視する。その他追加については授業時に指示する。履修便覧の「教職課程について」を必ず読んでおいてください。1年生後期の教職課程3科目の単位修得が2年生以降の教職課程継続条件となります。出席を重視します。誠実に学修してください。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 白井	オリエンテーション 授業計画 本学教職課程の概要 小レポートの作成 ディスカッション	学校教育経験を振り返りレポートを提出する。	60分
2回 白井	学校教育を考える ・前回小レポートの内容紹介を通して 、「学校教育」を考える。 教職課程履修申告の締切り	復習 授業資料を振り返り、学校教育の経験値の 違いを知る。	30分
3回 白井	学校教育を考える ・教育制度の概要と制度に関わる法規（ 憲法・基本法他含む）近年の教育政策の動向を知る。	復習 授業資料を振り返り、「教育」のイメ ージ図を整理する。	30分
4回 白井	4年生「教育実習報告会」聴講	復習 「報告会資料」を読み返す。	30分
5回 白井	我が国の学校制度の特徴を知る。Active Learningディスカッ ション	復習 各種学校数の確認 日本国憲法23条と26 条の内容を理解し暗記する。	30分
6回 白井	公教育制度を構成する教育関係法規を知る。Active Learning ディスカッション	復習 学校教育法1条校を理解する。日本国憲法 23条と26条を暗記する。	30分
7回 白井	1条校、各種学校、専修学校、大学校等を通して教育行政の仕 組みを知る。	復習 日本における学校制度の内容を確認する 。資料内のタームを暗記する。	30分
8回 白井	公教育の目的を実現するための学校経営の望むべき姿を理解す る。Active Learningディスカッション	復習 これまでの復習と教育基本法3条までの重 要ワードを暗記する。	30分
9回 白井	教育活動の年間の流れと学校評価の基礎理論を含めたPDCAの 重要性を理解する	復習 これまでの復習と教育基本法3条までの重 要ワードを暗記する。	30分
10回 白井	学校経営の仕組みを理解する。 学校内外の関係者・関係機 関との連携・協働を理解する。	復習 これまでの復習と教育基本法10条までの 重要ワードを暗記する。	60分
11回 白井	地域との連携・協働による学校教育活動の意義及び方法を理解 する。	復習 これまでの復習と教育基本法全文中の重 要ワードを暗記する。	60分
12回 白井	地域との連携を基とする開かれた学校づくりが進められてきた 経緯を理解する。	復習 授業資料を振り返り、「生きる力」の内 容を再度理解する。	30分
13回 白井	事故及び災害の実情を踏まえて、危機管理や事故対応など学校 安全の必要性を理解する。	復習 授業資料を振り返り、内容を再度確認す る。	30分
14回 白井	介護等体験オリエンテーション 我が国の学校における安全管 理・安全教育の両面から具体的な取組を理解する。	復習 授業資料を振り返り、介護等体験の意義 と今後の体験方法を理解する。	30分
15回 白井	前期授業のまとめ	復習 試験に備えて復習する。	60分

特別支援教育概論

星 祐子

服飾学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとするさまざまな障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら、学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、幼児、児童及び生徒の学習上または生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を学ぶ。

■到達目標（学修成果）

1. インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組み、発達障害、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱等様々な障害のある幼児、児童及び生徒の学習上、生活上の困難さ、心理的特性が理解できる。
2. 発達障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する教育課程や支援の方法を知る。
3. 障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上、生活上の困難とその対応を知る。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は、卒業要件科目ではないが、教職履修者必修の教職課程科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内でのレポート、小課題については、その都度、ポイントを解説する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

改訂版 教員と教員になりたい人のための特別支援教育のテキスト（Gakken）

■参考文献

授業時に適宜、指示する。

■オフィスアワー・研究室

教務課に問い合わせのこと。

■備考

障害理解のために、疑似体験や演習等を取り入れて困難さと配慮について考えていくので、意欲的に授業に参加すること。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 星	オリエンテーション、インクルーシブ教育システムの構築について1（特別支援教育の理念）	予習：特別支援教育について調べておく	60分
2回 星	インクルーシブ教育システムの構築について2（特別支援教育の歴史と現状）	復習：特別支援教育の理念、歴史と現状等についてテキストで確認する	60分
3回 星	特別支援教育の仕組み1（早期からの相談と就学先決定）	復習：就学先決定の仕組みについて確認する。	30分
4回 星	特別支援教育の仕組み2（個別の教育支援計画と個別の指導計画）	復習：個別の教育支援計画と個別の指導計画の違いについて説明できるようにしておく	60分
5回 星	学校における取組1（校内委員会、特別支援教育コーディネーター）	復習：特別支援教育コーディネーターの役割について再確認する	30分
6回 星	学校における取組2（交流及び共同学習、センター的役割）	復習：交流及び共同学習の意義についてまとめる	60分
7回 星	学校における取組3（通級による指導、特別支援学級）	復習：通級による指導と特別支援学級の概要を確認する	30分
8回 星	学校における取組4（外国にルーツのある子ども、虐待、貧困、多様な性）	予習：外国にルーツのある子ども、虐待、貧困、多様な性についてテキストを読んでおく	60分
9回 星	発達障害等の理解と指導について1（発達障害、学習障害）	復習：発達障害、学習障害について確認する	30分
10回 星	発達障害等の理解と指導について2（注意欠陥多動性障害、自閉スペクトラム症）	復習：注意欠陥多動性障害、自閉スペクトラム症について確認する	30分
11回 星	発達障害等の理解と指導について3（情緒障害、不登校、言語障害）	予習：情緒障害、不登校、言語障害についてテキストを読んでおく	30分
12回 星	特別支援学校の教育課程 視覚障害の理解と配慮・指導について	復習：特別支援学校、視覚障害について確認する	30分
13回 星	聴覚障害・知的障害の理解と配慮・指導について1	復習：聴覚障害、知的障害について確認する	30分
14回 星	肢体不自由、病弱・身体虚弱、重複障害の理解と配慮・指導について	復習：肢体不自由、病弱・身体虚弱、重複障害について確認する	30分
15回 星	パラスポーツについて 授業のまとめ	予習：今までの授業内容を再確認する	60分

道德の指導法

柄越 祥子

服飾学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

特別の教科「道德」は、それまでの「道德」と何が違うのでしょうか。そもそも、「道德」とは何で、それを教科として学校の課程に設置することにどのような意味があるのか、そして実際にどのように授業を行っていけばいいのかを、歴史や現在の社会状況を踏まえて検討していきます。また実際の授業を構成展開していくために、模擬授業やグループワークを通じて考えていきます。

■到達目標（学修成果）

道德教育の歴史的背景を理解する。 中学校の「道德」の学習指導案を作成する基礎知識を習得する。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目ではありませんが、教員免許状取得のための教職課程必修科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内でのまとめ及び学内システムを利用して試験のフィードバックを行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

中学校学習指導要領解説「特別の教科 道德編」（最新版）文部科学省

■参考文献

授業中に適宜紹介します。

■オフィスアワー・研究室

金曜日・土曜日（教務課）

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 柄越	ガイダンス及び自身の道德教育経験の振り返り	復習：授業内での話し合いを参考に自身の経験を振り返る。	30分
2回 柄越	学校体験の中での「道德」と特別の教科「道德」	復習：道德が教科になるとこれまでとどう違うのか確認する。	30分
3回 柄越	道德の歴史 明治期の道德教育	復習：プリントを参考に、道德教育の始まりについて確認をする。	30分
4回 柄越	道德の歴史 教育勅語の発布と影響	復習：プリントを参考に、教育勅語について確認をする。	30分
5回 柄越	道德の歴史 教科書の歴史と徳目主義	復習：授業内容をまとめ徳目主義について考える。	60分
6回 柄越	道德の歴史 戦後の道德教育	復習：プリントを参考に、戦後の道德の道德教育について確認をする。	30分
7回 柄越	現代における道德教育の課題	復習：徳目主義の問題点について確認をする。	30分
8回 柄越	特別の教科「道德」の意義と学習指導要領の検討	復習：学習指導要領解説をよく読んで寿魚内容を確認する。	30分
9回 柄越	学校教育活動全体の中での道德教育と道德性の発達	復習：学習指導要領解説をよく読んで授業内容を確認する	30分
10回 柄越	道德科の特性を活かした指導方法	復習：授業内容を参考に模擬授業の準備を進める	90分
11回 柄越	学習指導案の作成と学習評価	復習：学習指導案の書き方を確認し、作成する。	100分
12回 柄越	模擬授業と振り返り 道德の授業のねらい（アクティブ・ラーニング）	復習：模擬授業の振り返りと担当者へコメントをする。	30分
13回 柄越	模擬授業と振り返り 道德の授業の構成（アクティブ・ラーニング）	復習：模擬授業の振り返りと担当者へコメントをする。	30分
14回 柄越	模擬授業と振り返り 道德教材や板書の活用（アクティブ・ラーニング）	復習：模擬授業の振り返りと担当者へコメントをする。	30分
15回 柄越	まとめ 課題（試験やレポート等）のフィードバック	予習：授業内容のまとめ	90分

生徒指導論（進路指導を含む）

今泉 朝雄

服飾学科 2年 後期 選択（2単位 講義）

■授業の方針・概要

本科目は、学校の二大教育機能の1つである「生徒指導」と、生徒の生き方・あり方に関わる「進路指導・キャリア教育」の指導法を学習するものである。その意義や原理を理解した上で、生徒全体への指導方法（ガイダンス）、個別の課題を抱える生徒の指導方法（カウンセリング）の基礎をそれぞれ理解し、その具体的な対応方法を実践的に検討する。

■到達目標（学修成果）

組織的に生徒指導を進め、生徒の自己指導能力を育成するために必要な知識・技術を指導実践に活用できるようになる。
キャリア教育、進路指導についての実践指導、教育活動計画ができるようになる。
生徒指導、進路指導・キャリア教育の視点に立った各授業等の構成、評価による指導改善の推進、ガイダンスとカウンセリングの充実、組織的体制に関わるに必要な知識を指導実践に活用できるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は教職課程履修者必修科目であり、卒業要件科目ではない。ただし、ディプロマポリシーで謳われている、社会人としての資質、能力の向上の一助となるものである。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

返却後授業内において解説する

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

文部科学省『生徒指導提要』

■オフィスアワー・研究室

木曜日授業前後で。予めご連絡下さい。

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 今泉	生徒指導・進路指導・キャリア教育とは何か 基礎的概念を理解する	予習：生徒指導の概念を考える 復習：基礎概念の言葉を整理する	120分
2回 今泉	生徒指導の実際を知る ある生徒指導の日記から検討する	予習：生徒指導の経験を振り返る 復習：経験と授業の内容を結びつける	120分
3回 今泉	理想的生徒指導と管理的生徒指導 生徒指導と法律	予習：校則の内容について振り返る 復習：本時の内容の意見をまとめる	120分
4回 今泉	生徒指導と教育課程 全体計画と指導体制	予習：教育課程における生徒指導を検討 復習：指導体制についてまとめる	120分
5回 今泉	生徒指導の方法的基礎 教師のあり方と共感的理解、ガイダンスとカウンセリング	予習：教師はどうあるべきか考える 復習：事例を踏まえ本時を整理する。	120分
6回 今泉	生徒理解の方法とその活用 事例から考える	予習：よい教師の条件を考える 復習：本時の内容を整理する	120分
7回 今泉	生徒指導の課題とその指導 1 いじめ問題への対応	予習：いじめ事件をネットで調べる 復習：対応策を自身なりにまとめる	120分
8回 今泉	生徒指導の課題とその指導 2 日常生活の指導、集団活動の指導	予習：日常生活の指導を振り返る 復習：集団活動のあり方について整理	120分
9回 今泉	生徒指導の課題とその指導 3 インターネットと生徒	予習：自身のネット利用を振り返る 復習：本時の課題について検討する	120分
10回 今泉	進路指導・キャリア教育の教育的意義とその内容	予習：進路指導の意味を振り返る 復習：予習内容と本時の内容を比較	120分
11回 今泉	進路指導・キャリア教育の教育課程における位置付けと全体計画	予習：キャリア教育の経験を振り返る 復習：全体計画を立ててみる	120分
12回 今泉	自分の将来を考える ガイダンス機能による指導のあり方	予習：ガイダンスの意味を復習 復習：ガイダンスの計画を立てる	120分
13回 今泉	職場体験とキャリア教育 教育課程にどう位置付けるのか	予習：職場体験を振り返る 復習：過去の経験と本時の内容を比較	120分
14回 今泉	進路指導・キャリア教育におけるカウンセリングと自己評価	予習：4.5 回授業を復習 復習：実際の自己評価方法を検討	120分
15回 今泉	まとめ これから求められる教育と生徒指導・キャリア教育の意義	予習：全体の復習 復習：本科目の意義をまとめる	120分

教科教育法基礎（家庭）

白井 勝美

服飾学科 2年 後期 選択（1単位 講義）

■授業の方針・概要

1年生後期から教職課程の履修開始となります。本授業では、「教育」を「学ぶ立場」から、初めて「教える立場」に転換して学ぶ皆さんに、教育制度の仕組みと構造を総括的に講義します。また、教員養成に制度化されている介護等体験準備（評価含む）も本授業内で実施します。

■到達目標（学修成果）

教育制度の関連法規である「日本国憲法23条・26条を代表とする教育関連条文」、「学校教育法1条校を代表とする学校教育法内の教育関連条文」、「教育基本法の55のキーワード」、「その他制度に関する重要事項」を習得できる。日本の教育制度の基本構造を知る。授業を通して、日本の「学校教育」の現状について知る。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、教職課程科目で卒業要件科目ではありません。教職課程履修者必修科目ですが、ディプロマポリシーで謳われている、社会人としての資質、能力の向上の一助となると考えている。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

試験内容についてポイントを解説する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

授業資料プリントを作成する。

■参考文献

授業時に適宜指示する。

■オフィスアワー・研究室

前期 水曜日（11時00分～14時00分）教務課 後期 水曜日（11時00分～14時00分）教務課

■備考

成績表について 定期試験 小レポート（教職ポートフォリオカルテを含む） 授業姿勢（欠席・遅刻も含む）・日常課題を重要視する。その他追加については授業時に指示する。履修便覧の「教職課程について」を必ず読んでおいてください。1年生後期の教職課程3科目の単位修得が2年生以降の教職課程継続条件となります。出席を重視します。誠実に学修してください。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 白井	オリエンテーション 授業計画 本学教職課程の概要 小レポートの作成 ディスカッション	学校教育経験を振り返りレポートを提出する。	60分
2回 白井	学校教育を考える ・前回小レポートの内容紹介を通して 、「学校教育」を考える。 教職課程履修申告の締切り	復習 授業資料を振り返り、学校教育の経験値の 違いを知る。	30分
3回 白井	学校教育を考える ・教育制度の概要と制度に関わる法規（ 憲法・基本法他含む）近年の教育政策の動向を知る。	復習 授業資料を振り返り、「教育」のイメ ージ図を整理する。	30分
4回 白井	4年生「教育実習報告会」聴講	復習 「報告会資料」を読み返す。	30分
5回 白井	我が国の学校制度の特徴を知る。Active Learningディスカッ ション	復習 各種学校数の確認 日本国憲法23条と26 条の内容を理解し暗記する。	30分
6回 白井	公教育制度を構成する教育関係法規を知る。Active Learning ディスカッション	復習 学校教育法1条校を理解する。日本国憲法 23条と26条を暗記する。	30分
7回 白井	1条校、各種学校、専修学校、大学校等を通して教育行政の仕 組みを知る。	復習 日本における学校制度の内容を確認する 。資料内のタームを暗記する。	30分
8回 白井	公教育の目的を実現するための学校経営の望むべき姿を理解す る。Active Learningディスカッション	復習 これまでの復習と教育基本法3条までの重 要ワードを暗記する。	30分
9回 白井	教育活動の年間の流れと学校評価の基礎理論を含めたPDCAの 重要性を理解する	復習 これまでの復習と教育基本法3条までの重 要ワードを暗記する。	30分
10回 白井	学校経営の仕組みを理解する。 学校内外の関係者・関係機 関との連携・協働を理解する。	復習 これまでの復習と教育基本法10条までの 重要ワードを暗記する。	60分
11回 白井	地域との連携・協働による学校教育活動の意義及び方法を理解 する。	復習 これまでの復習と教育基本法全文中の重 要ワードを暗記する。	60分
12回 白井	地域との連携を基とする開かれた学校づくりが進められてきた 経緯を理解する。	復習 授業資料を振り返り、「生きる力」の内 容を再度理解する。	30分
13回 白井	事故及び災害の実情を踏まえて、危機管理や事故対応など学校 安全の必要性を理解する。	復習 授業資料を振り返り、内容を再度確認す る。	30分
14回 白井	介護等体験オリエンテーション 我が国の学校における安全管 理・安全教育の両面から具体的な取組を理解する。	復習 授業資料を振り返り、介護等体験の意義 と今後の体験方法を理解する。	30分
15回 白井	前期授業のまとめ	復習 試験に備えて復習する。	60分

教育現場でのICT活用

小林 輝明

服飾学科 2年 後期 選択 (1単位 講義)

■授業の方針・概要

教育現場におけるICTの活用について、小中学校教員としての実務経験を活かし、児童・生徒に1人1台の端末配布が進んでいる現状に基づいて、授業における児童・生徒および教員によるICT活用の他、端末を効果的に使った教材研究・指導の準備と授業中の指導、学習評価に関する活用、校務における活用や教育データの活用を取り上げる。また、変化の激しい情報社会を自ら生きていくために必要な資質・能力である情報活用能力について、基礎的な理解、具体的な指導法、教育課程上の位置付けについて解説する。本授業では、受講生が自らICT機器を活用し実践的かつ体験的に学修する。

■到達目標（学修成果）

- (1) 教育現場におけるICT活用の意義や理論について理解できるようになる
- (2) ICTを活用した教科指導や校務の実際を体験することで、授業への活用を具体的に考えられるようになる
- (3) 情報活用能力を育成する意義および情報モラルなどを指導できる能力を身に付けられるようになる

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教職課程を履修している学生には必修の授業です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

最終授業及びメール等を用いて行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■ 教科書

ICT “超かんたん” スキル 時事通信社

参考文献

授業内で紹介します

■ オフィスアワー・研究室

連絡先：教務課 出講日：土曜日

■ 備考

なし

■ 授業計画

[illegible]

博物館経営論

丸山 憲子

服飾学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

博物館の経営について学習する。多様化する博物館の経営体制について認識を深め、今日の博物館経営をめぐる諸相を把握し、今、博物館に何が求められているのか、また博物館本来の存在意義について学習する。

■到達目標（学修成果）

- ・博物館の適切な機能や経営体制の把握
- ・ミュージアムマネジメントについての基礎的事項の理解
- ・現代博物館を多角的な視点で考察できることを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得（大学を卒業して学士の学位を取得するとともに得られる資格）のために、文部科学省令の定める大学で習得するべき科目の一つ。卒業要件科目ではありません。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

小テスト・試験後の解説

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

授業時に指示します。

■参考文献

随時、紹介します。

課題内容に即した資料プリントを配布します。

■オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

■備考

博物館に関する時事問題を随時取り上げます。

学生の興味・関心に応じて弾力的に対応します。

普段から博物館見学、博物館に関する情報収集等積極的に行いましょう。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 丸山	オリエンテーション（博物館経営論の概要の説明・授業計画）	予習：シラバス（学芸員課程部分）を読んでおくこと。	30分
2回 丸山	ミュージアムマネジメントの意義について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
3回 丸山	博物館法について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
4回 丸山	独立行政法人立等、設立母体 について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
5回 丸山	指定管理者等、設立母体 について学習する。 設立母体についてのまとめ（小テスト）	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
6回 丸山	博物館評価について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
7回 丸山	博物館の館内組織・館外組織について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
8回 丸山	博物館の施設・設備について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
9回 丸山	博物館におけるマーケティングについて学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
10回 丸山	ミュージアムショップやレストラン等アメニティという側面から学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
11回 丸山	今日の社会状況を踏まえた博物館の課題について学習する。	復習：配布資料の読み返し。振り返りをしておくこと。	60分
12回 丸山	まとめ（小テスト）及びプレゼンテーションのための説明。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。プレゼンテーション準備。	30分
13回 丸山	実在する博物館を挙げて経営論の観点よりプレゼンテーション・ディスカッション	予習：プレゼンテーション準備 復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	60分
14回 丸山	実在する博物館を挙げて経営論の観点よりプレゼンテーション・ディスカッション	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	60分
15回 丸山	総まとめ	復習：全体の振り返り	60分

博物館資料論

丸山 憲子

服飾学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

博物館において資料は必要不可欠な存在です。どんな博物館でも「資料」を有し、コレクションをなしています。今日の博物館のコレクションは多種多様であり、一口で「博物館」と言ってもその範囲は極めて大きい。本講では現代博物館が扱う資料（コレクション）について、博物館の歴史とともに体系的に学習する。また、資料収集・整理保管・調査研究・教育普及という4つの博物館機能（活動）を通して、いわゆる実物（1次資料）から2次資料が発生していくことを理解し、それぞれの機能（活動）における1次資料・2次資料の特性・役割を学習する。

■到達目標（学修成果）

博物館資料の様々な特性を理解し、博物館活動にとって必要なもの・ことを認識できるようにする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得（大学を卒業して学士の学位を取得するとともに得られる資格）のために、文部科学省令の定める大学で習得するべき科目の一つ。卒業要件科目ではありません。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

小テスト・試験後の解説

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

授業時に指示します。

■参考文献

随時、紹介します。

課題内容に即した資料プリントを配布します。

■オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

■備考

博物館に関する時事問題を随時取り上げます。

学生の興味・関心に応じて弾力的に対応します。

普段から博物館見学、博物館に関する情報収集等積極的に行いましょう。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 丸山	オリエンテーション（博物館資料論の概要の説明・授業計画）	予習：シラバス（学芸員課程部分）を読んでおくこと。	30分
2回 丸山	博物館の成立背景に見られる資料についての事例を挙げ、博物館＝資料の存在を認識する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
3回 丸山	1次資料と2次資料の博物館活動における役割、及び資料の価値について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
4回 丸山	1次製作資料として分類される実物製作資料と情報製作資料について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
5回 丸山	1次標本資料 について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
6回 丸山	1次標本資料 について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
7回 丸山	1次資料についてのまとめ（小テスト）	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
8回 丸山	2次資料 について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
9回 丸山	2次複合製作資料について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
10回 丸山	2次資料についてのまとめ（小テスト）	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
11回 丸山	博物館機能を再確認する。 資料の収集について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
12回 丸山	資料の整理保管について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
13回 丸山	資料の調査研究活動について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
14回 丸山	教育普及という観点から、資料のもつ意味とその効果について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
15回 丸山	資料の取り扱い、及び運搬という観点から学習する。 博物館機能のまとめ（小テスト）	復習：配布資料の読み返し。全体の振り返り	60分
15回 丸山	総まとめ	復習：全体の振り返り	60分